

令和3年度

上越市の男女共同参画に関する市民意識調査

結果報告書

(概要)

上越市 自治・市民環境部共生まちづくり課
男女共同参画推進センター

1 調査概要

(1)調査の目的	1
(2)調査設計と回収状況	1
(3)回答者のプロフィール	1～2

2 調査結果

1 結婚・家庭生活について

問1 平日の生活時間について	3～4
問2 結婚、家庭等について	5
問3 家庭での夫婦の役割分担について(「理想」と「現実」)	6～7
問4 家庭では家事を男性は分担しているか(結婚(事実婚を含む)している方のみ)	8～9

2 男女の地位の平等感について

問5 男女の地位の平等感について	10～11
------------------	-------

3 職業生活、女性活躍の推進について

問6 現在の職業について	12～14
問7 職場で性別による差があるか(問6で1または2を選んだ方のみ)	15～16
問8 仕事を辞めたり中断したり、転職したことがあるか、ある場合の主な理由	17～18
問9 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」の優先度について(「理想」と「現実」)	19
問10 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のためにどのようなことが必要だと思うか	20～21
問11 現在の社会は「男性」及び「女性」にとって働きやすい環境にあると思うか(男性、女性それぞれ)	22
問12 働きやすい環境をつくるには、どのようなことが必要だと思うか(男性、女性それぞれ)	23～24
問13 女性が職業を持つことについて(「理想」と「現実」)	25
問14 職業や役職において今後女性をもっと増えるほうがよいと思うものはどれか	26～27
問15 PTAや町内会などの地域団体の役員の長に女性が就くことの妨げとなっている主な原因は何か	28～29
問16 男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要か	30～31
問17 男性が育児休業(休暇)を取得しづらい(しない)理由として考えられるものは何か	32～33

4 男女の人権、DVについて

問18 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことか	34～35
問19 夫婦間等における暴力行為について	36～38
問20 元配偶者を含む夫婦間等において暴力を受けたことがあるか	39～40
問21 メディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思うか	41～42

5 男女共同参画社会に関すること全般

問22 育児・介護などの家庭で担われている役割をどのような形で評価することが必要だと思うか	43～44
問23 防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組む必要があると思う事は何か	45～46
問24 女性が抱えている悩みを相談するところについて	47～48
問25 男女共同参画に関する名称や言葉の認知度・理解度について	49～51
問26 現在、「男女共同参画社会」はどのくらい実現できていると思うか	52～53
問27 「男女共同参画社会」を実現するために、今後行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思うか	54～56

3 調査結果(自由記述)

問28 市に対しての意見・要望・提案など	57～72
----------------------	-------

4 付録数表

(1)男女共同参画に関する市民意識調査(無回答を除く)	73
(2)男女共同参画社会に関する世論調査	73

1 調査概要

(1) 調査の目的

- ・市民の男女共同参画に関する意識と実態を把握し、令和5年度からの上越市第4次男女共同参画基本計画策定の基礎資料とする。
- ・男女共同参画社会実現に向け、調査結果を今後の市の施策に反映させ、一層の充実を図る。

(2) 調査設計と回収状況

①調査対象

上越市在住の満18歳以上の人

②発送数

2,000通

③抽出方法

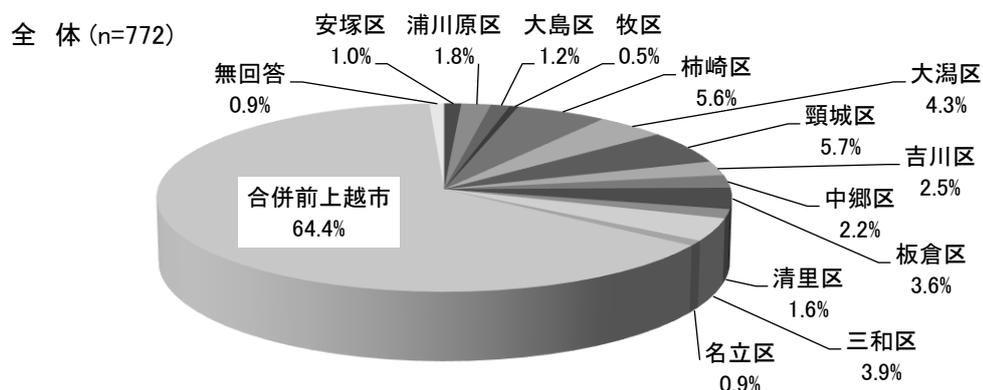
住民基本台帳に基づく無作為抽出

④回答状況

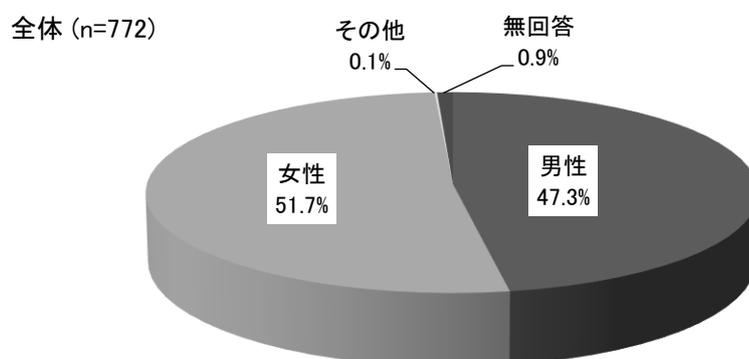
772通(回収率38.6%)

(3) 回答者のプロフィール

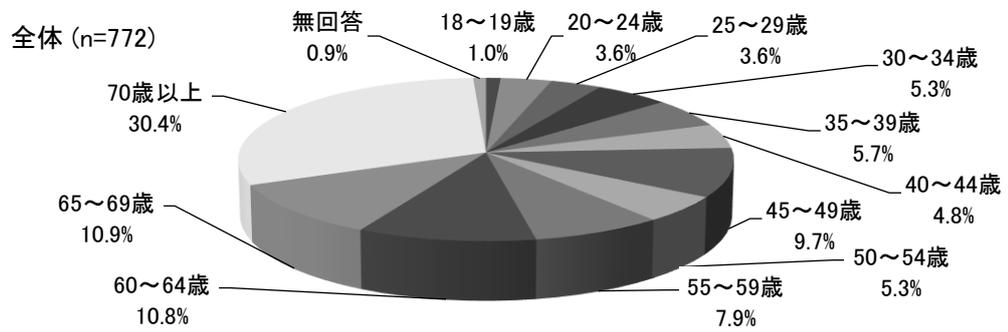
①居住地別



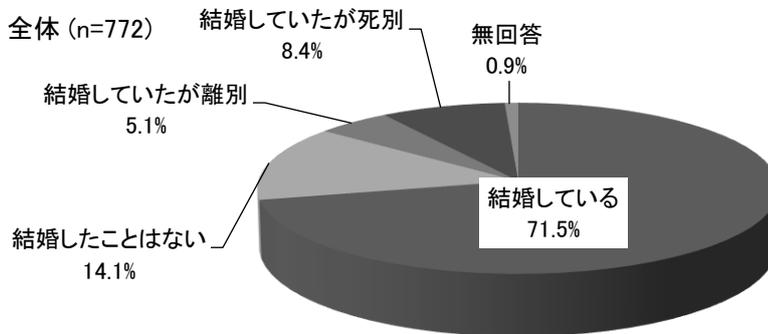
②性別



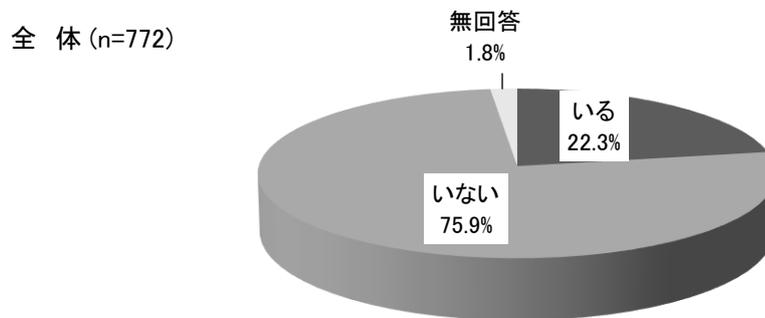
③年齢



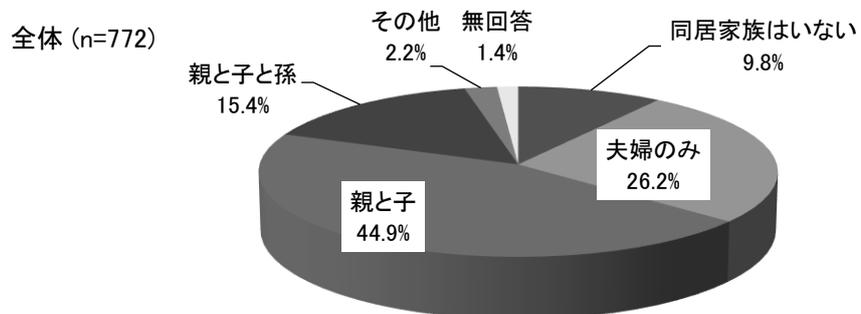
④婚姻の状況



⑤18歳未満の子どもの有無



⑥家族構成

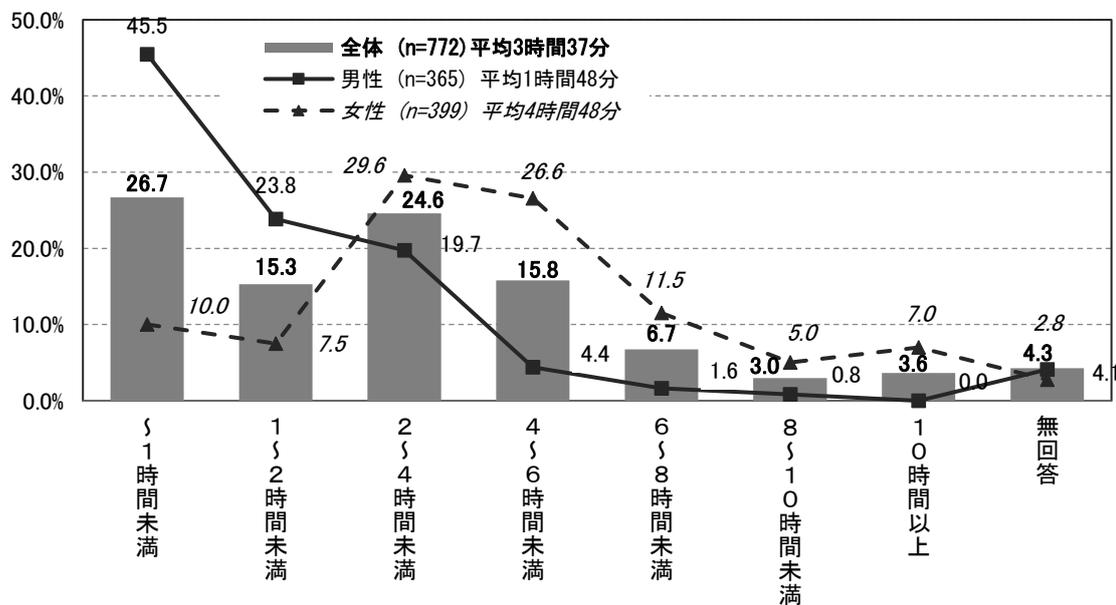


2 調査結果

1 結婚・家庭生活について

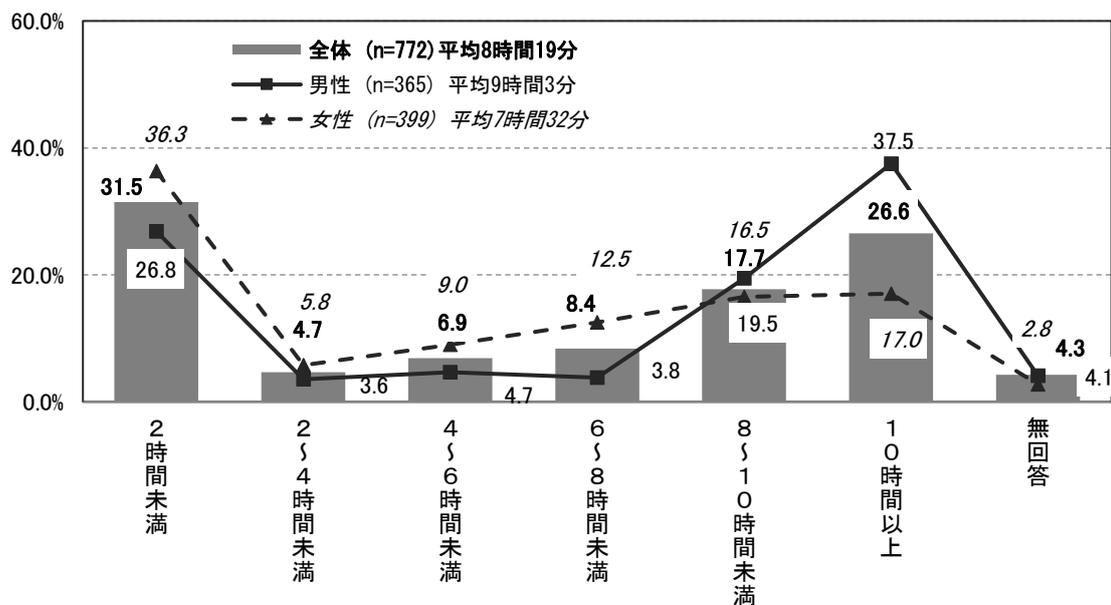
問1 平日の生活時間についてお聞きします。それぞれ平均の時間をお書きください。

1 家事・育児・介護などの時間



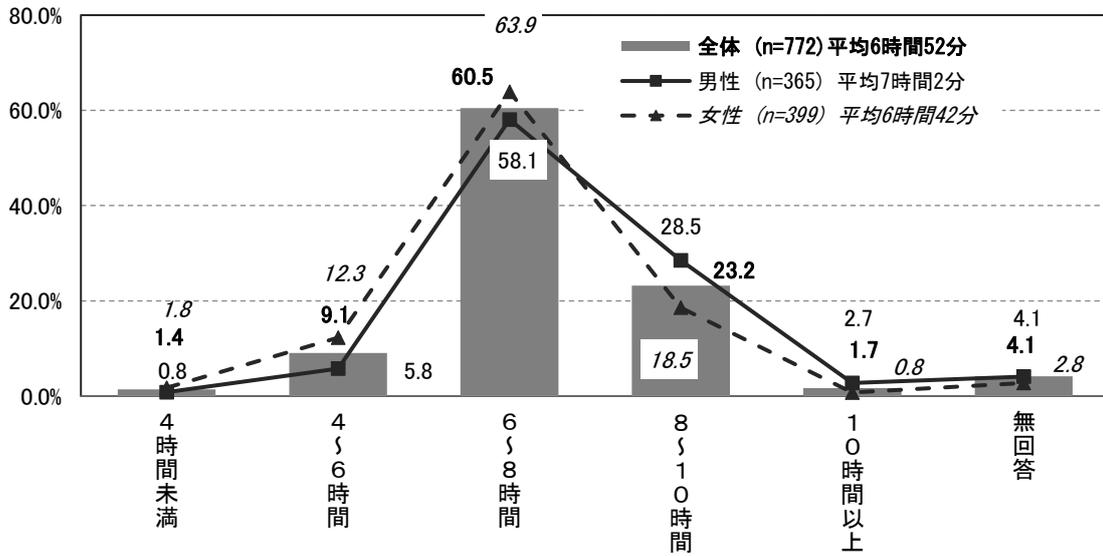
・女性が男性の2.7倍となっており、平均の差は3時間になっている。

2 仕事や学校の時間



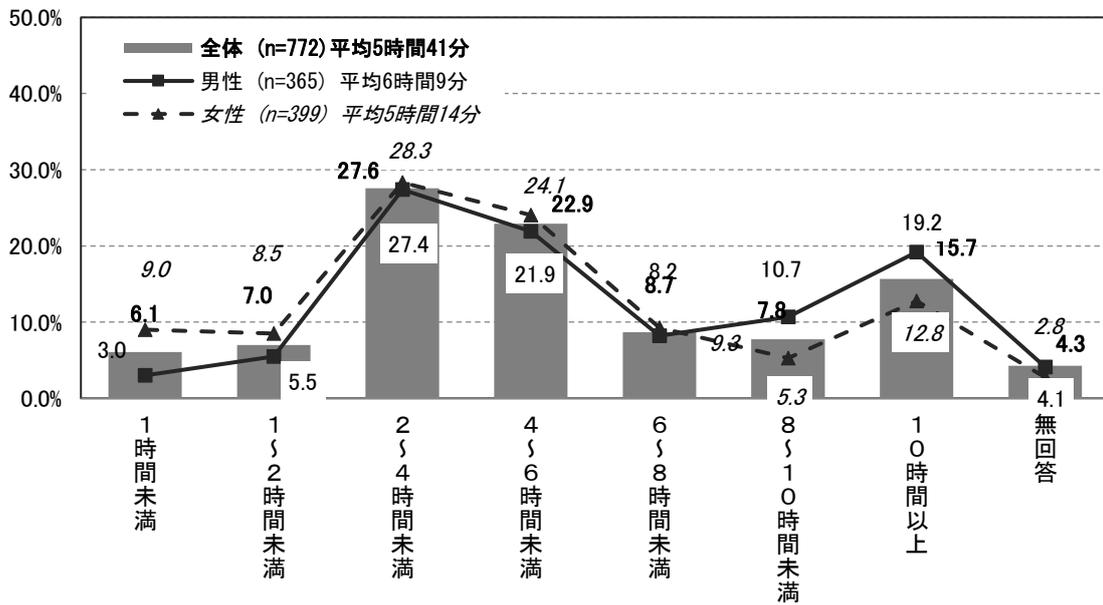
・男性の方が1時間30分ほど長いという結果であった。特に「10時間以上」と回答した割合では男性の方が20ポイント高かった。

3 睡眠時間



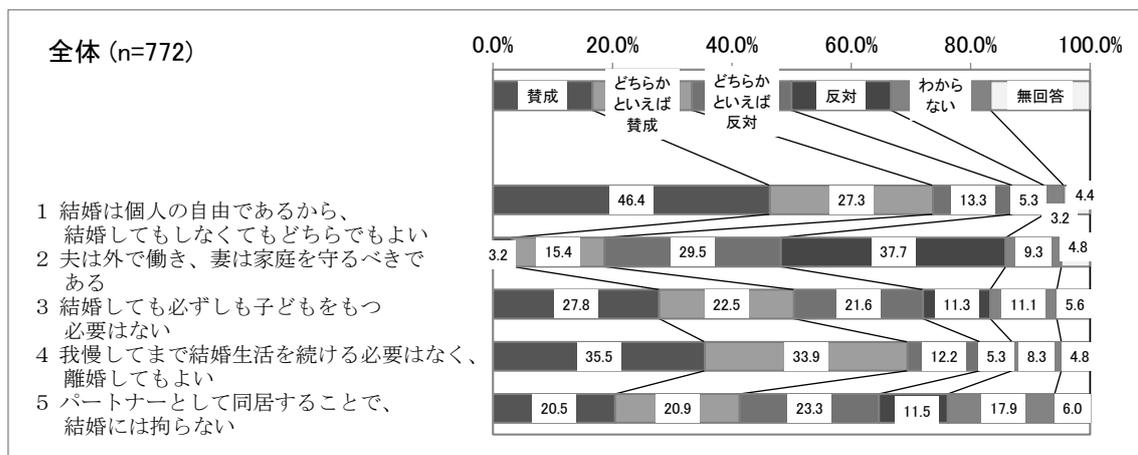
・性別による大きな違いは見られないが、女性の方が 20 分ほど短い。

4 自由に使える時間

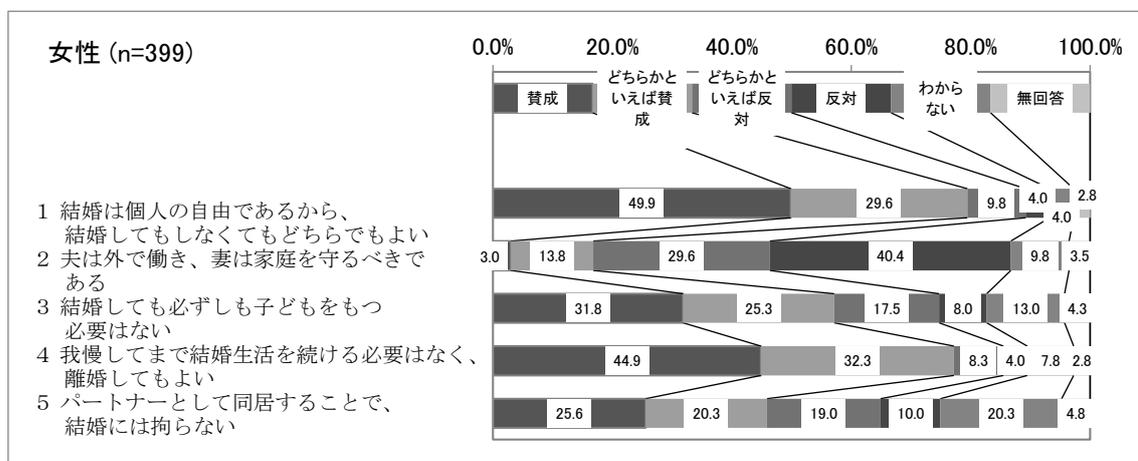
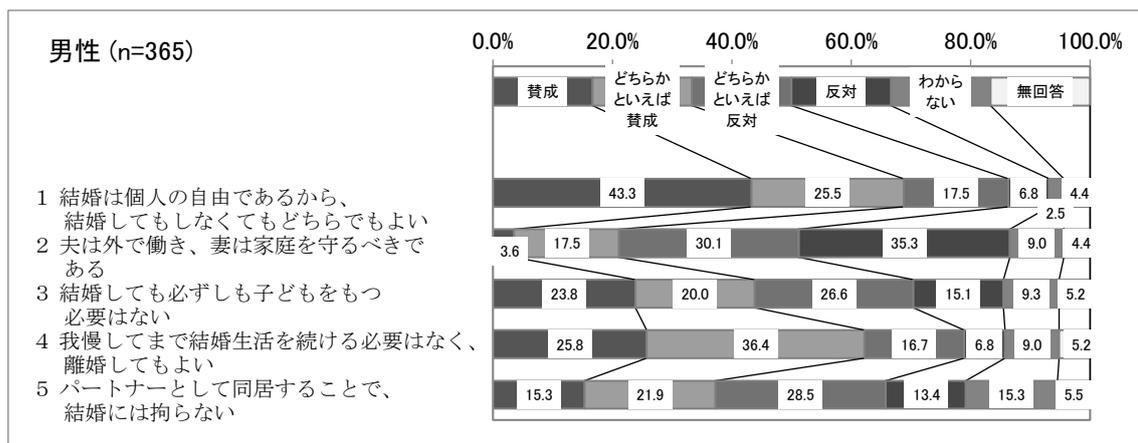


・男性の方が 1 時間ほど長くなっている。時間別の割合分布では性別による大きな違いは見られない。

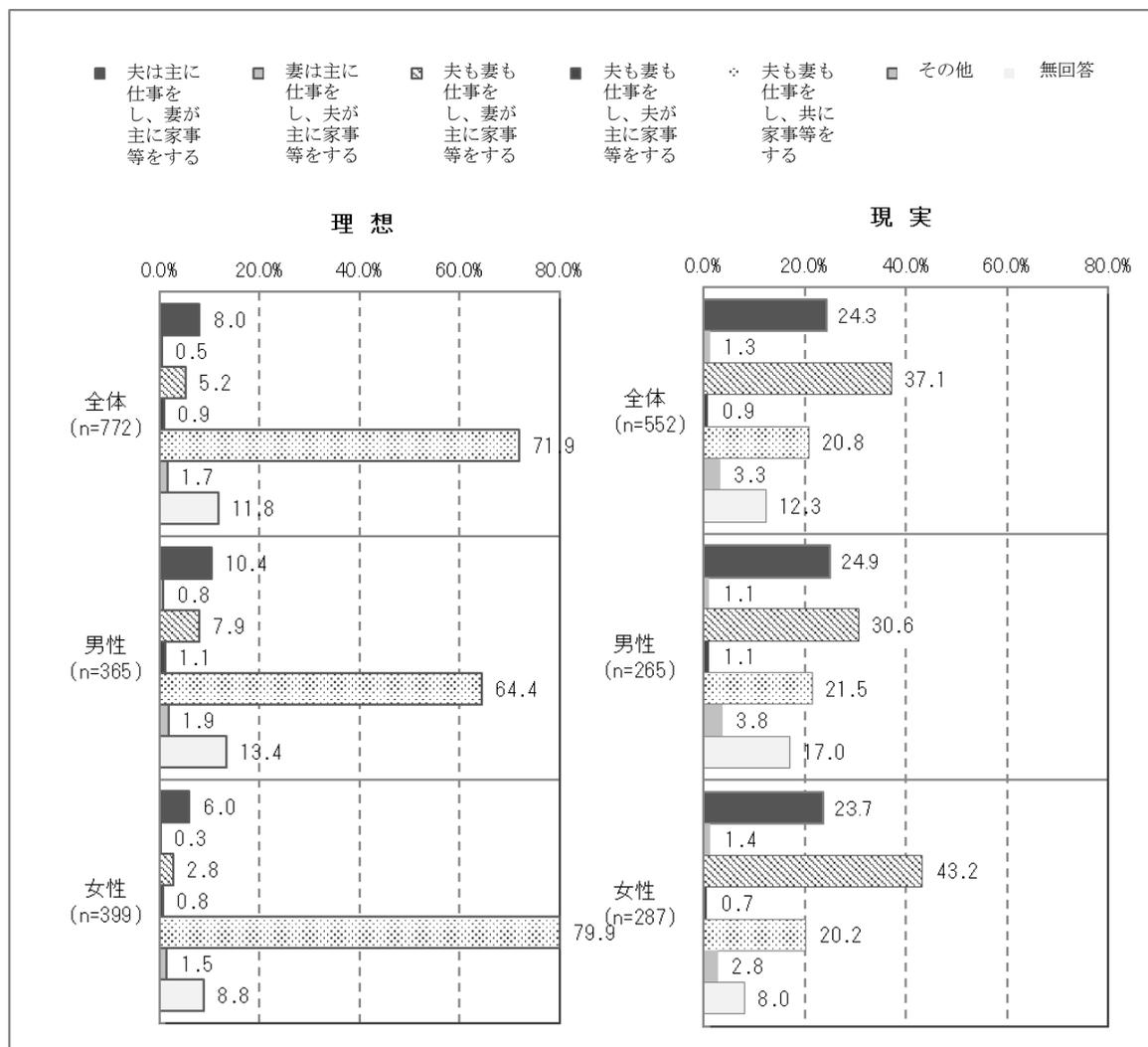
問2 結婚、家庭等についてご意見をお聞きます。1～5までのそれぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。



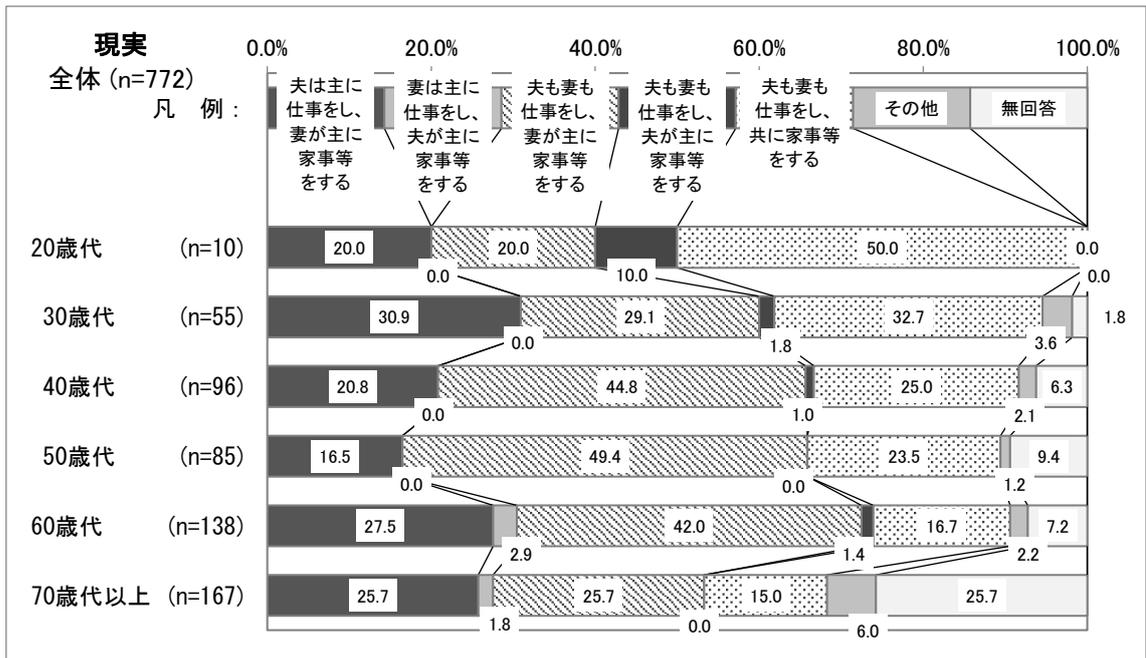
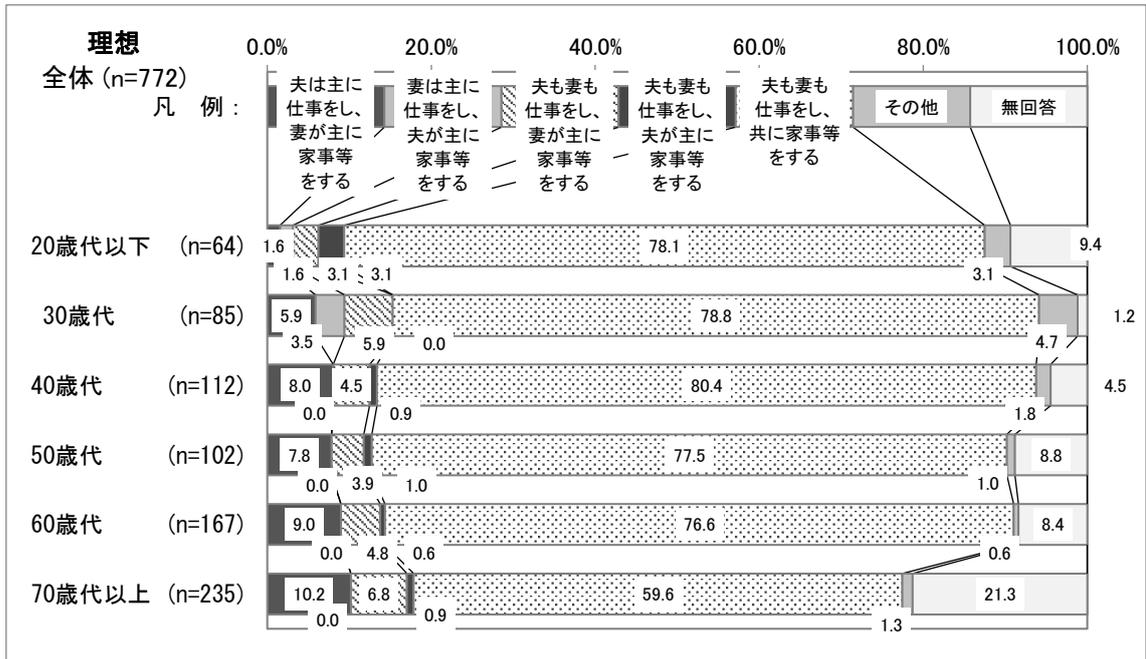
・「1 結婚」「3 出産」「4 離婚」「5 結婚に拘らない」では、「賛成」又は「どちらかといえば賛成」が多く、「夫と妻の役割」では「反対」又は「どちらかといえば反対」とする回答が多かった。



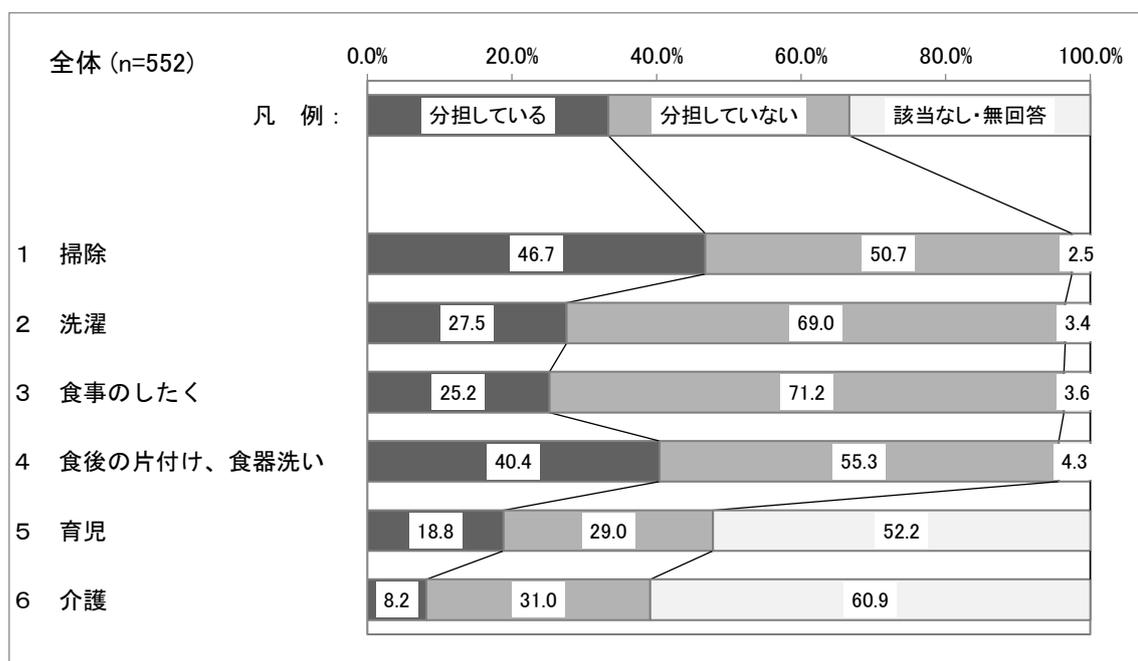
問3 家庭での夫婦の役割分担について、1～6のうち「理想」として望ましい姿だと考えるものを1つだけ選んで○をつけてください。また、あなたの「現実」に最も近いものを1つだけ選んで○をつけてください。



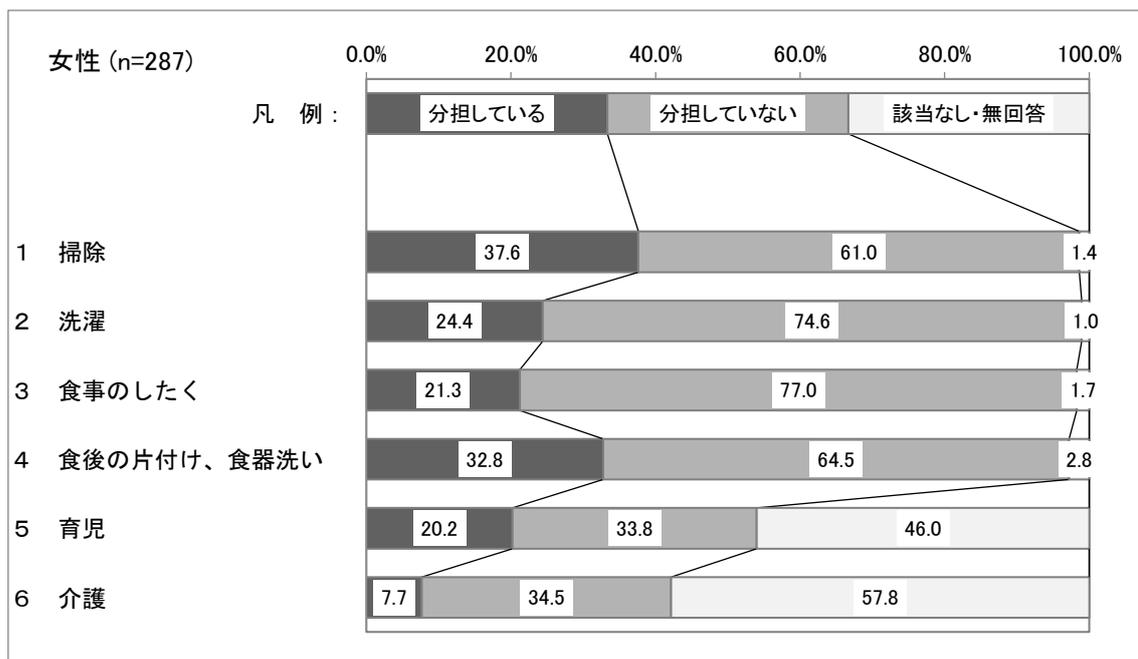
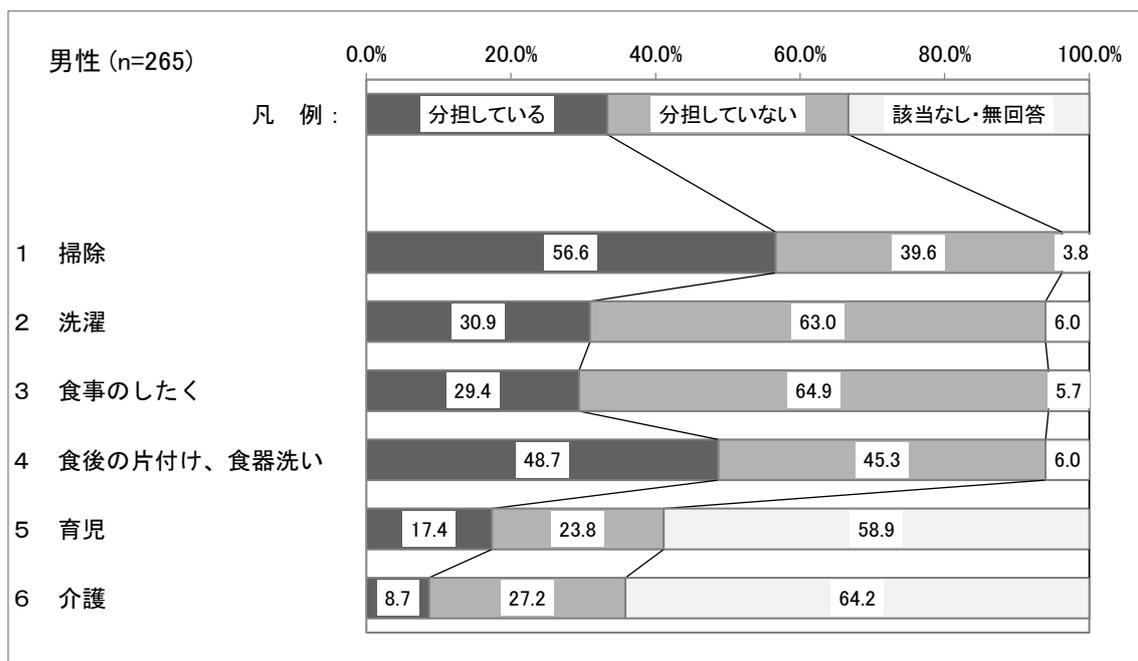
・理想は「夫も妻も仕事をし、共に家事等をする」(71.9%)が7割を超えているが、現実では「夫も妻も仕事をし、妻が主に家事等をする」(37.1%)が最も多かった。



問4 結婚(事実婚を含む)している方にお聞きます。ご家庭では次のような家事を男性は分担していますか。1～6までのそれぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。

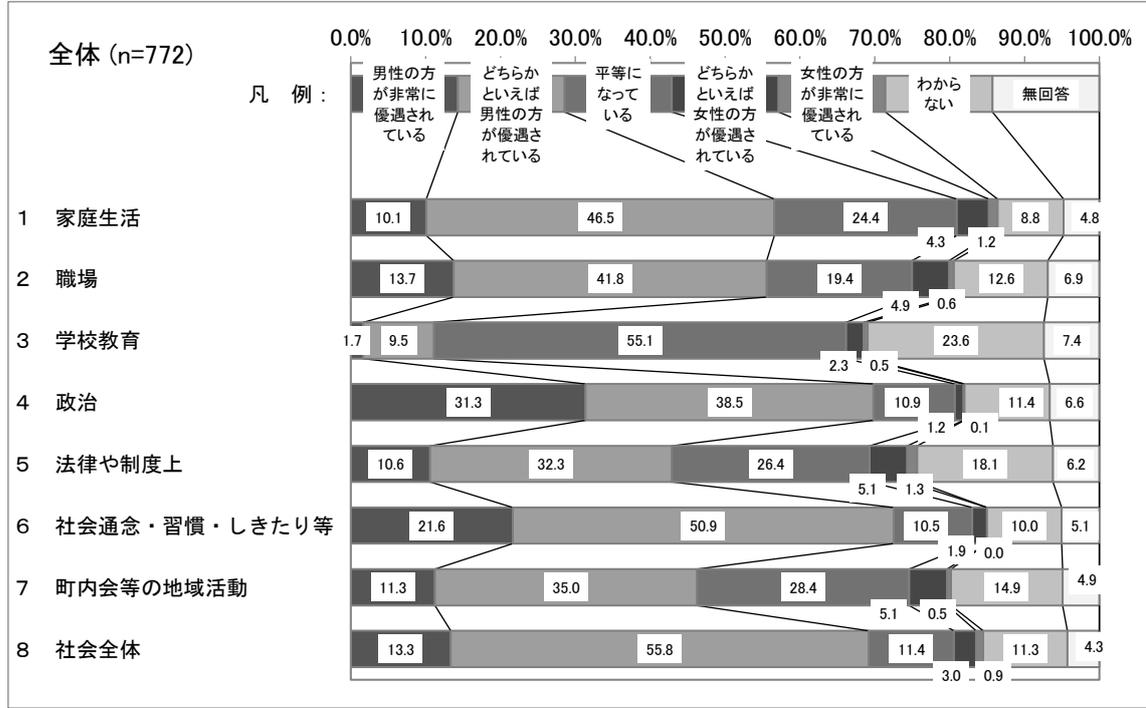


- ・「1 掃除」から「4 食後の片付け、食器洗い」のいずれも「分担している」が半数に満たない。
- ・「分担している」と回答した割合が男性よりも女性の方が低い傾向がある。(最大で「1 掃除」の19ポイント差)

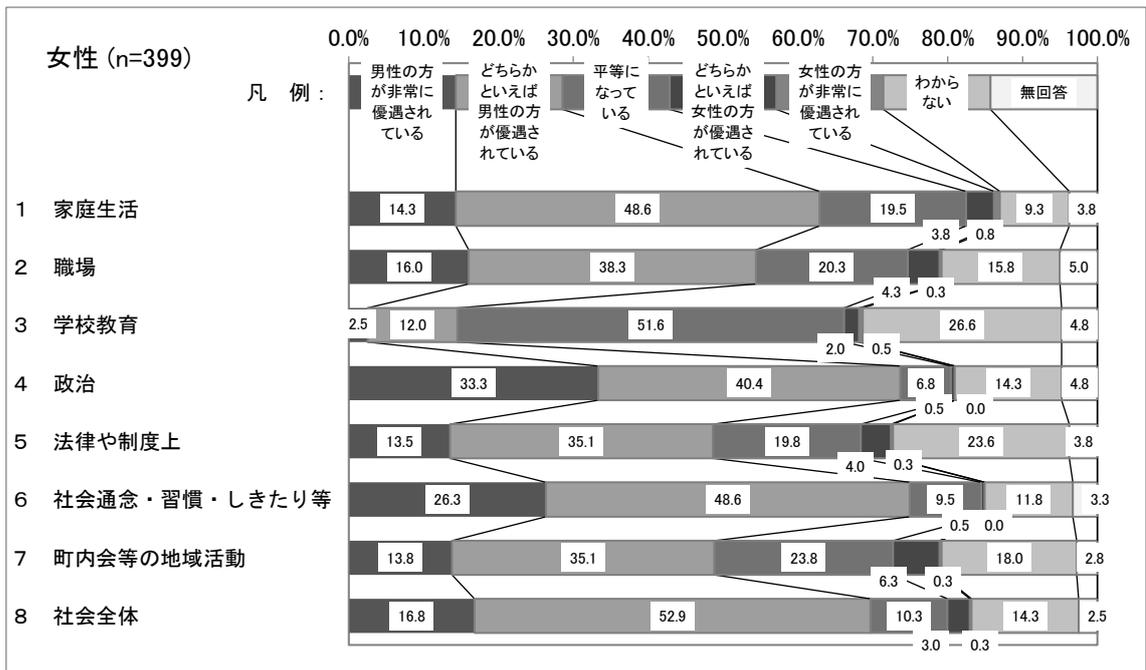
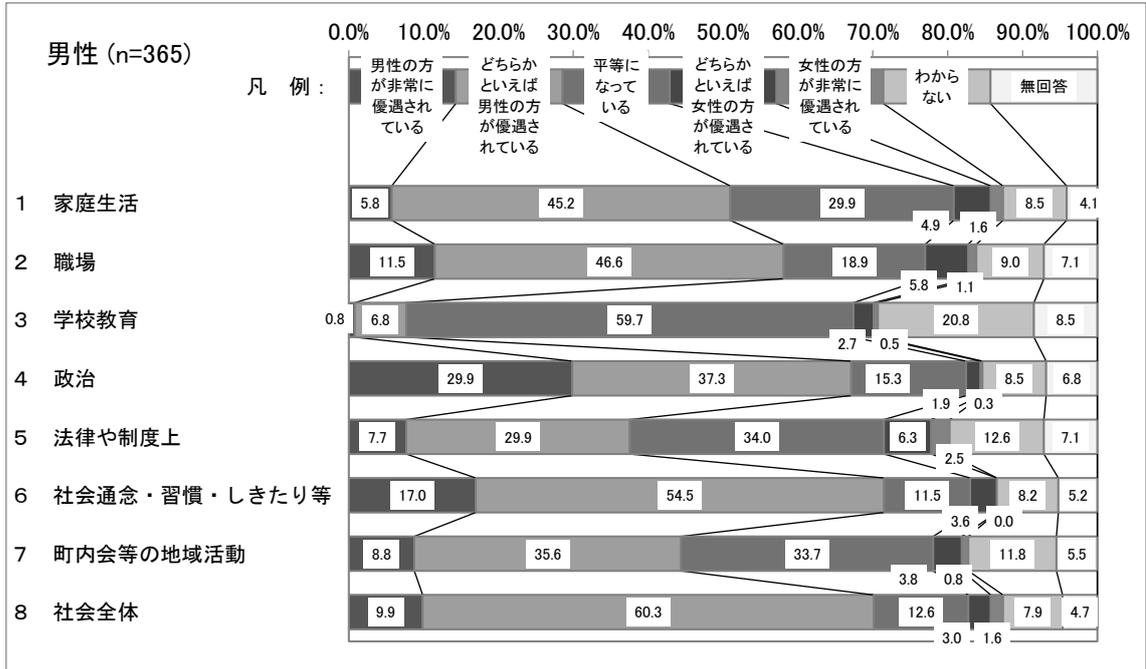


2 男女の地位の平等感について

問5 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。1～8のそれぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。

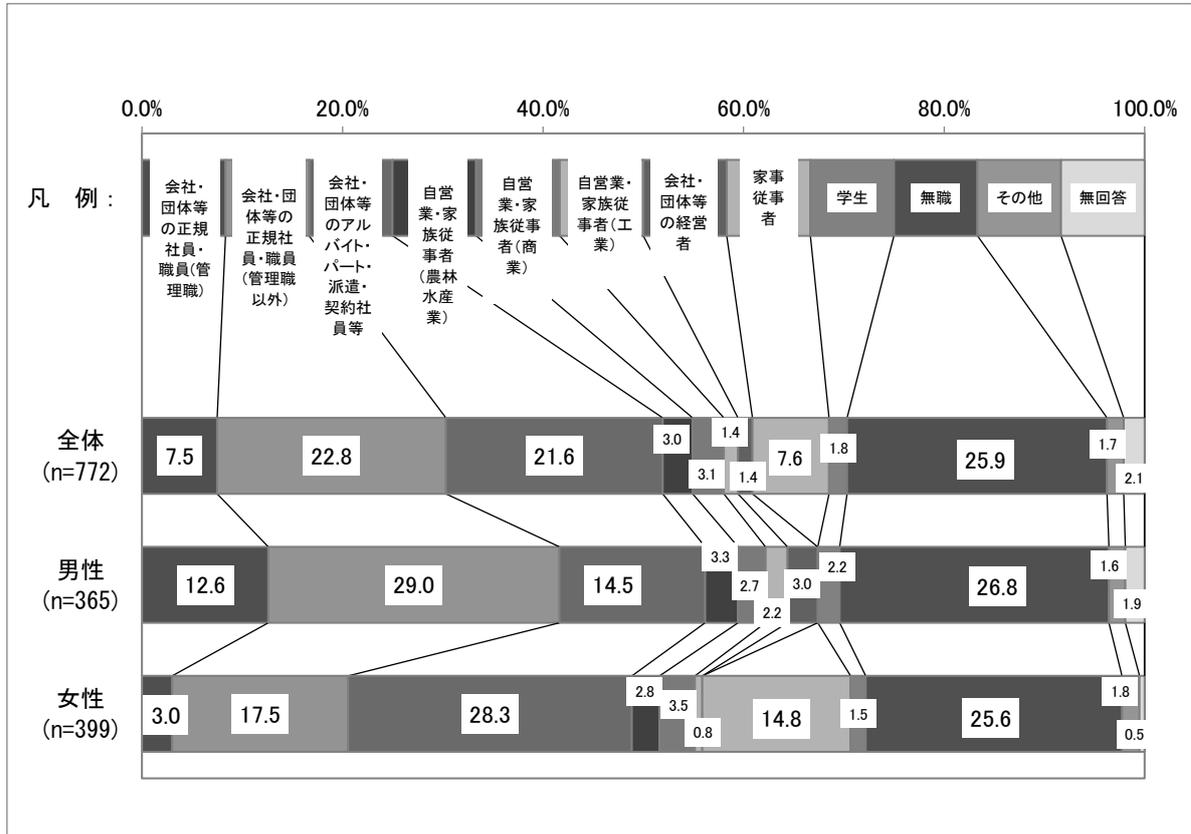


- 全分野のうち「学校教育」が 55.1%で最も平等感が高く、次いで「町内会等の地域活動」「法律や制度上」「家庭生活」が 20%台、「職場」「社会全体」「政治」「社会通念・習慣・しきたり等」が 10%台であった。
- 「学校教育」以外の分野ではいずれも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も多かった。
- 「職場」の分野のみ、「平等になっている」と回答した割合が女性の方が多かった。



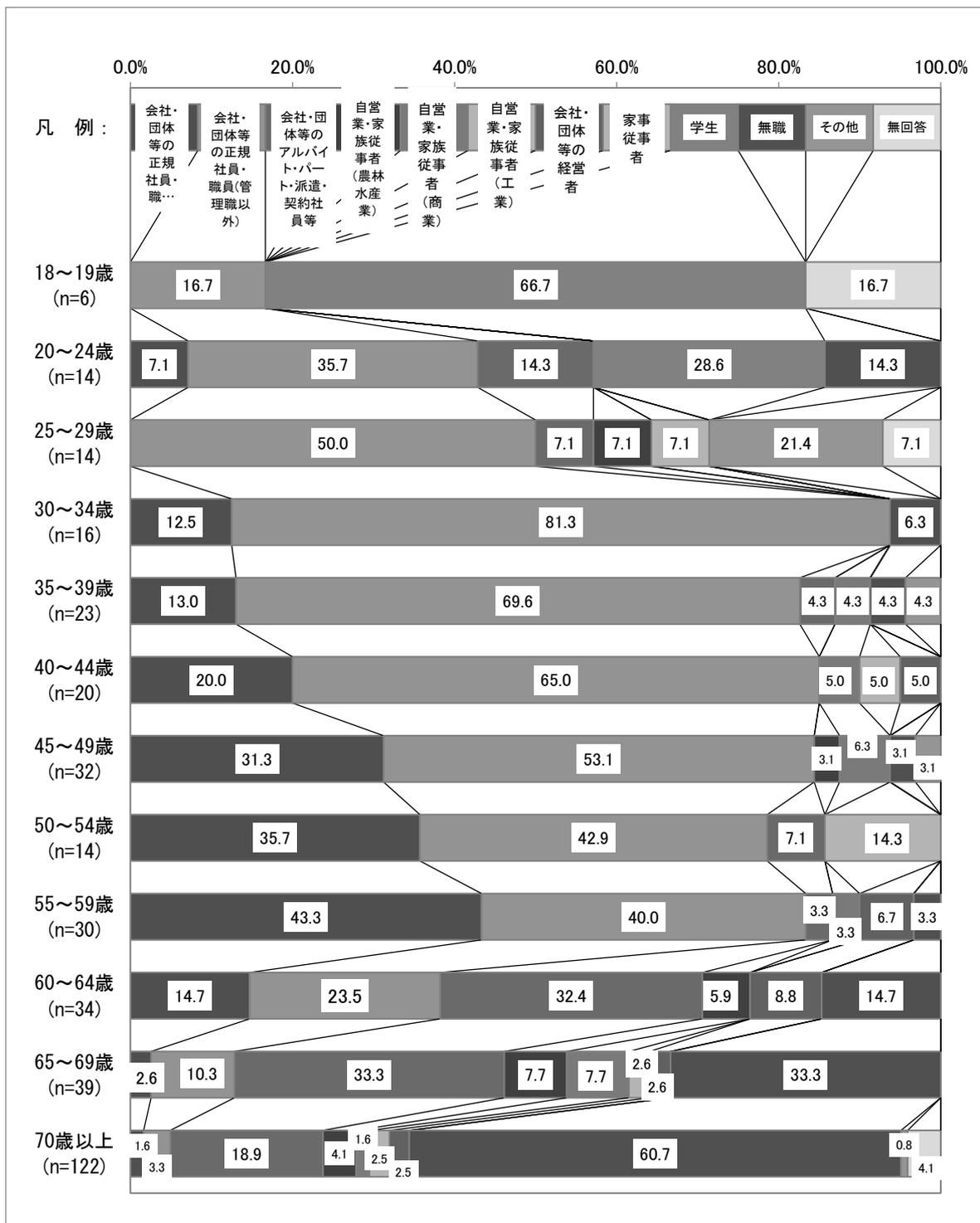
3 職業生活、女性活躍の推進について

問6 現在どのような職業にお就きですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

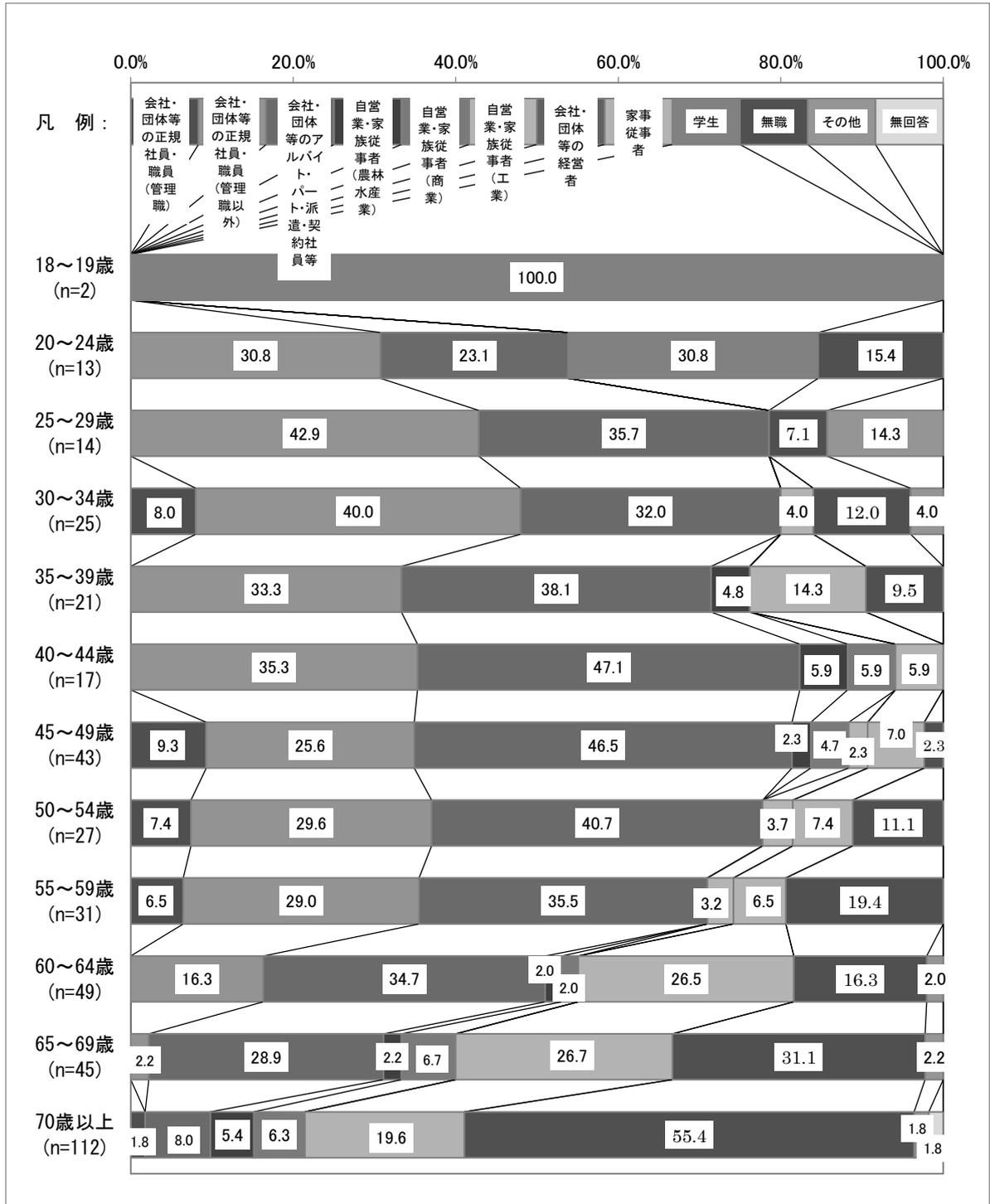


- ・「会社・団体等の正規社員・職員(管理職以外)」(22.8%)「会社・団体等のアルバイト・パート・派遣・契約社員等」(21.6%)「家事従事者」(7.6%)「会社・団体等の正規社員・職員(管理職)」(7.5%)の順で多かった。
- ・性別では、男性「会社・団体等の正規社員・職員(管理職以外)」(29.0%)「会社・団体等のアルバイト・パート・派遣・契約社員等」(14.5%)「会社・団体等の正規社員・職員(管理職)」(12.6%)、の順で多かった。
- ・女性では「会社・団体等のアルバイト・パート・派遣・契約社員等」(28.3%)「会社・団体等の正規社員・職員(管理職以外)」(17.5%)「家事従事者」(14.8%)
- ・その他、「会社・団体等の正規社員・職員(管理職以外)」(男 29.0%女 17.5%)「会社・団体等のアルバイト・パート・派遣・契約社員等」(男 14.5%女 28.3%)「家事従事者」(男 0%女 14.8%)で10%以上の差が生じている。

男性

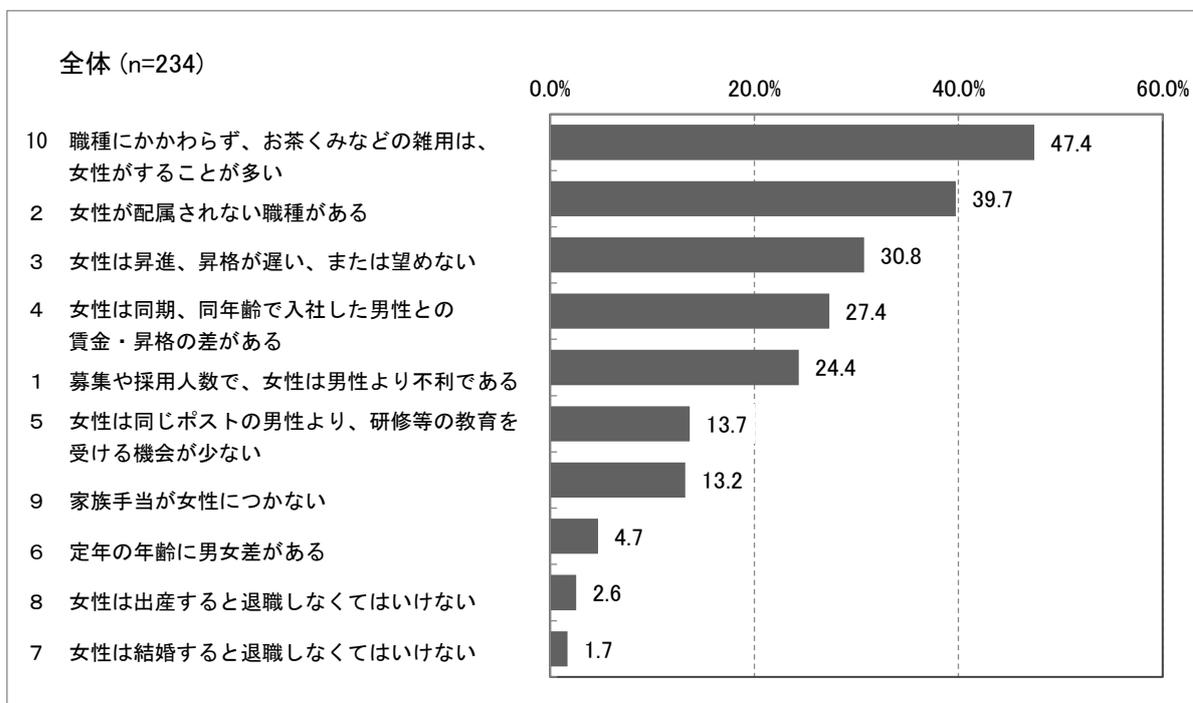


女性

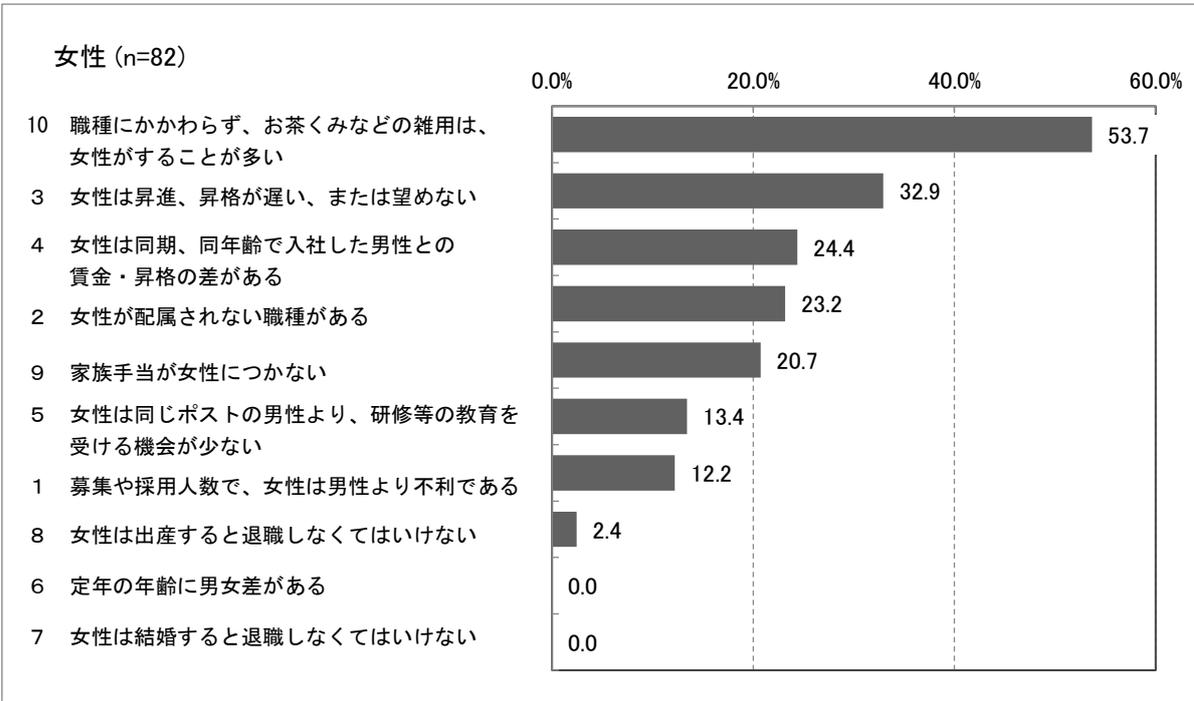
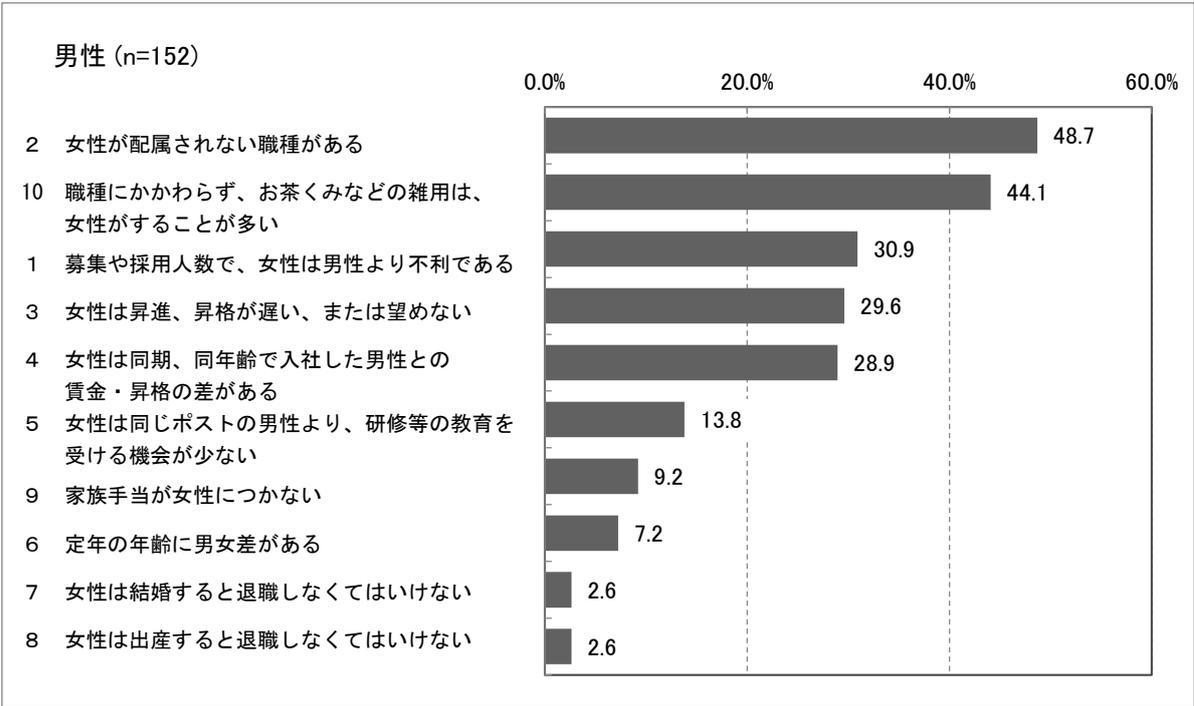


問7（問6で1または2を選んだ方のみお答えください。）

あなたの職場では次のようなことがありますか。1～10までのそれぞれについて、どちらかを選んで○をつけてください。

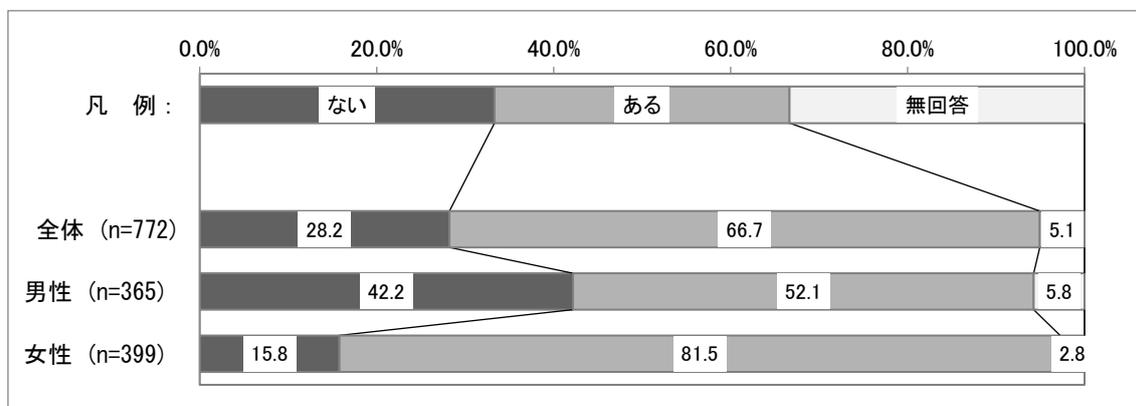


・全体では「10 職種にかかわらず、お茶くみなどの雑用は女性がすることが多い」(47.4%)が最も多く、性別においては、男性は「2 女性が配属されない職種がある」(48.7%)、女性は「10 職種にかかわらず、お茶くみなどの雑用は女性がすることが多い」(53.7%)が最も多かった。

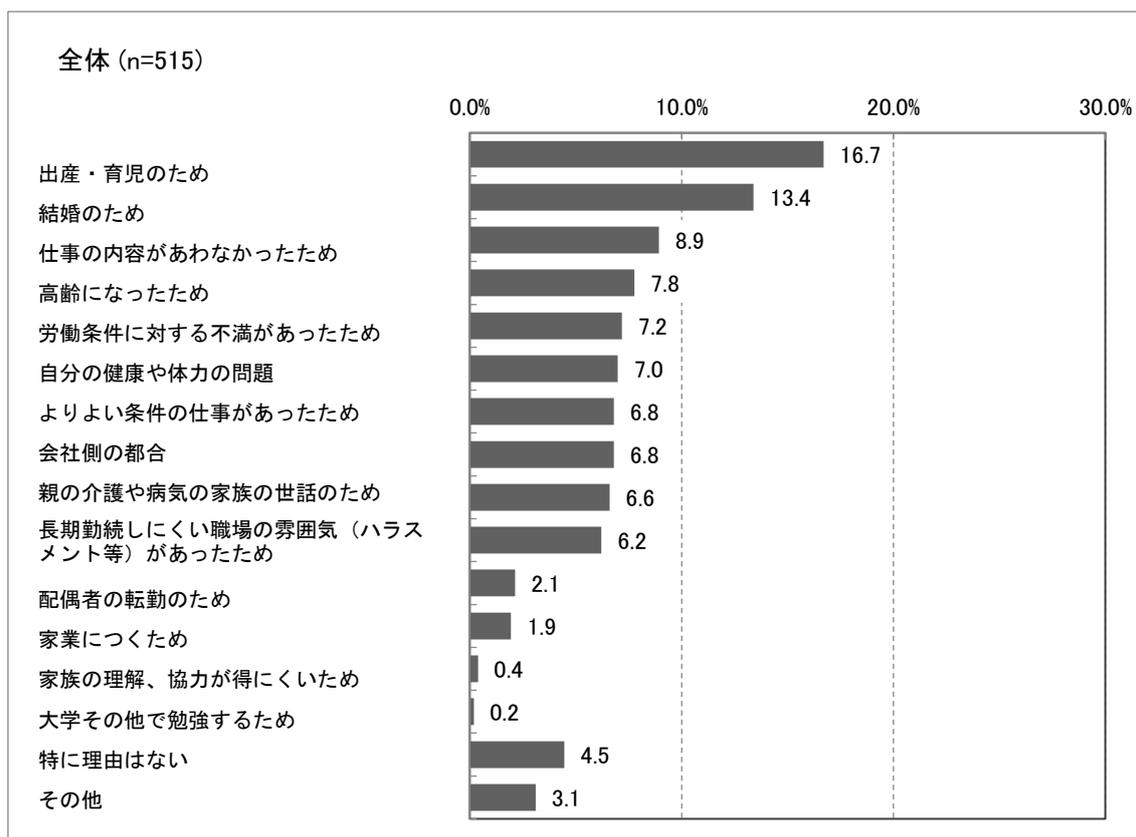


問8 今までに仕事を辞めたり中断したり、あるいは転職したことがありますか。ある場合は、主な理由を1つだけ選んで○をつけてください。

今までに仕事を辞めたり中断したり、あるいは転職したことがある

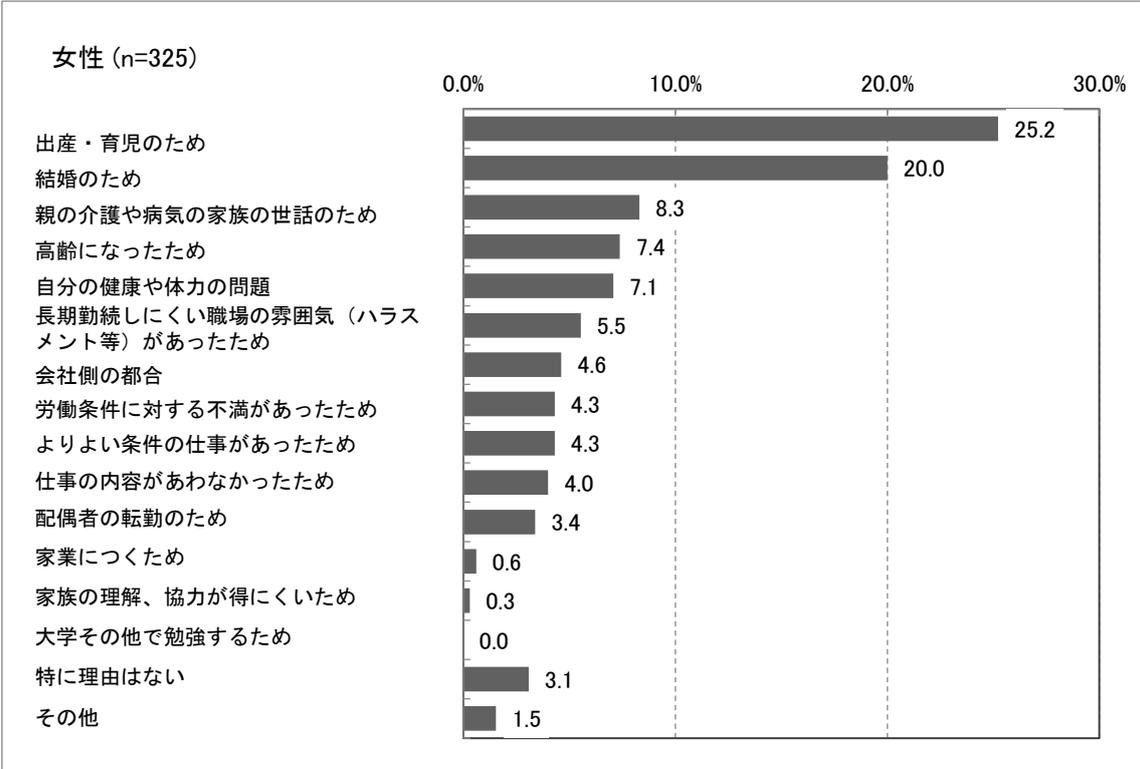
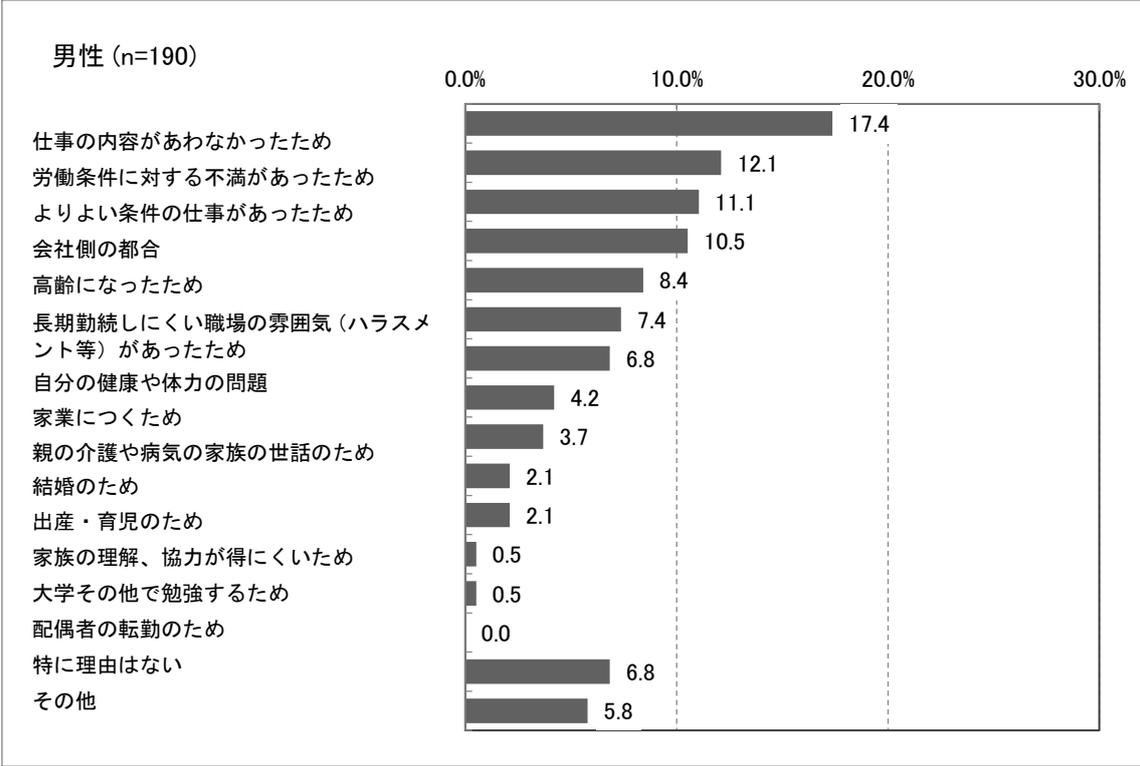


仕事を辞めたり中断したり、あるいは転職した主な理由について

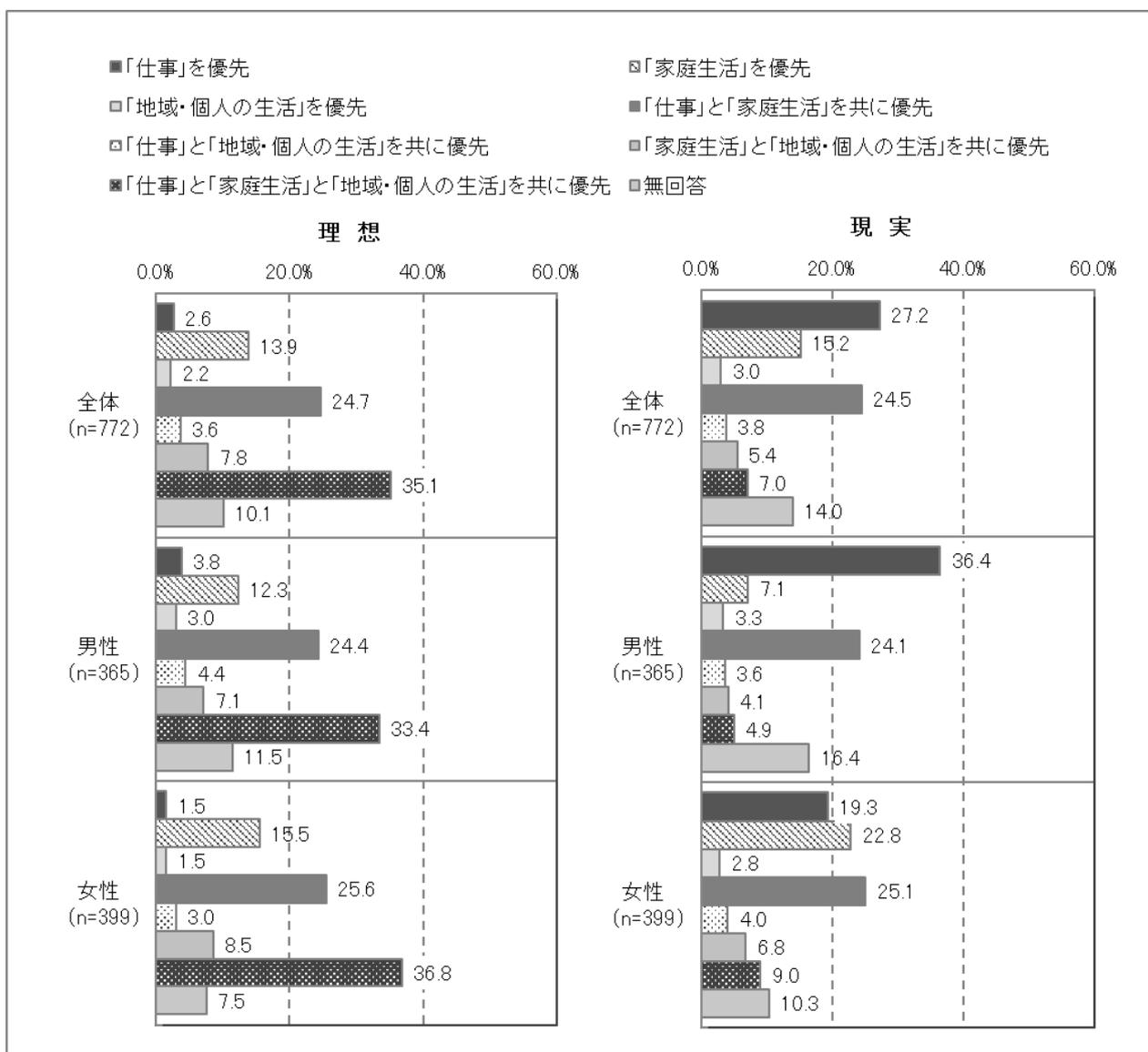


全体で 2/3 の人が仕事を辞めたり中断したり転職したことがあると回答していて(66.7%)、男性(52.1%)よりも女性(81.5%)の方が多。

理由で多いものは、全体では「出産・育児のため」(11.3%)、男性では「仕事の内容があわなかったため」(9.0%)「労働条件に対する不満があったため」(6.6%)、女性では「出産・育児のため」(20.8%)「結婚のため」(17.0%)であった。

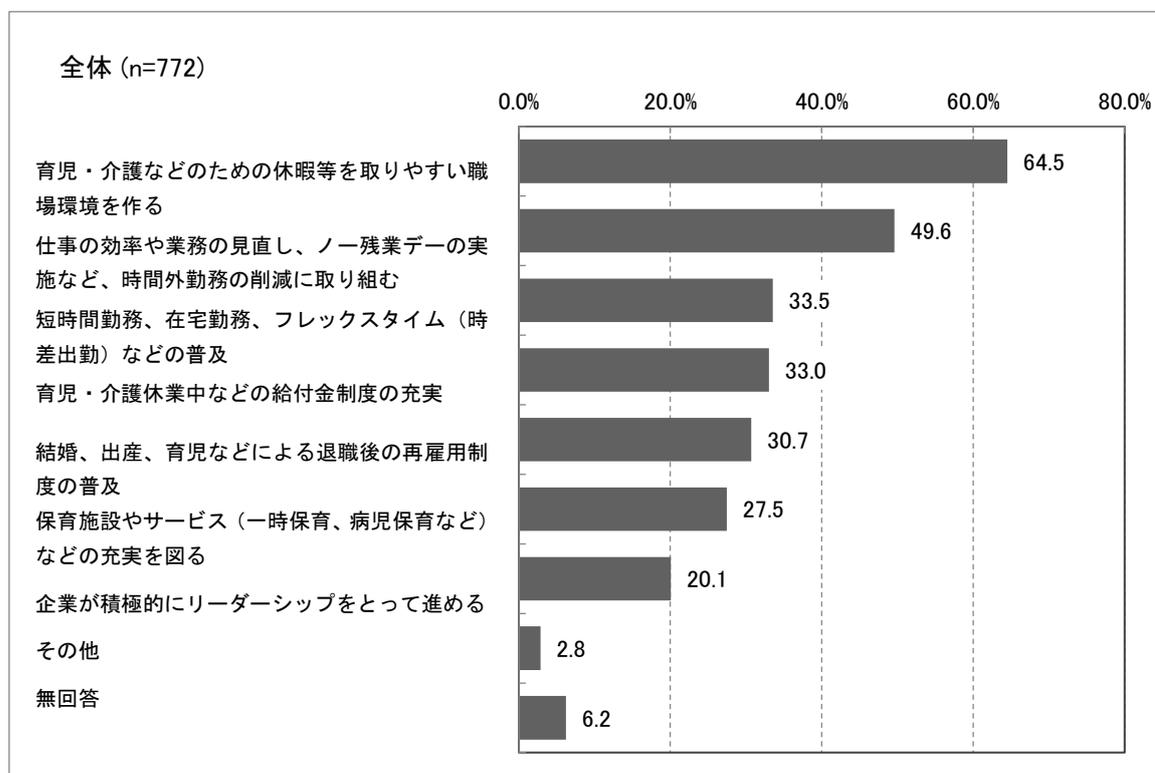


問9 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」の優先度について、1～7のうち「理想」として望ましい姿だと考えるものを1つだけ選んで○をつけてください。また、あなたの「現実」に最も近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

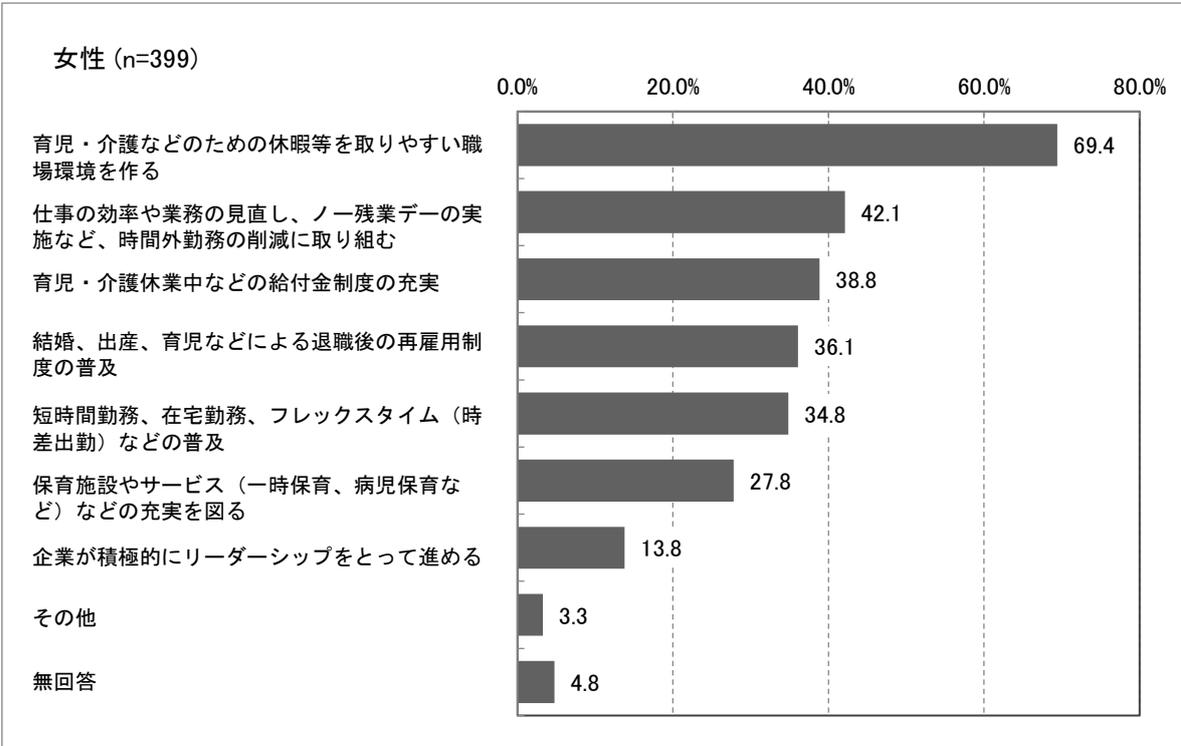
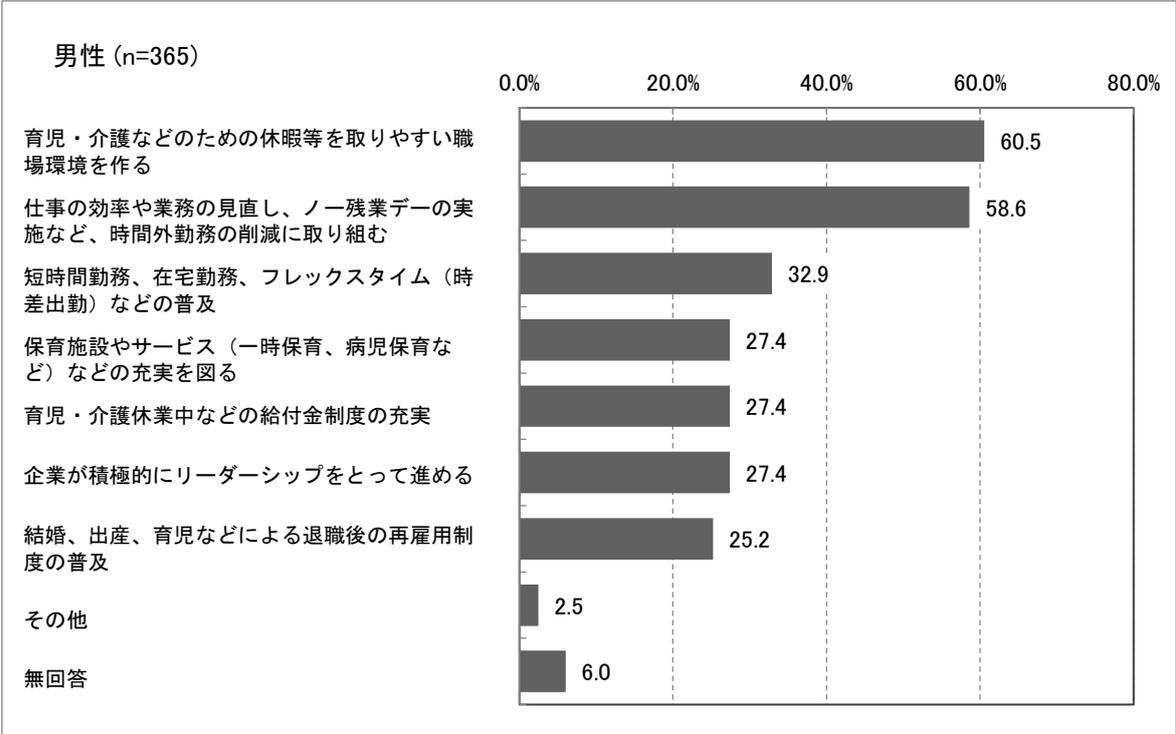


- ・理想では、全体・男性・女性ともに1/3以上が「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先」と回答しているが、現実では1割に満たない。
- ・現実で多かった回答は全体で「仕事」を優先(27.2%)、男性も「仕事」を優先(36.4%)、女性では「仕事」と「家庭生活」を共に優先(25.1%)となっている。

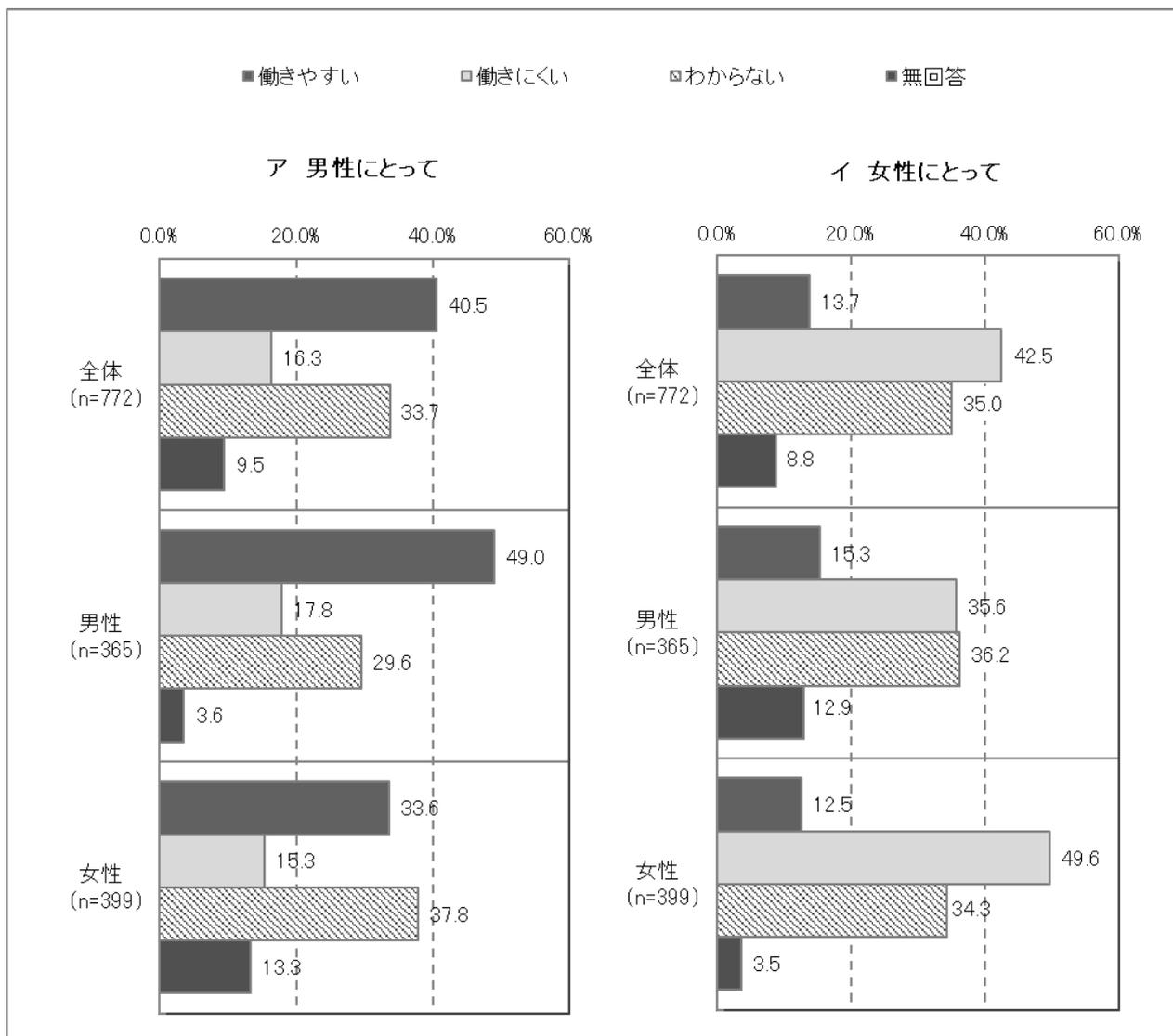
問10 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のためにどのようなことが必要だと思いますか。主なものを3つを選んで○をつけてください。



- ・全体では、「育児・介護などのための休暇等を取りやすい職場環境を作る」(24.1%)が最も多く、次いで「仕事の効率や業務を見直したり、ノー残業デーなどの取組を行う」(18.5%)、「短時間勤務、在宅勤務、フレックスタイム(時差出勤)などの普及」(12.5%)
- ・男性では、「育児・介護などのための休暇等を取りやすい職場環境を作る」(22.6%)が最も多く、次いで「仕事の効率や業務を見直したり、ノー残業デーなどの取組を行う」(21.9%)、「短時間勤務、在宅勤務、フレックスタイム(時差出勤)などの普及」(12.3%)
- ・女性では、「育児・介護などのための休暇等を取りやすい職場環境を作る」(25.6%)が最も多く、次いで「仕事の効率や業務を見直したり、ノー残業デーなどの取組を行う」(15.5%)、「育児・介護休業中などの給付金制度の充実」(14.3%)

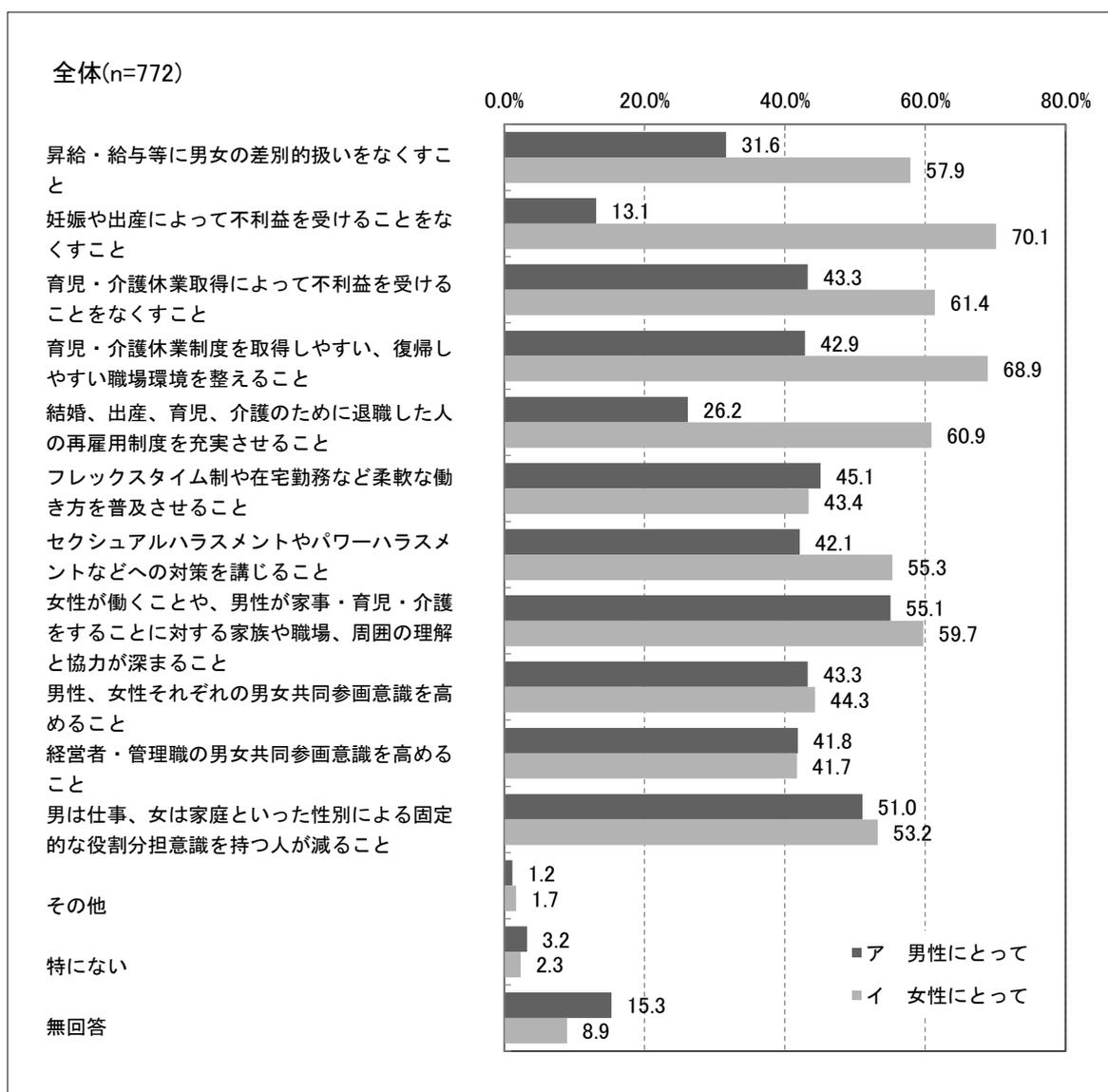


問 11 現在の社会は「男性」及び「女性」にとって働きやすい環境にあると思いますか。(男性、女性それぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。)



- 全体で「男性にとって働きやすい」(40.5%)、「女性にとって働きやすい」(13.7%)
- 男性で「男性にとって働きやすい」(49.0%)、「女性にとって働きやすい」(15.3%)
- 女性で「男性にとって働きやすい」(33.6%)、「女性にとって働きやすい」(12.5%)
- 「女性にとって働きにくい」・・・全体(42.5%)、男性(35.6%)、女性(49.6%)

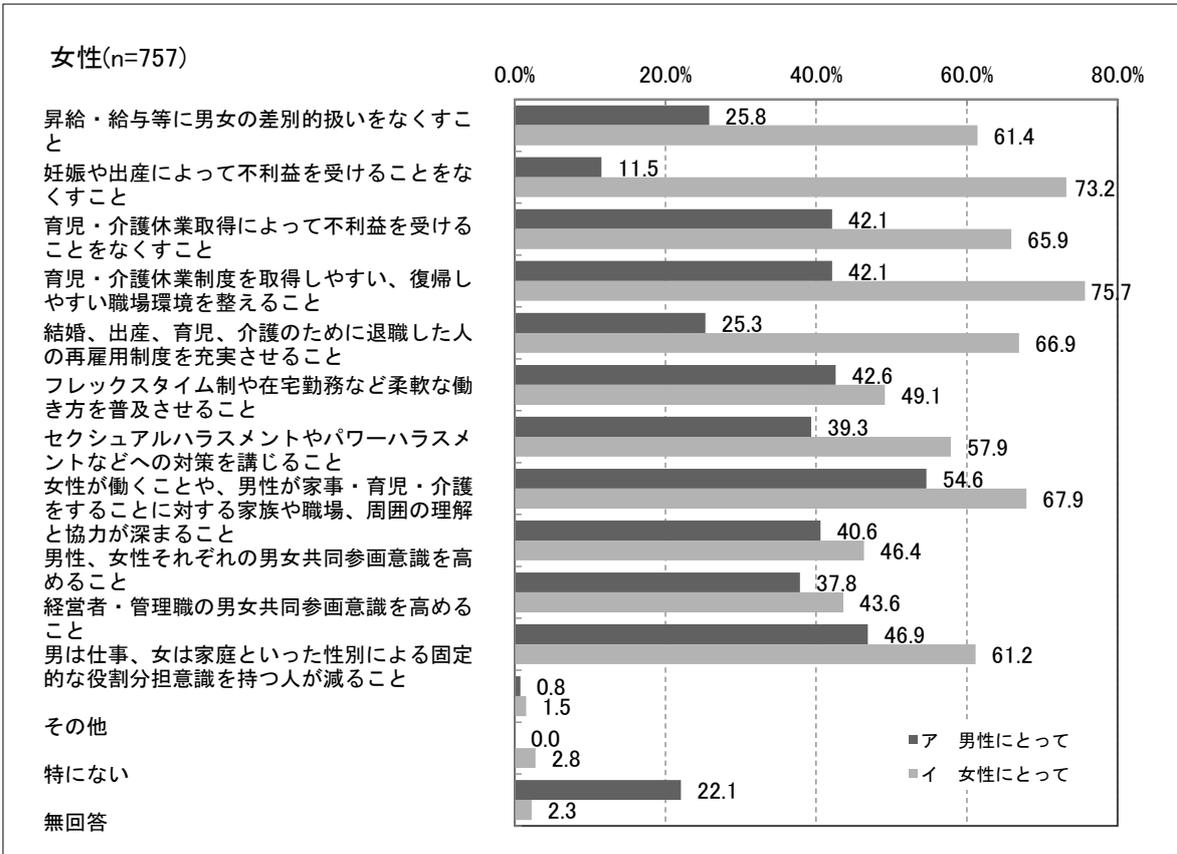
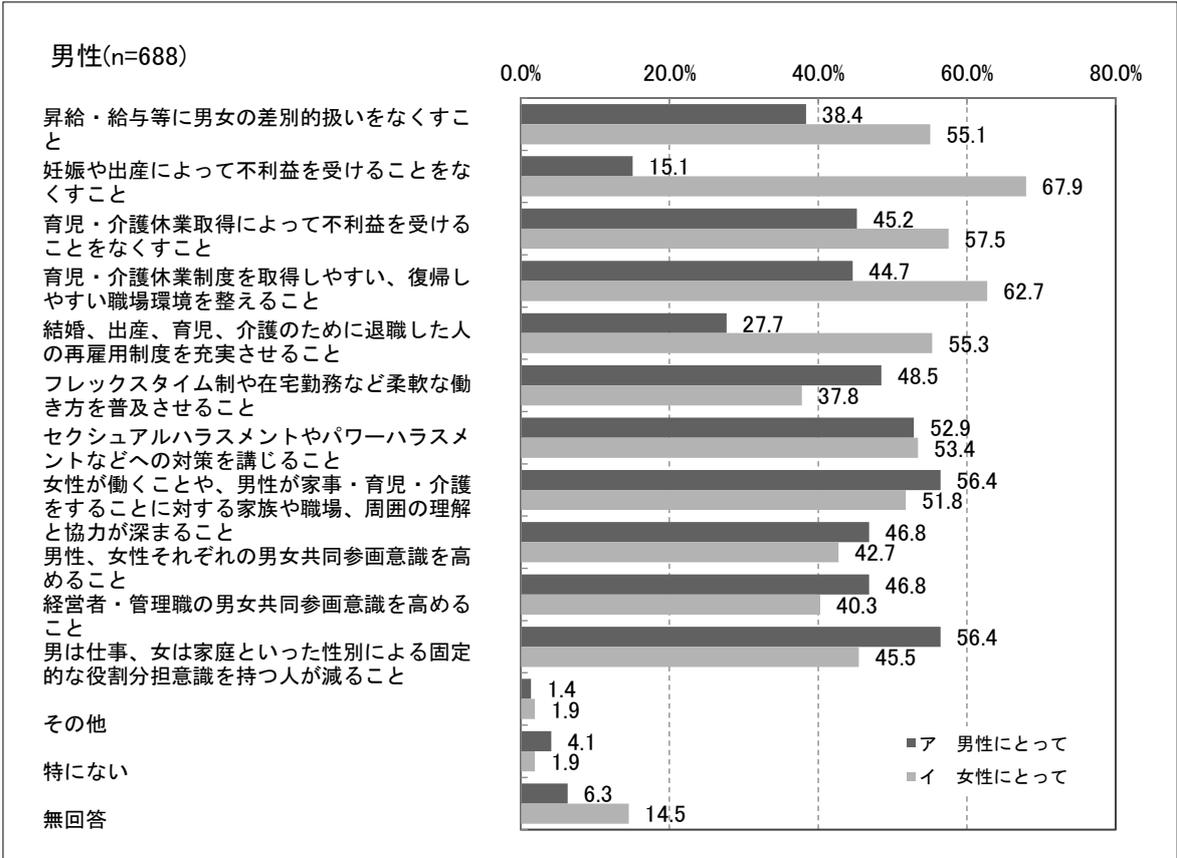
問12 働きやすい環境をつくるには、どのようなことが必要だと思いますか。「男性」、「女性」それぞれについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。



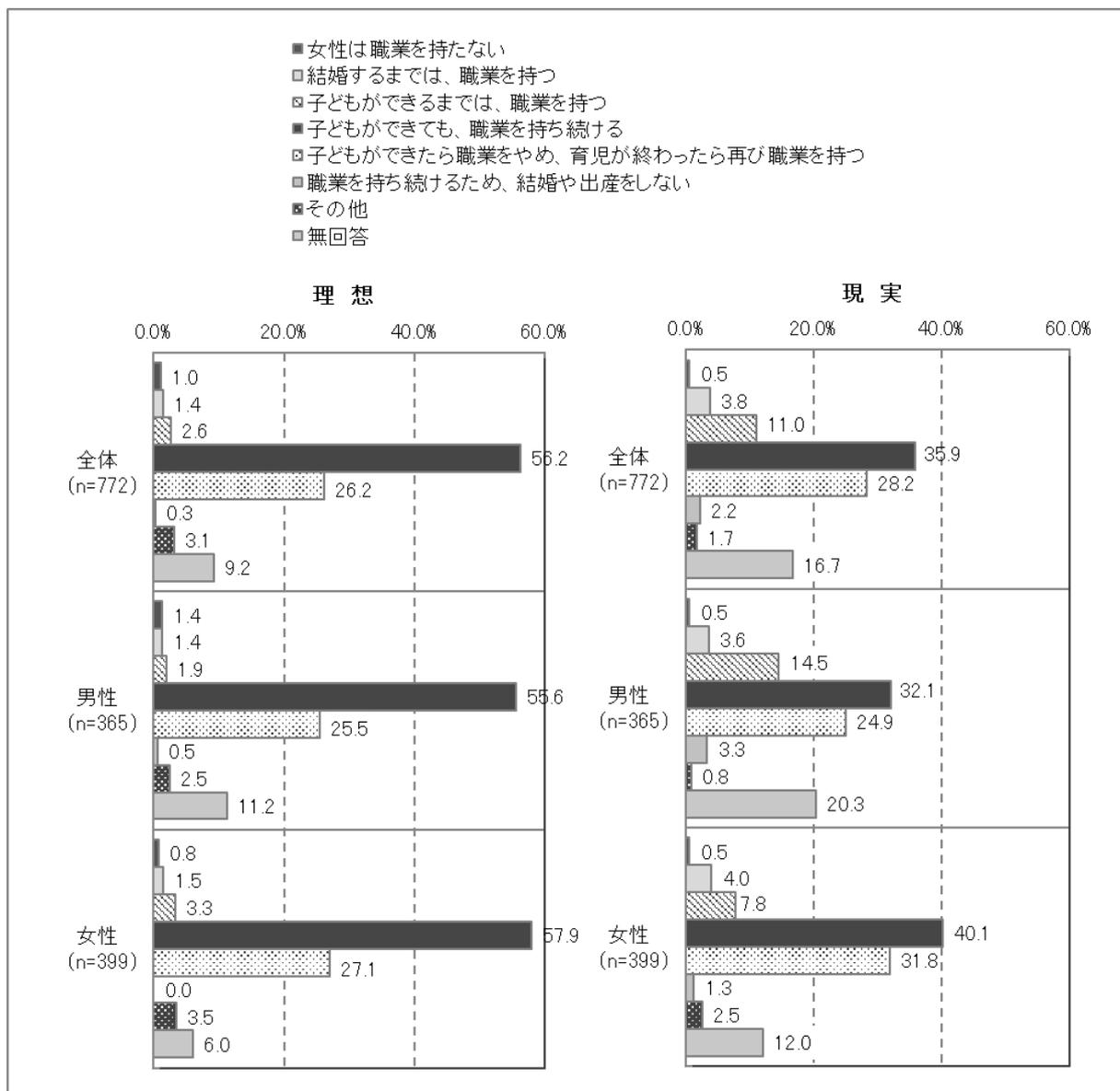
・男性にとっては、「女性が働くことや、男性が家事・育児・介護をすることに対する家族や職場、周囲の理解と協力が深まること」(12.1%)、次いで「男は仕事、女は家庭といった性別による固定的な役割分担意識を持つ人が減ること」(11.2%)、「フレックスタイム制や在宅勤務など柔軟な働き方を普及させること」(9.9%)

・女性にとっては、「妊娠や出産によって不利益を受けることをなくすこと」(11.1%)、次いで「育児・介護休業制度を取得しやすい、復帰しやすい職場環境を整えること」(10.9%)、「育児・介護休業取得によって不利益を受けることをなくすこと」(9.7%)「結婚、出産、育児、介護のために退職した人の再雇用制度を充実させること」(9.7%)

(女性の回答で、「育児、介護、出産、復帰、再雇用」などに関係するものが多い)

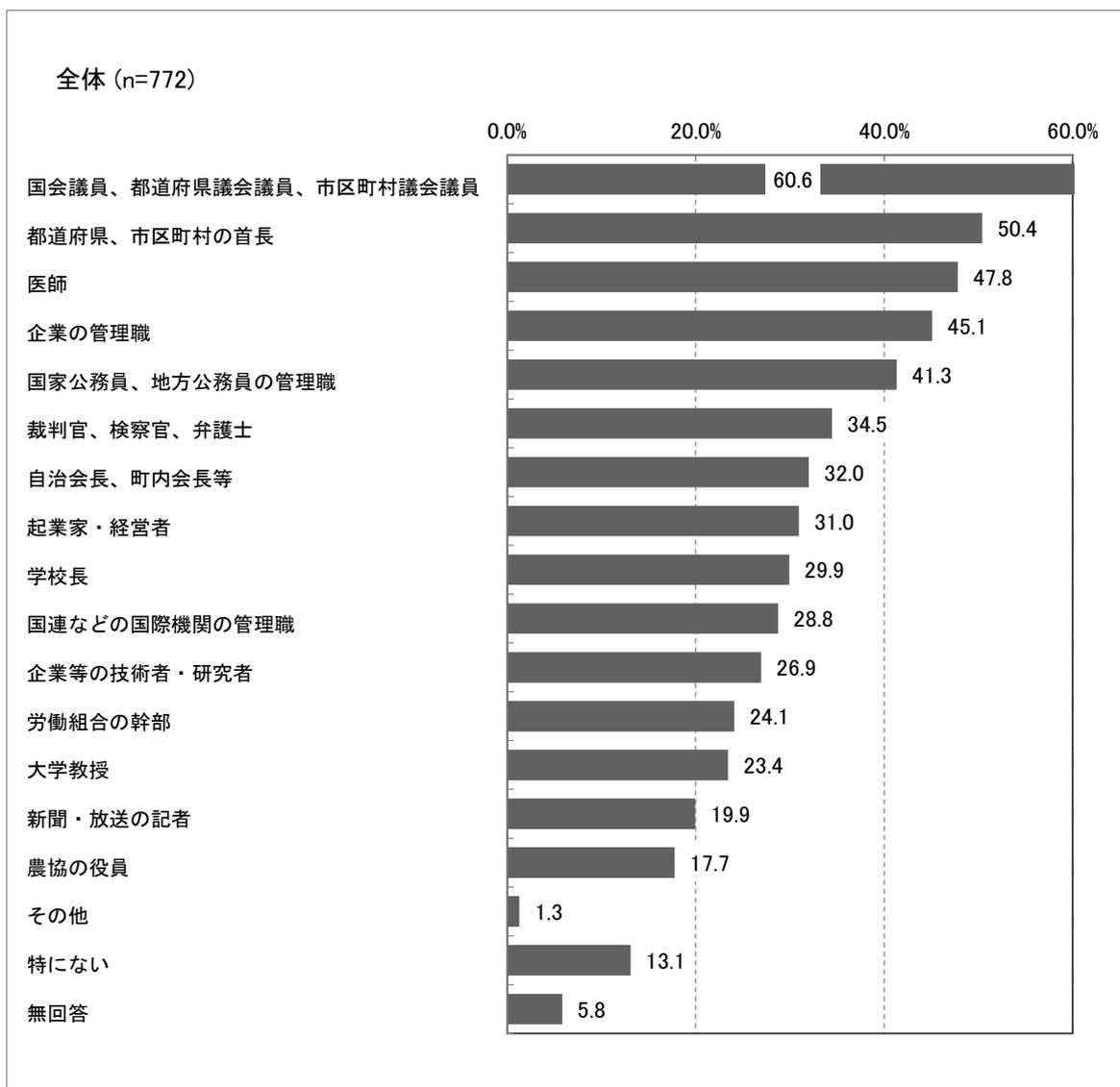


問 13 女性が職業を持つことについて、1～7のうち「理想」として望ましい姿だと考えるもの1つだけ選んで○をつけてください。また、あなたの経験や今後の予定、身近な女性で「現実」として最も近いものを1つだけ選んで○をつけてください。



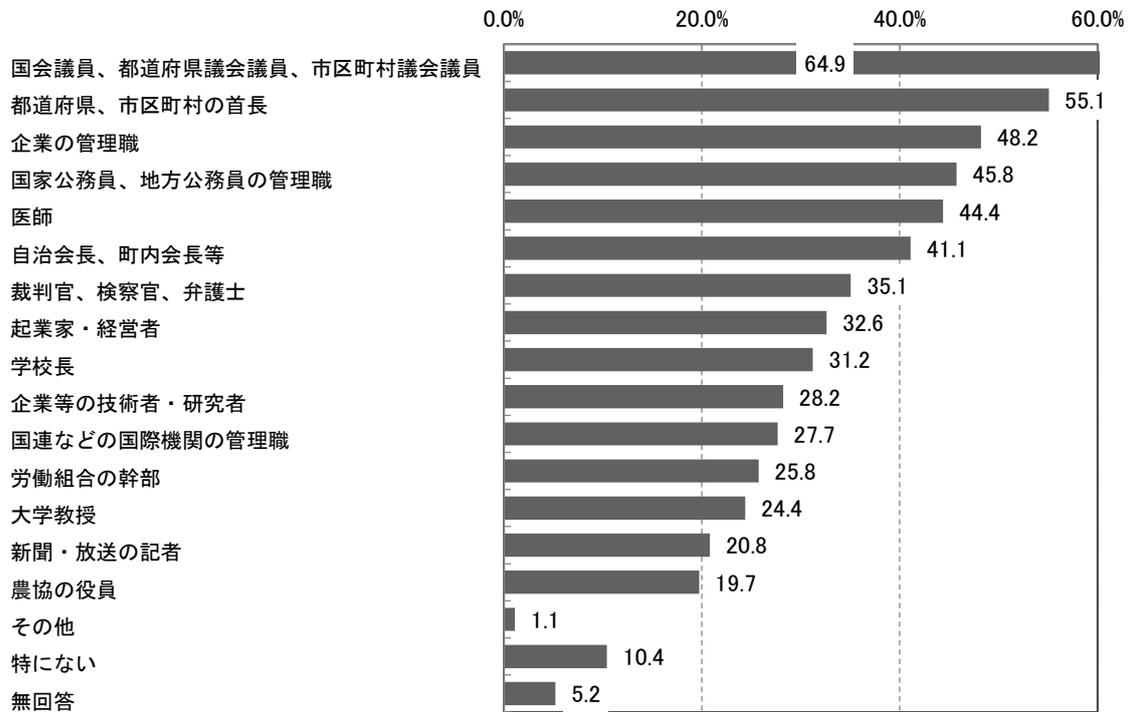
- ・理想では「子どもができて、職業を続ける」(56.2%)、「子どもができたなら職業をやめ、育児が終わったら再び職業を持つ」(26.2%)、現実でも「子どもができて、職業を続ける」(35.9%)、「子どもができたなら職業をやめ、育児が終わったら再び職業を持つ」(28.2%)であった。
- ・現実で「子どもができて、職業を続ける」(35.9%)の割合が減り、「子どもができるまでは、職業を持つ」(11.0%)が増えた。

問 14 次にあげるような職業や役職において今後女性がもっと増えるほうがよいと思うのはどれですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

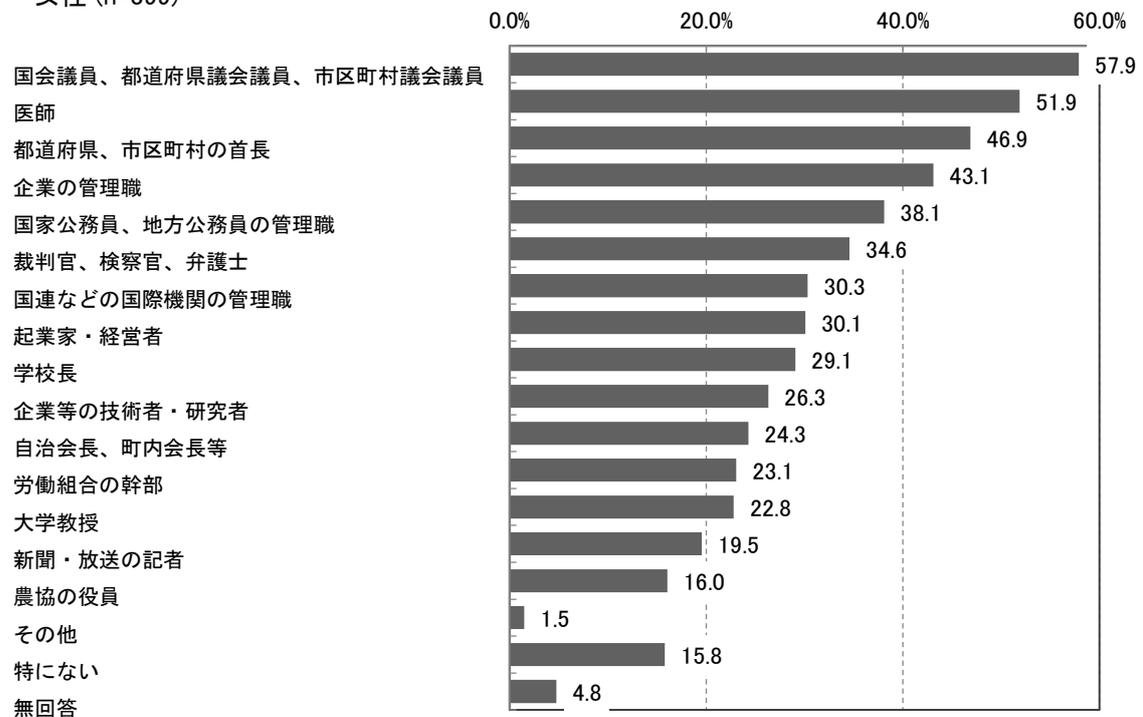


- ・全体では「国会議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員」(11.4%)、「都道府県、市区町村の首長」(9.4%)、「医師」(9.0%)の順が多い。
- ・男性では「国会議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員」(11.6%)、「都道府県、市区町村の首長」(9.8%)、「企業の管理職」(8.6%)の順が多い。
- ・女性では「国会議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員」(11.2%)、「医師」(10.1%)、「都道府県、市区町村の首長」(9.1%)

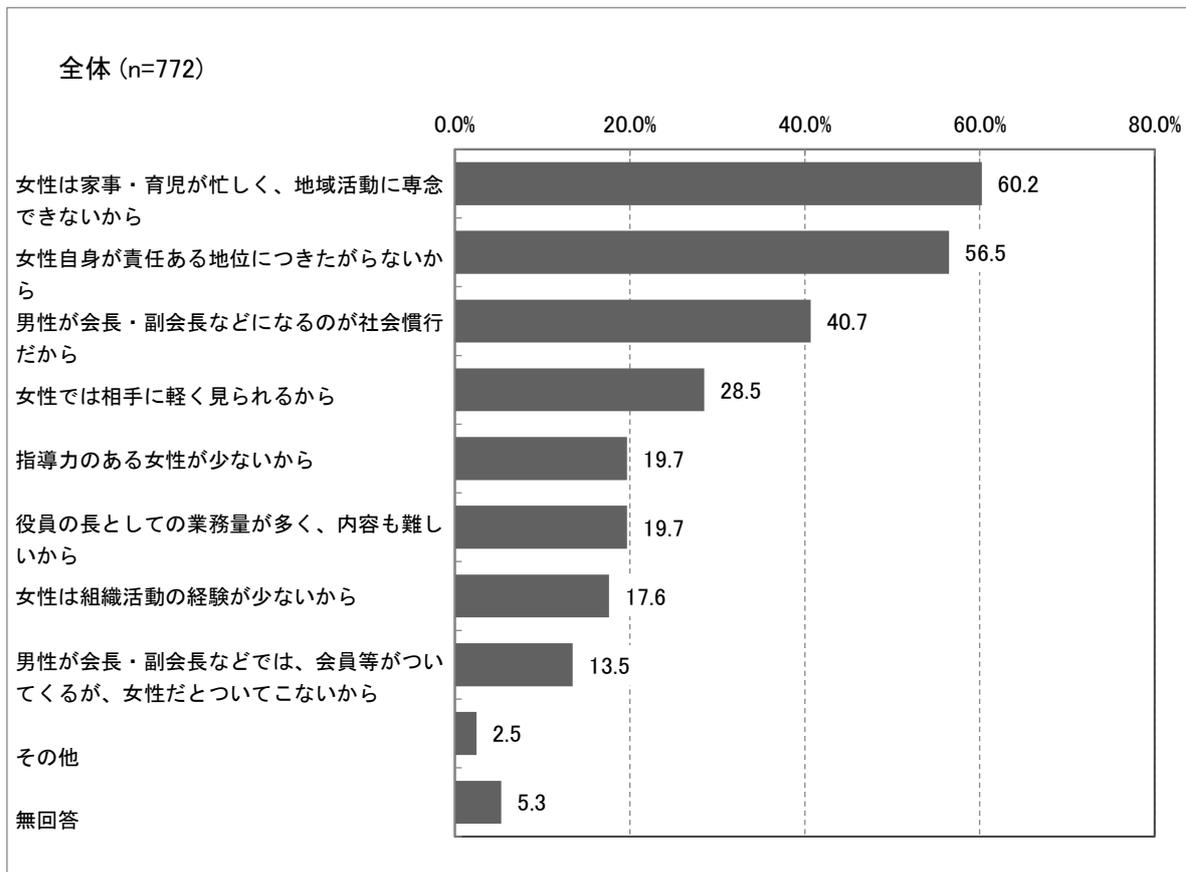
男性 (n=365)



女性 (n=399)



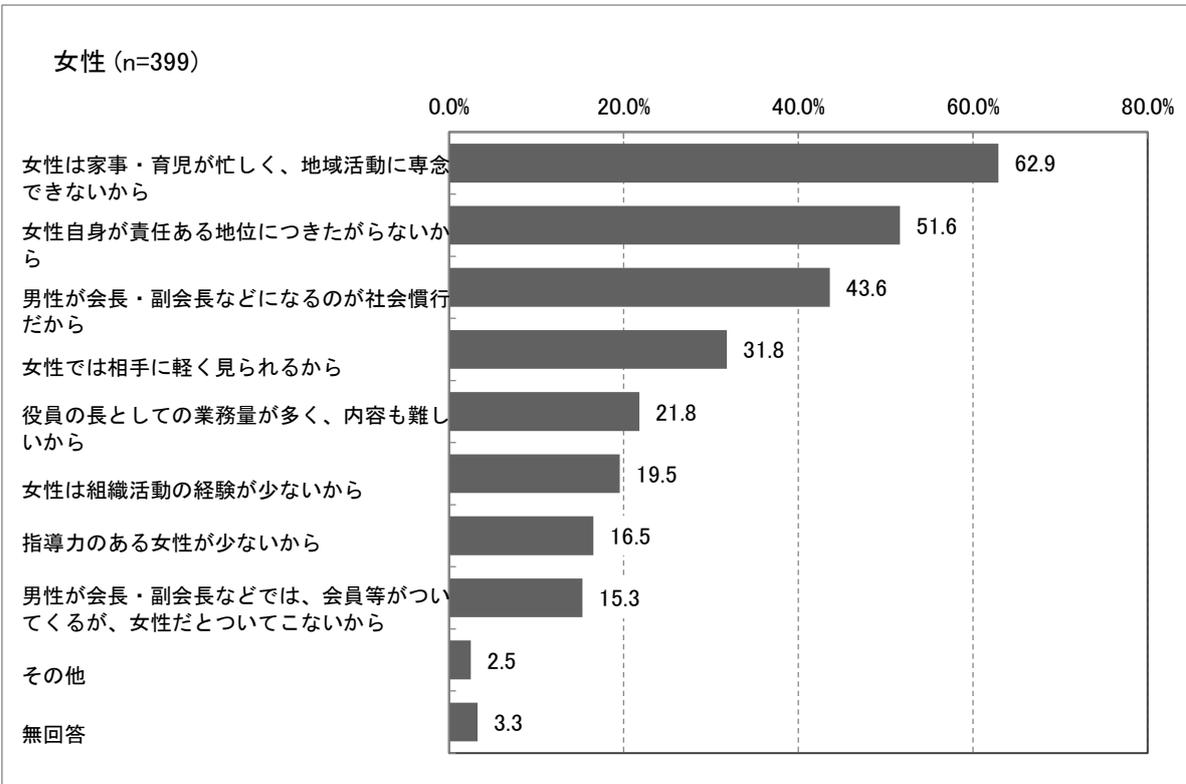
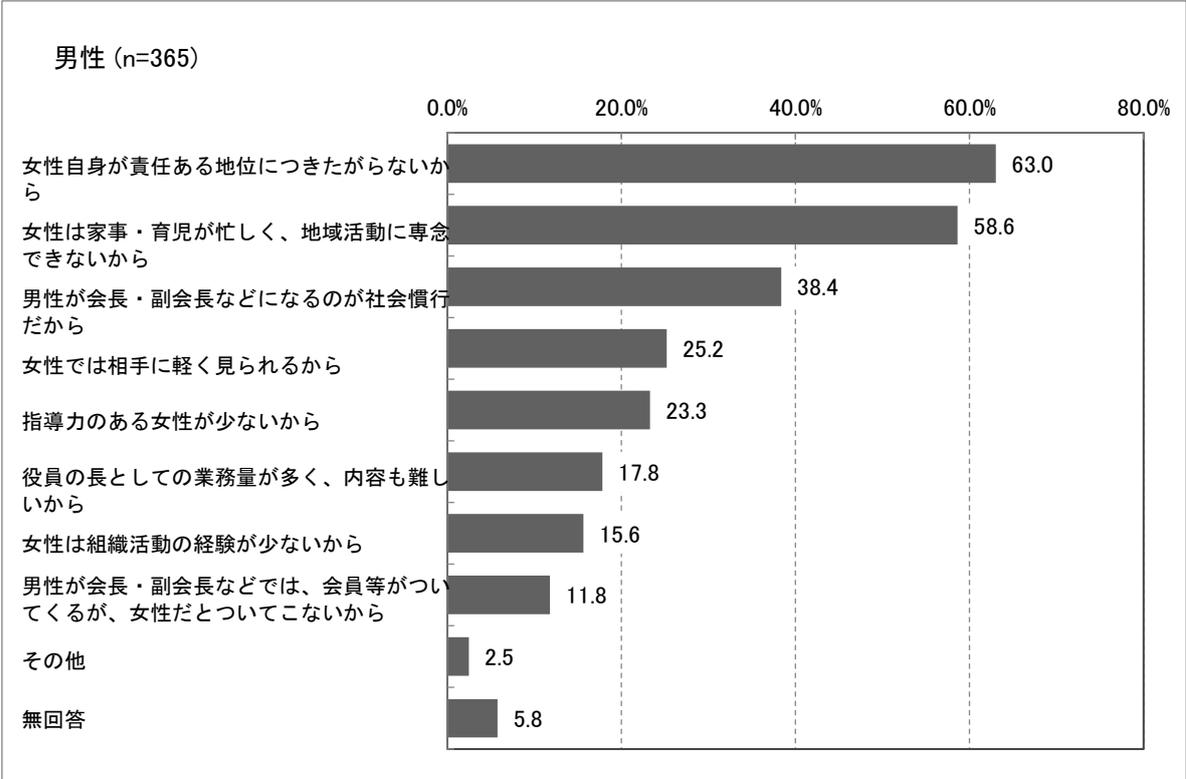
問15 PTAや町内会などの地域団体の役員の長に女性が就くことの妨げとなっている主な原因は何だと思いますか。主なものを3つを選んで○をつけてください



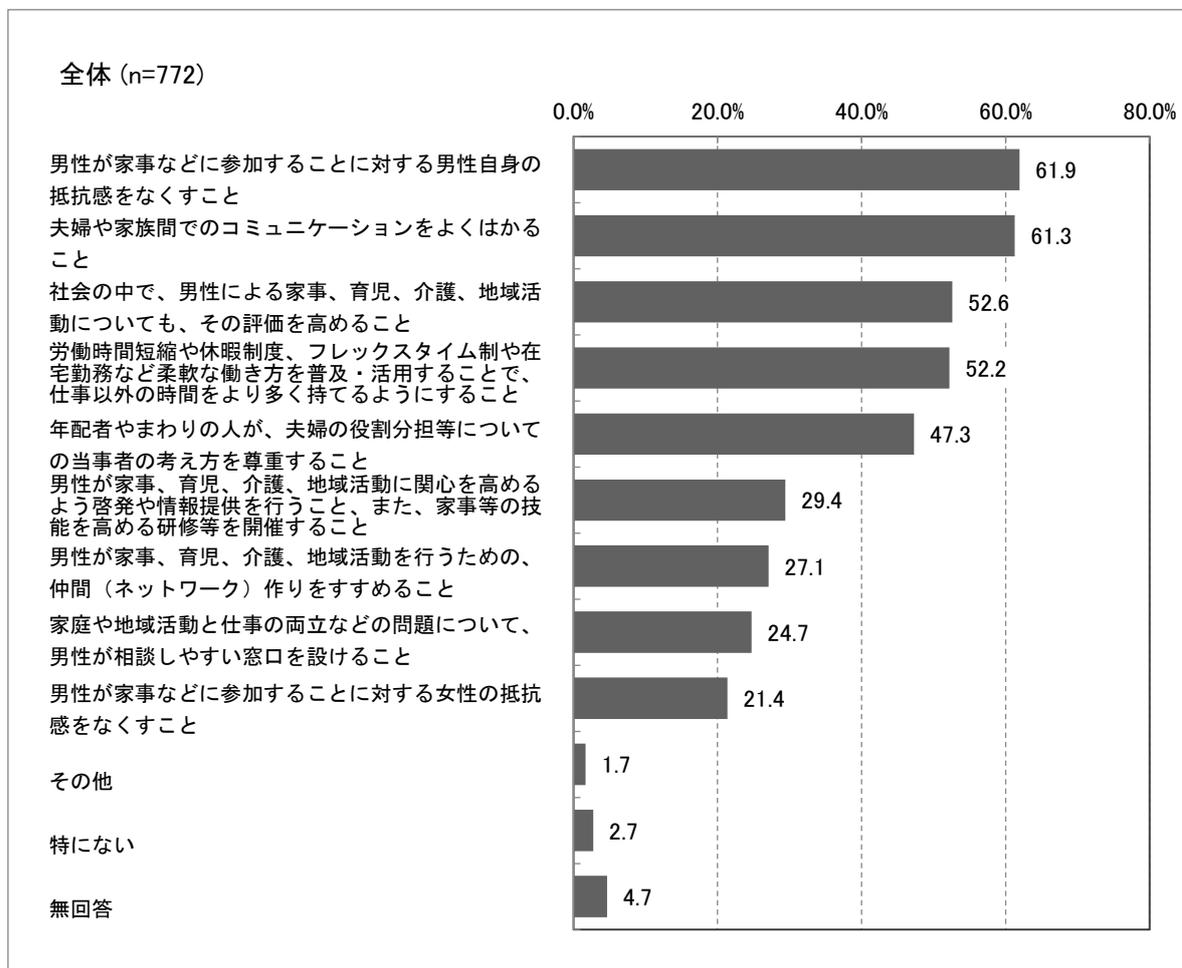
・全体では「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」(22.8%)、「女性自身が責任ある地位につきたがらないから」(21.4%)、「男性が会長・副会長などになるのが社会慣行だから」(15.4%)の順が多い。

・男性では「女性自身が責任ある地位につきたがらないから」(24.1%)、「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」(22.4%)、「男性が会長・副会長などになるのが社会慣行だから」(14.6%)の順が多い。

・女性では「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」(23.4%)、「女性自身が責任ある地位につきたがらないから」(19.2%)、「男性が会長・副会長などになるのが社会慣行だから」(16.2%)



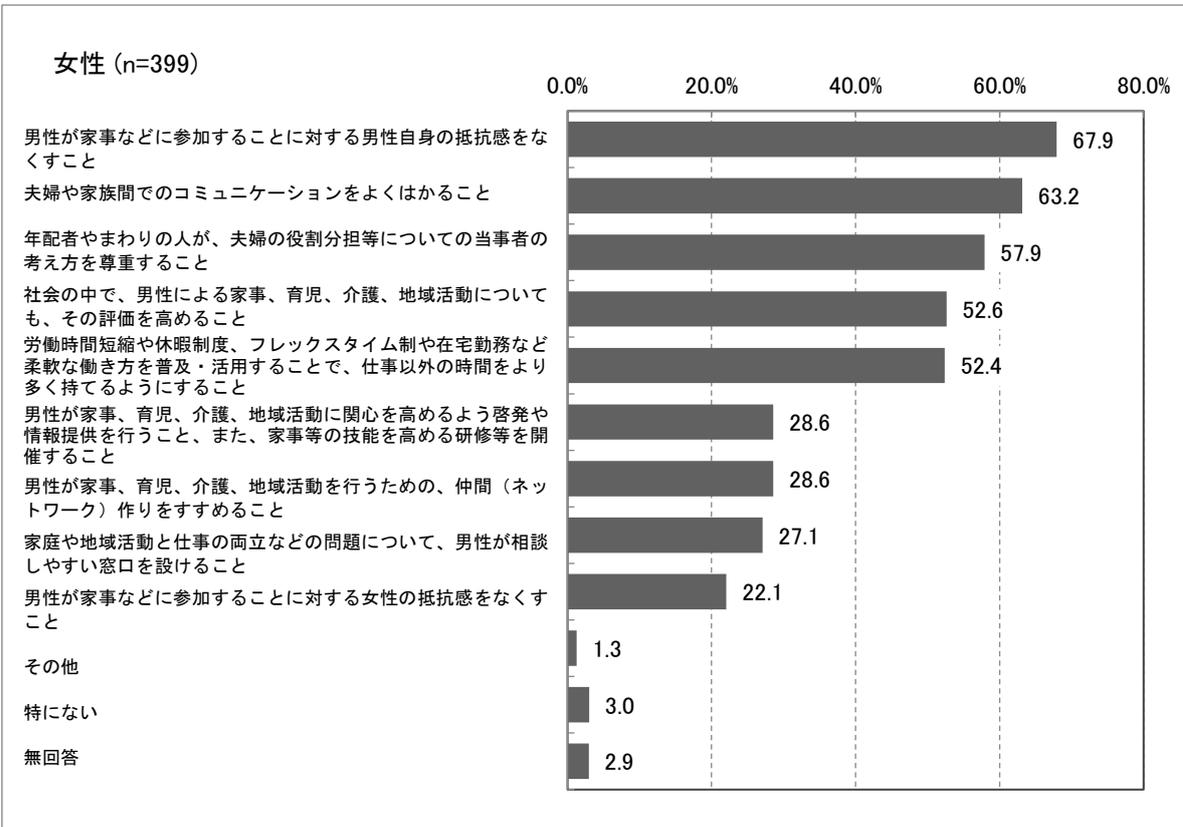
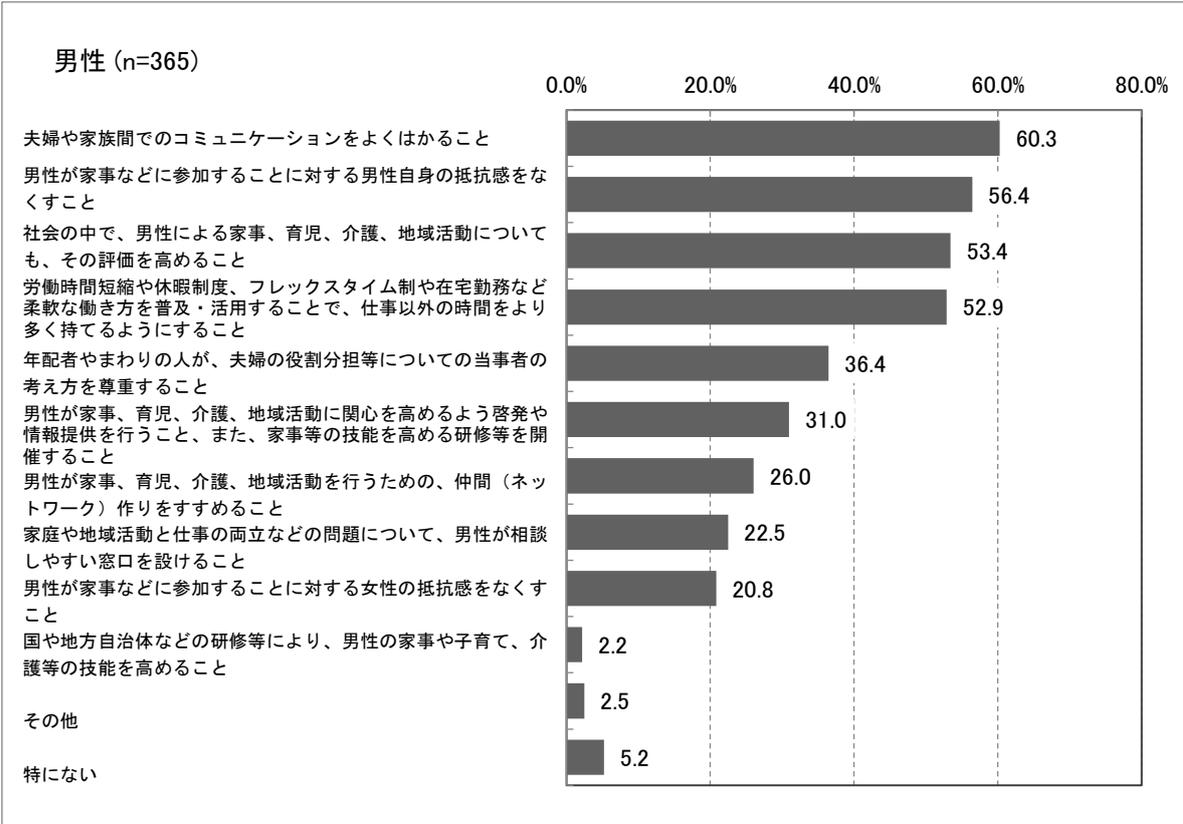
問 16 今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



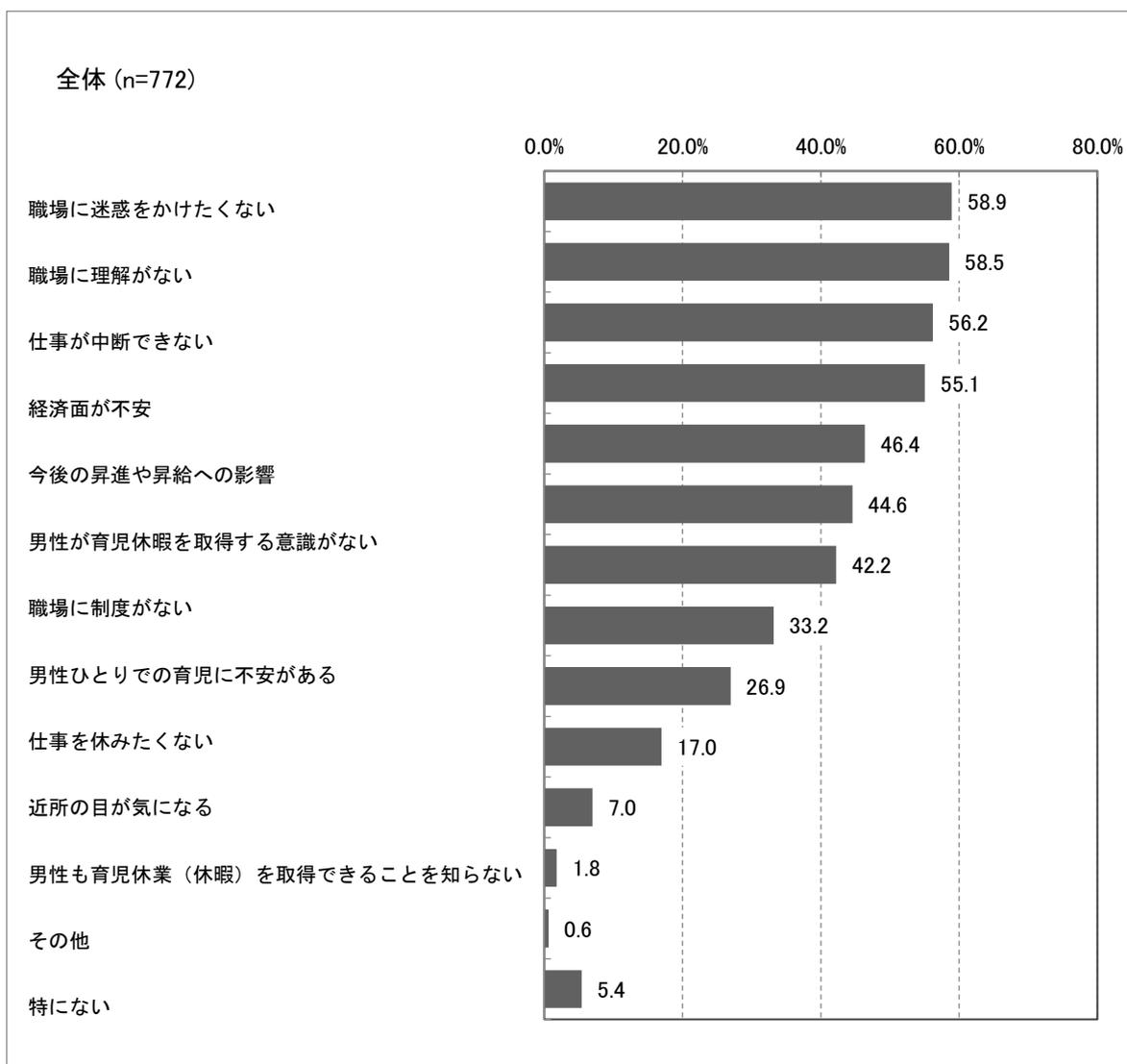
・全体では「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(16.0%)、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(15.8%)、「社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても、その評価を高めること」(13.6%)の順が多い。

・男性では「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(16.3%)、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(15.3%)、「社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても、その評価を高めること」(14.5%)の順が多い。

・女性では「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(16.7%)、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(15.5%)、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」(14.2%)



問 17 男性が育児休業(休暇)を取得しづらい(しない)理由として考えられるもの全てに○をつけてください。

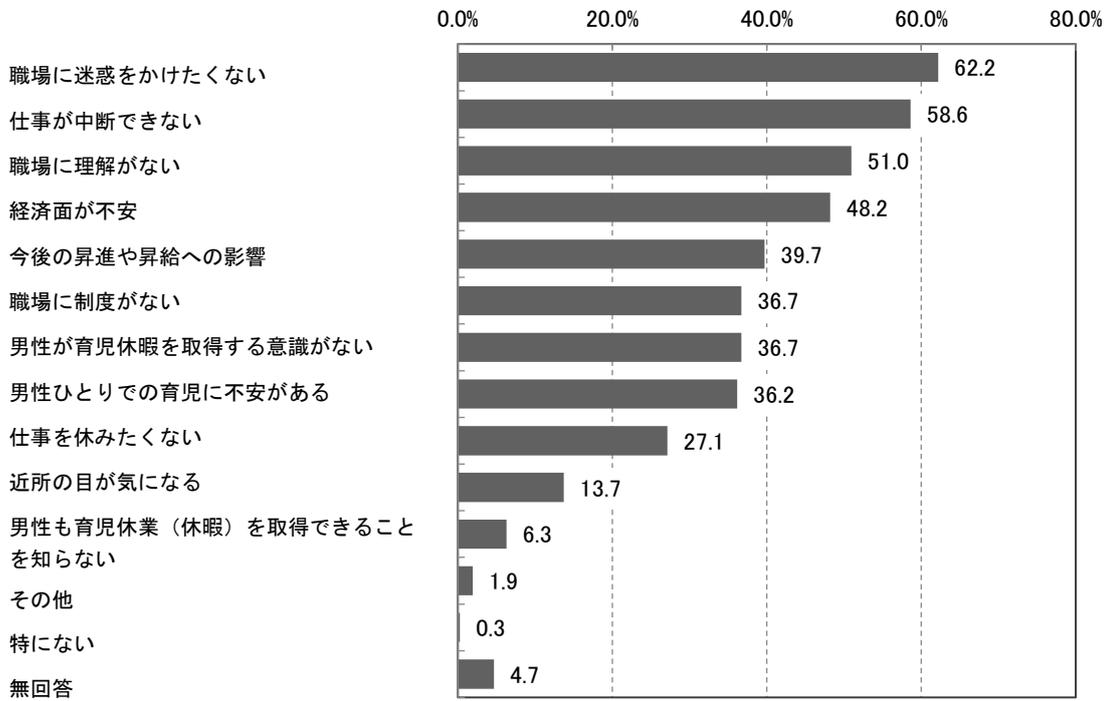


・全体では「職場に迷惑をかけたくない」(13.0%)、「職場に理解がない」(12.9%)、「仕事が中断できない」(12.4%)の順が多い。

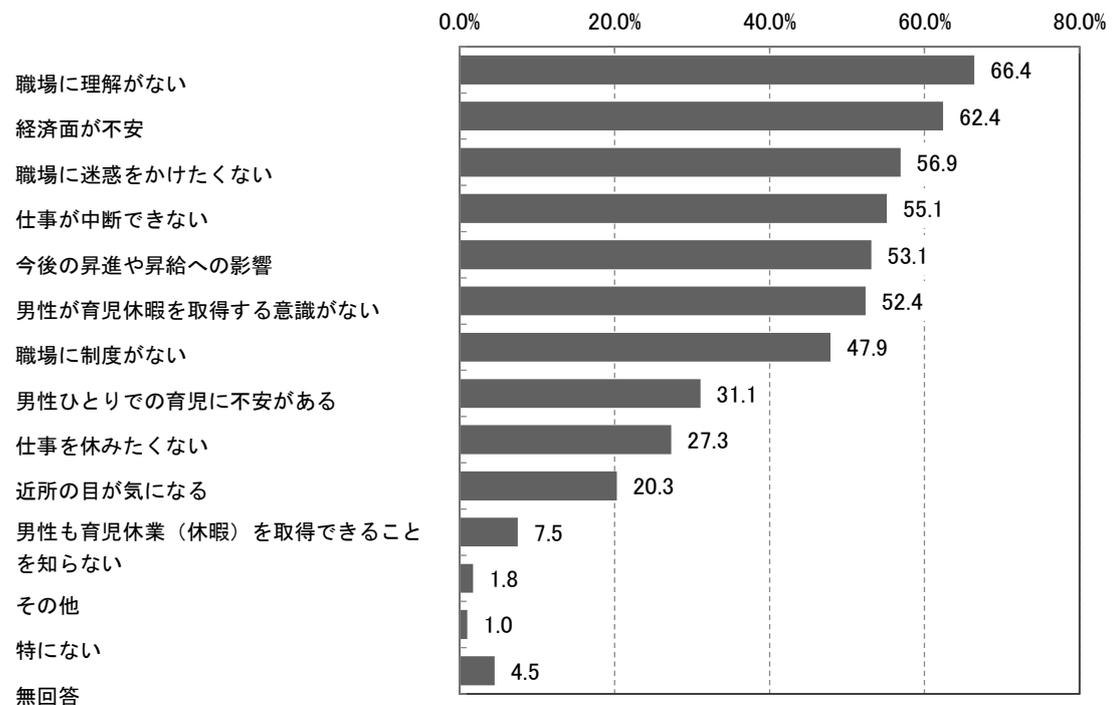
・男性では「職場に迷惑をかけたくない」(14.7%)、「仕事が中断できない」(13.9%)、「職場に理解がない」(12.0%)の順が多い。

・女性では「職場に理解がない」(13.6%)、「経済面が不安」(12.8%)、「職場に迷惑をかけたくない」(11.7%)

男性 (n=365)

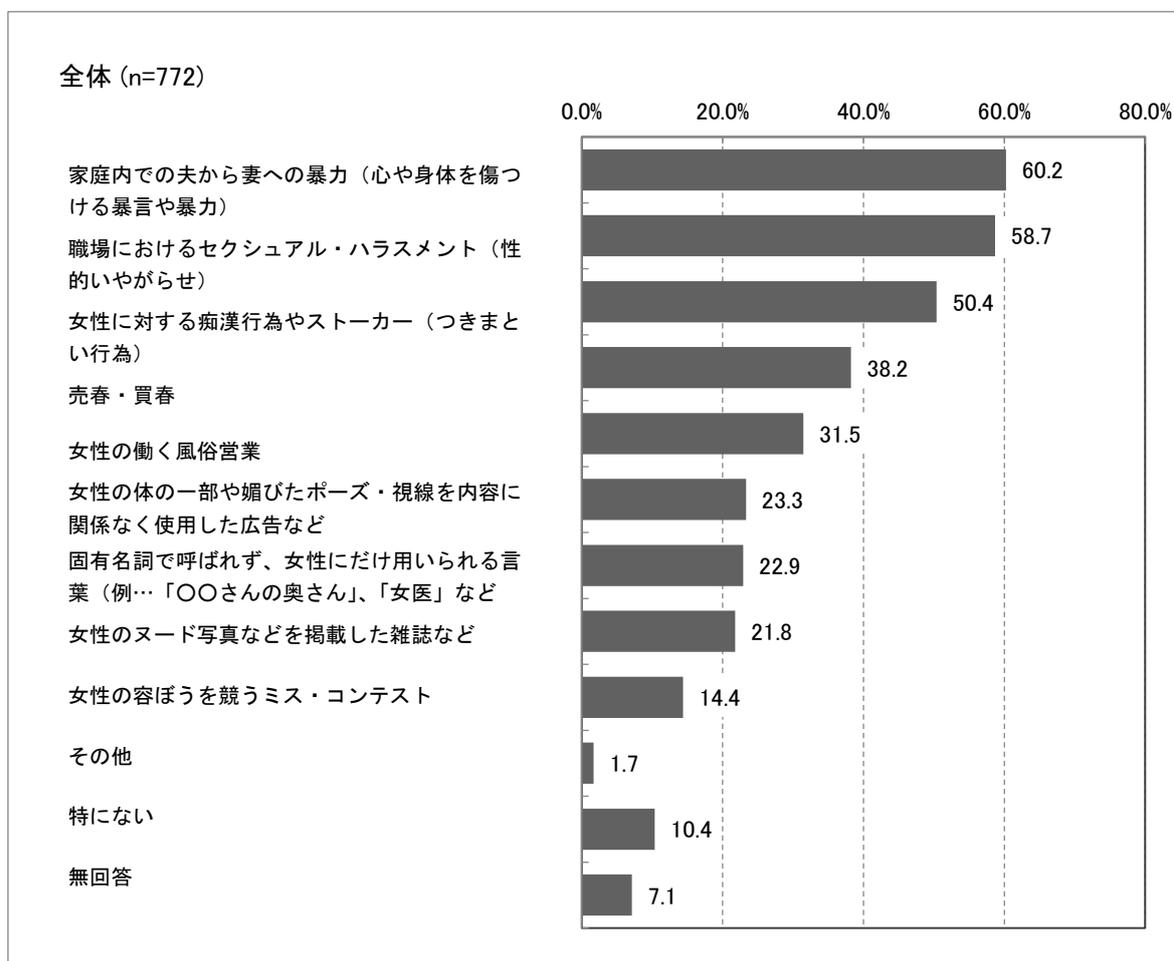


女性 (n=399)



4 男女の人権、DVについて

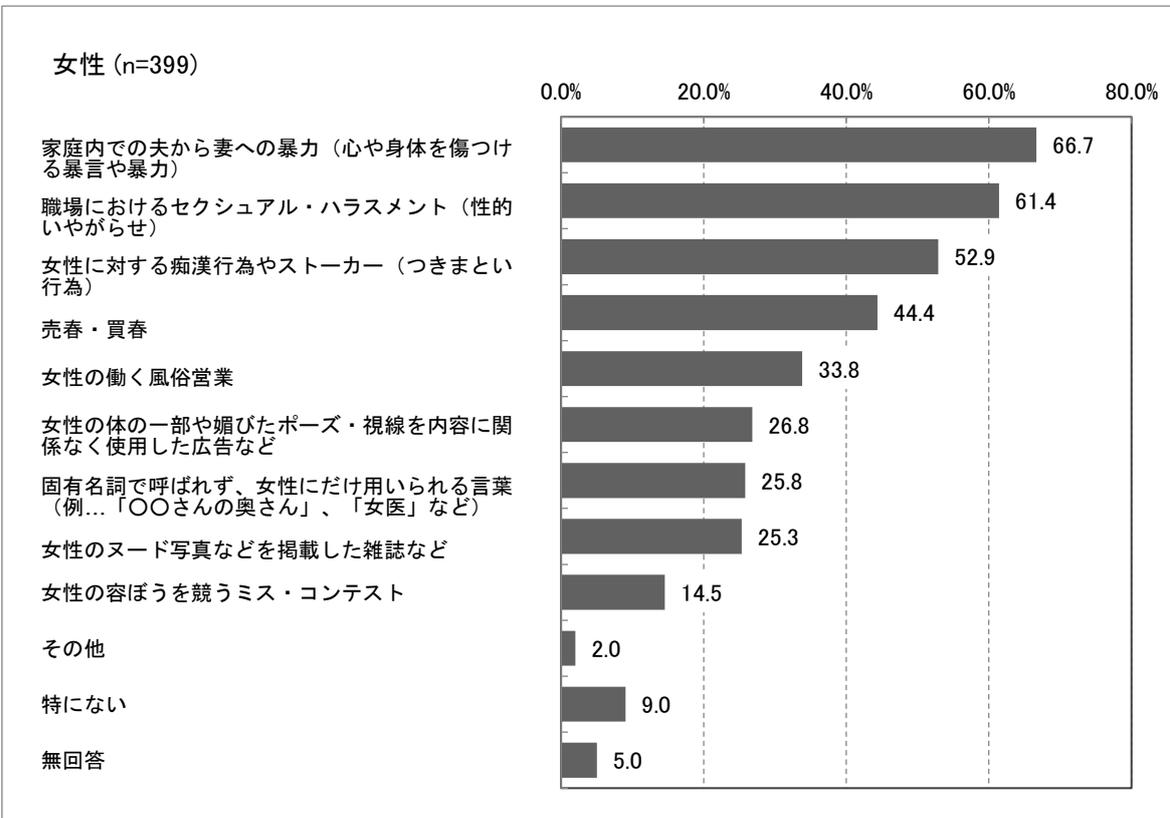
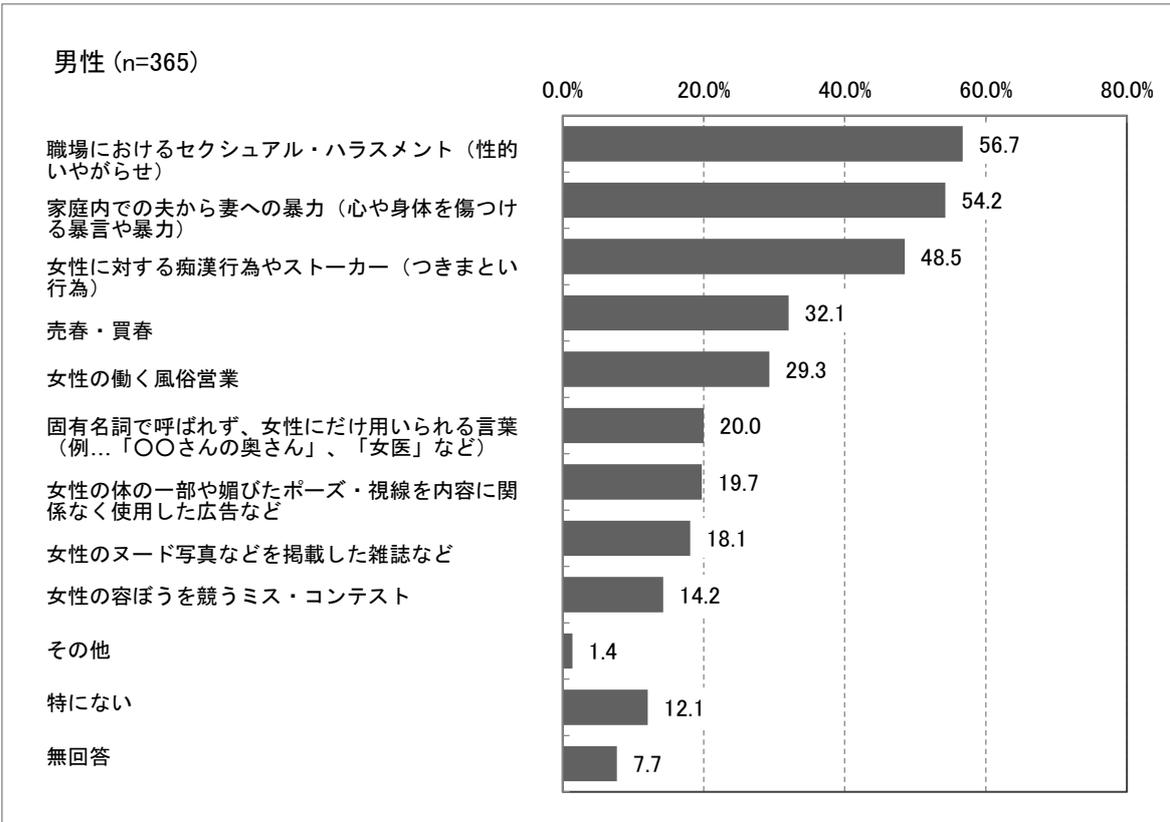
問 18 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてでしょうか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



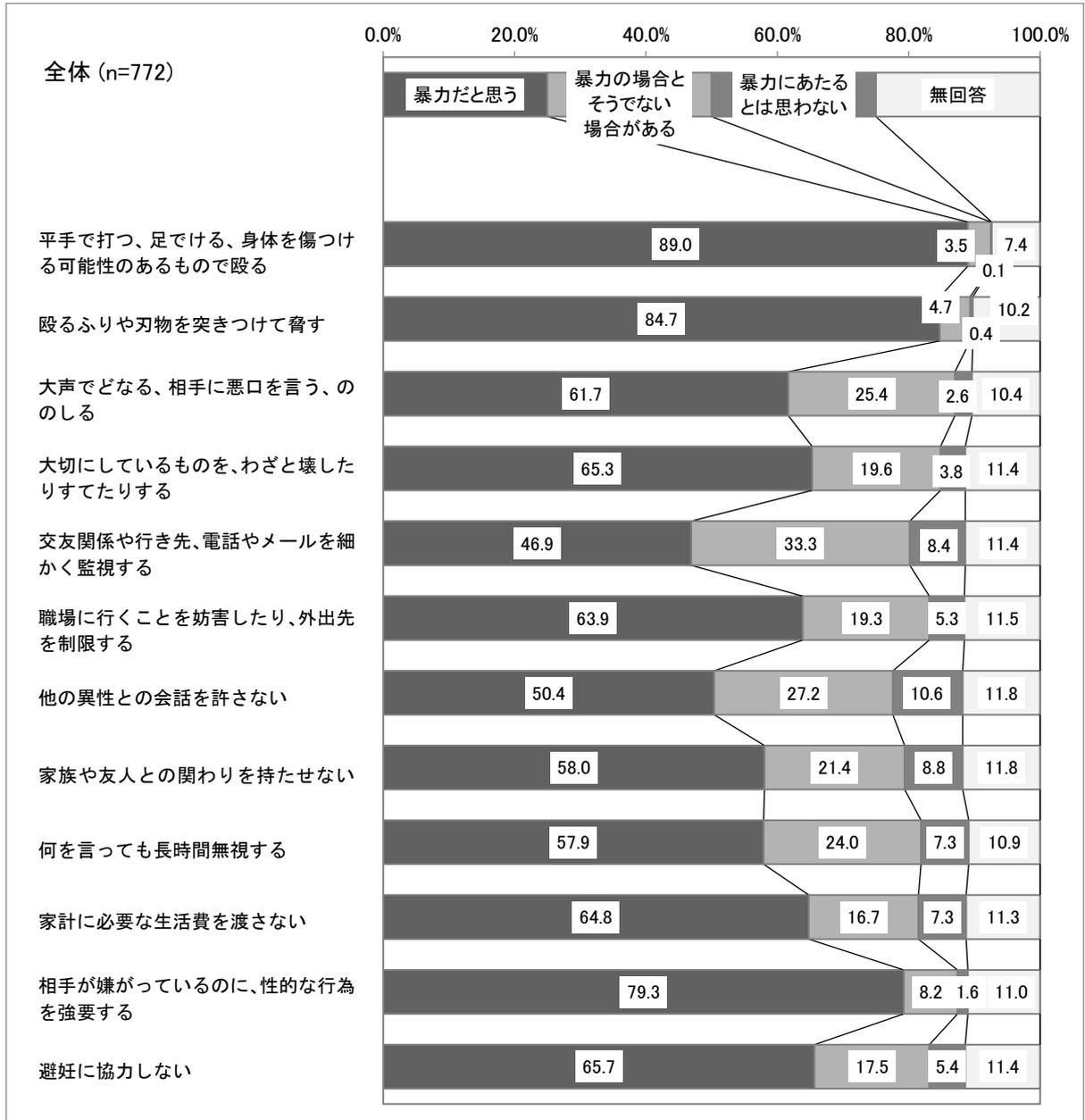
・全体では「家庭内での夫から妻への暴力(心や身体を傷つける暴言や暴力)」(17.7%)、「職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」(17.2%)、「女性に対する痴漢行為やストーカー(つきまとい行為)」(14.8%)の順が多い。

・男性では「職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」(18.1%)、「家庭内での夫から妻への暴力(心や身体を傷つける暴言や暴力)」(17.3%)、「女性に対する痴漢行為やストーカー(つきまとい行為)」(15.4%)の順が多い。

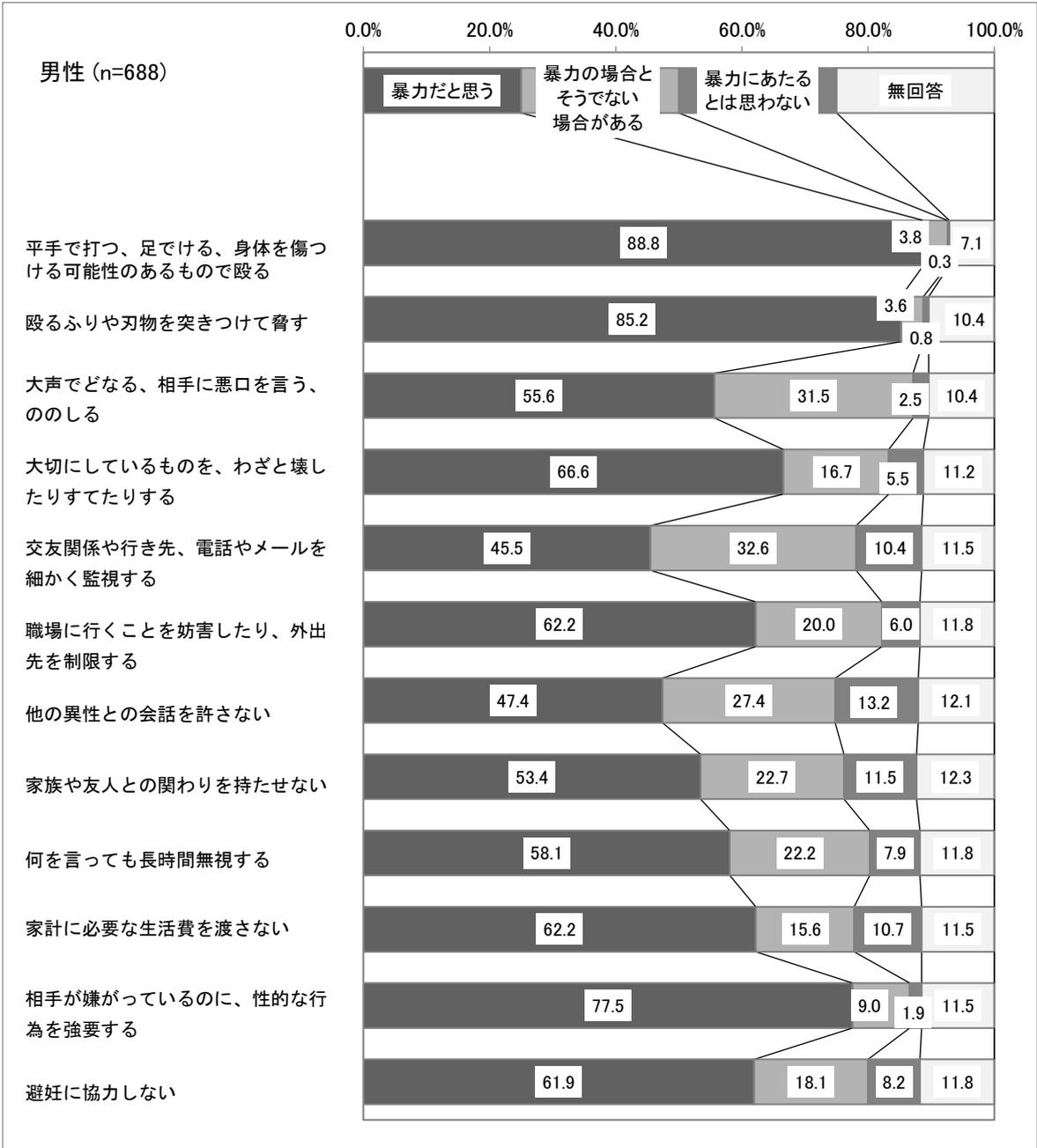
・女性では「家庭内での夫から妻への暴力(心や身体を傷つける暴言や暴力)」(18.1%)、「職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)」(16.7%)、「女性に対する痴漢行為やストーカー(つきまとい行為)」(14.4%)

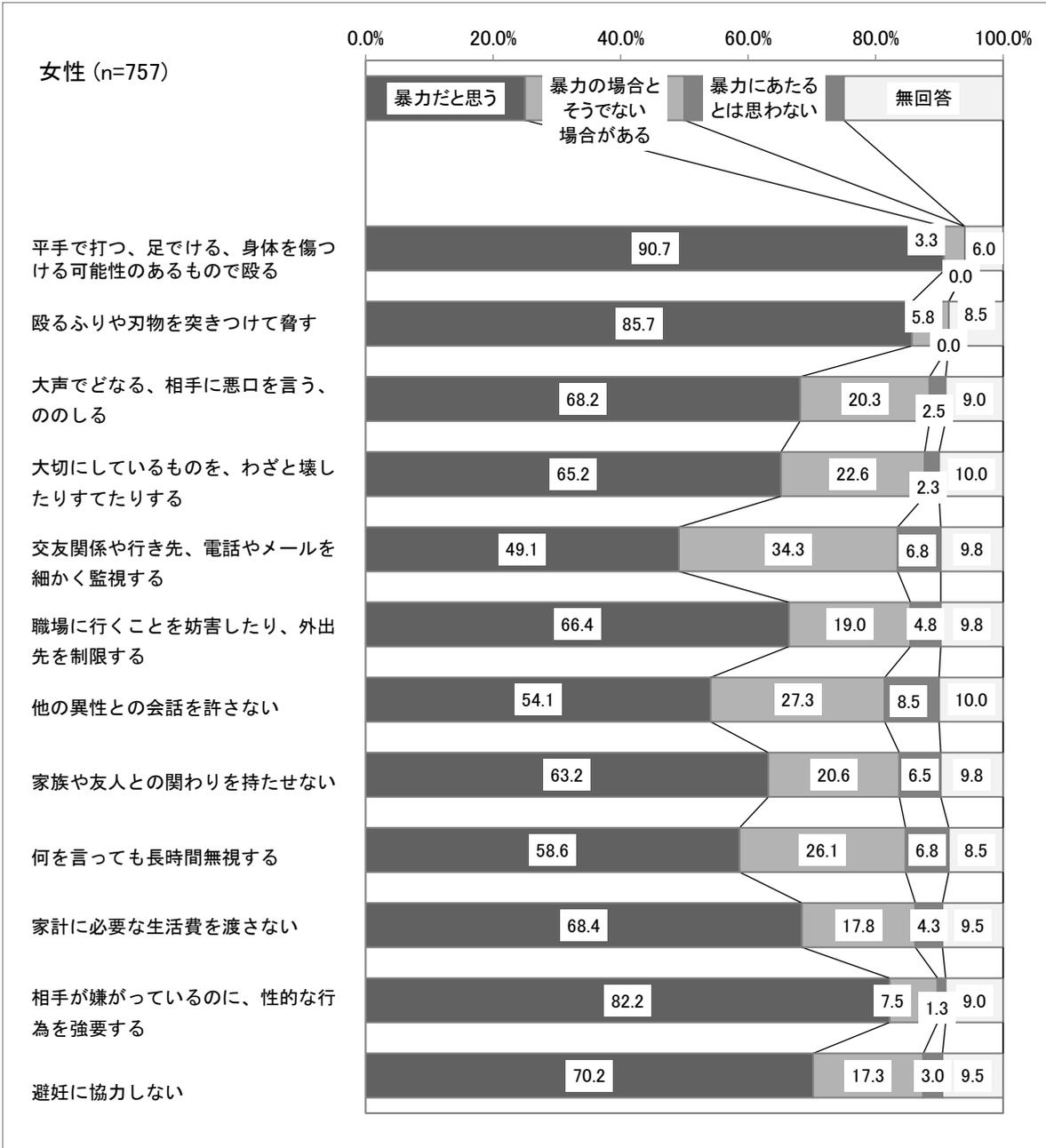


問 19 次のようなことが夫婦間又は交際相手間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。あなたの考えに一番近いものを1～12のそれぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。

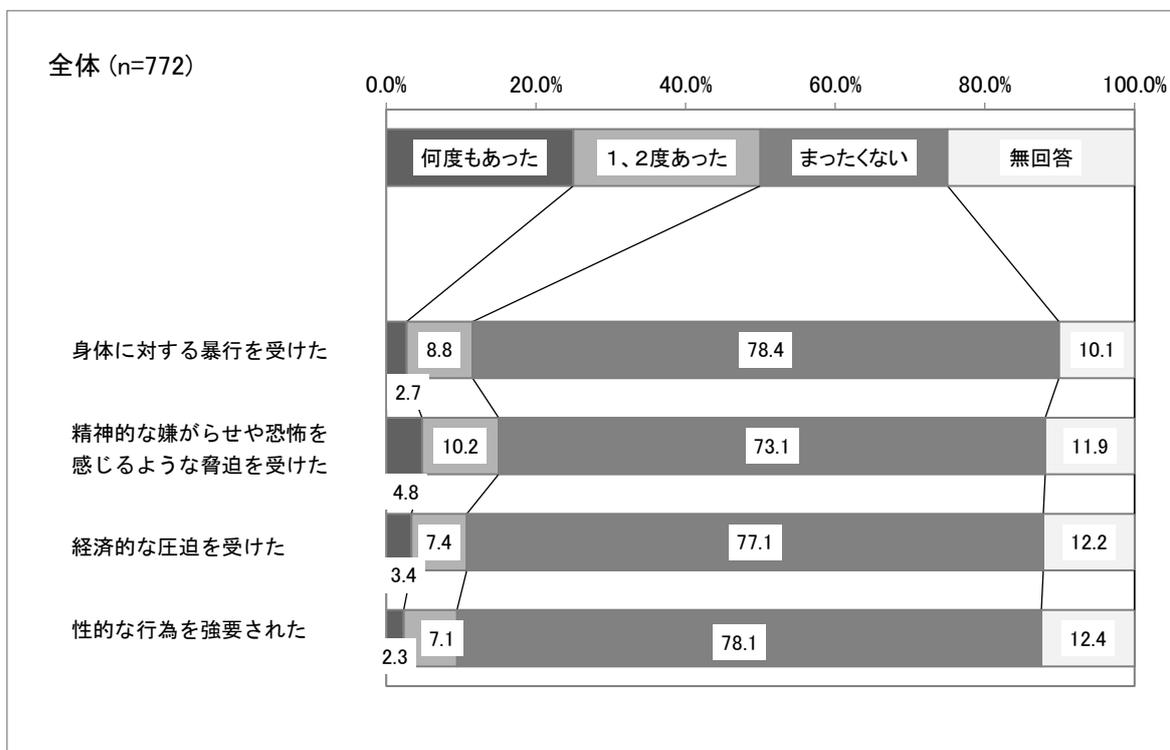


- ・全体では「平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のあるもので殴る」(687)、「殴るふりや刃物を突きつけて脅す」(654)、「相手が嫌がっているのに、性的な行為を強要する」(612)の順が多い。
- ・男性では「平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のあるもので殴る」(324)、「殴るふりや刃物を突きつけて脅す」(311)、「相手が嫌がっているのに、性的な行為を強要する」(283)の順が多い。
- ・女性では「平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のあるもので殴る」(362)、「殴るふりや刃物を突きつけて脅す」(342)、「相手が嫌がっているのに、性的な行為を強要する」(328)





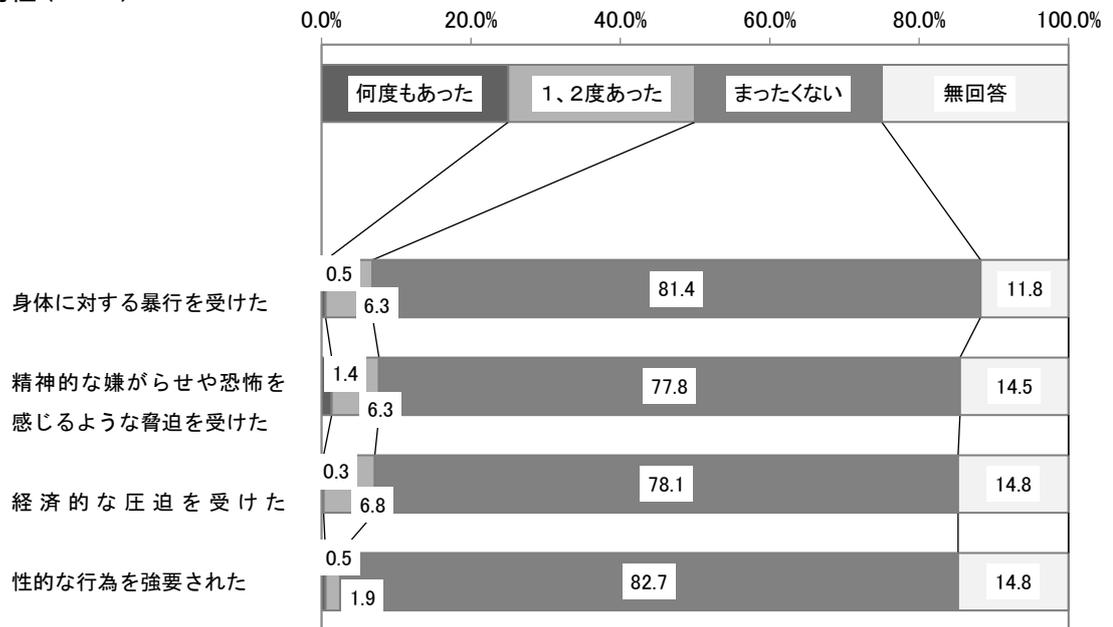
問 20 あなたは、元配偶者を含む夫婦間又は交際相手間で次のような暴力を受けたことがありますか。1～4のそれぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。



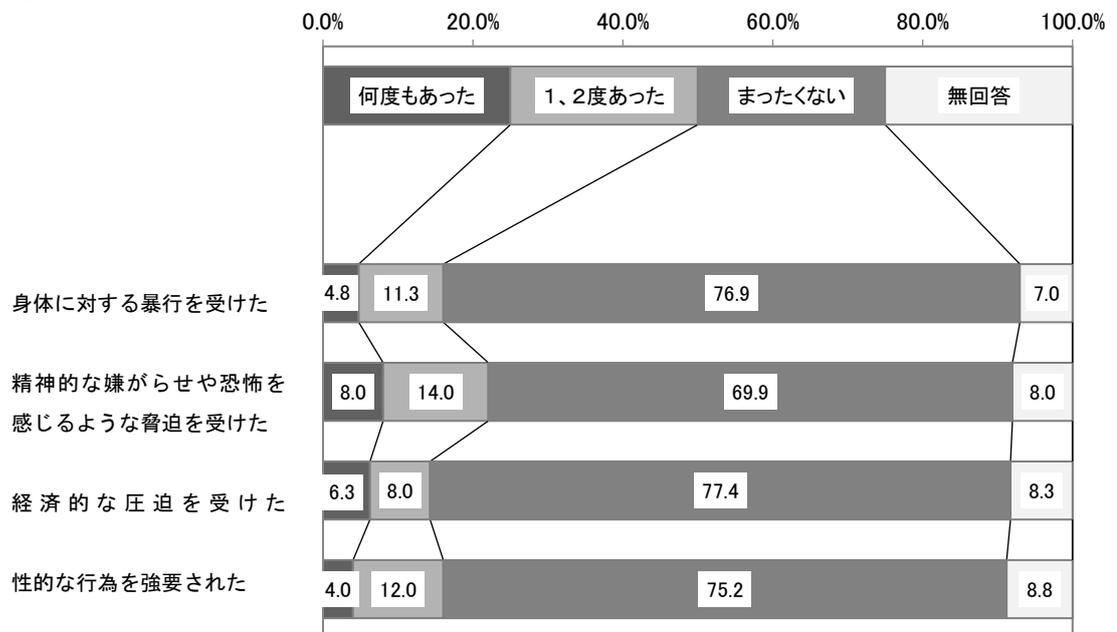
・精神的な暴力についての女性の回答を除き、4項目とも「まったくくない」の回答が3/4以上となっている。

・一方「1、2度あった」、「何度もあった」とする回答は、いずれの項目においても女性が男性の2倍以上であった。

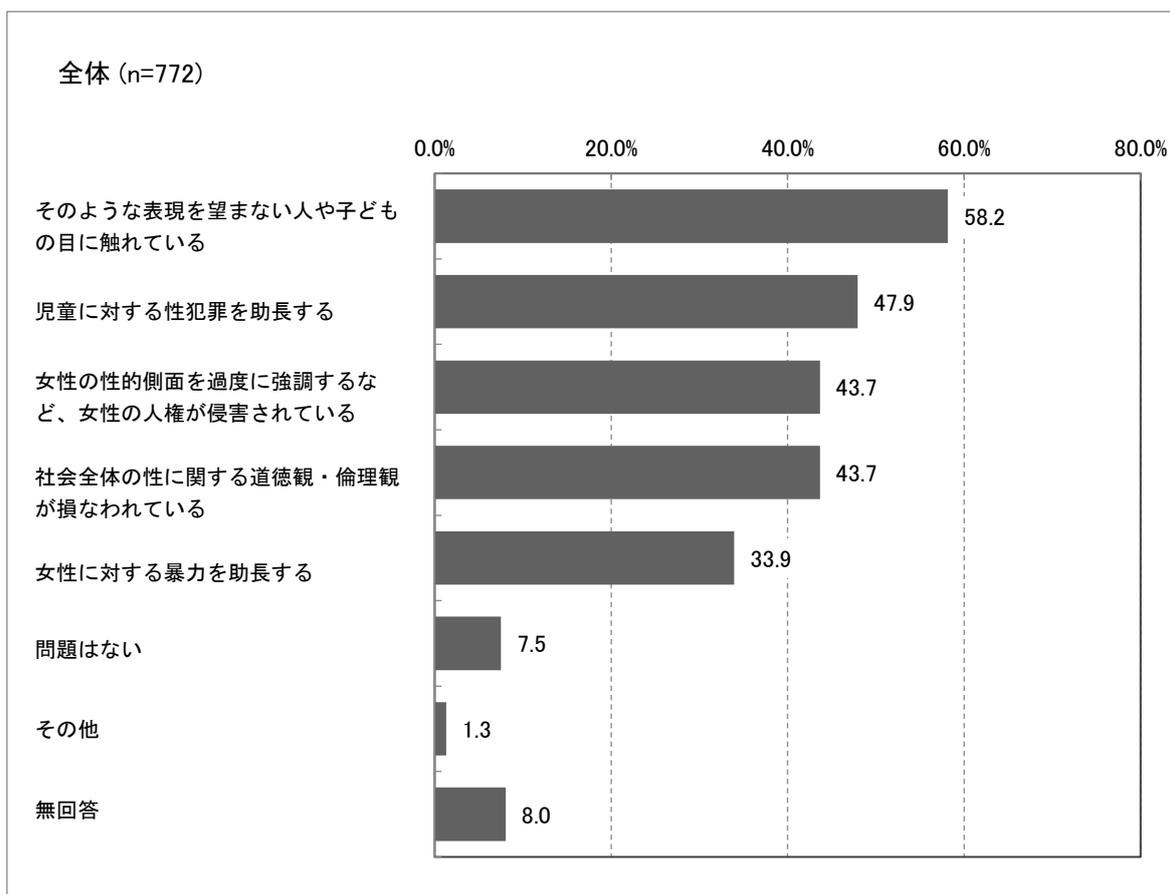
男性 (n=365)



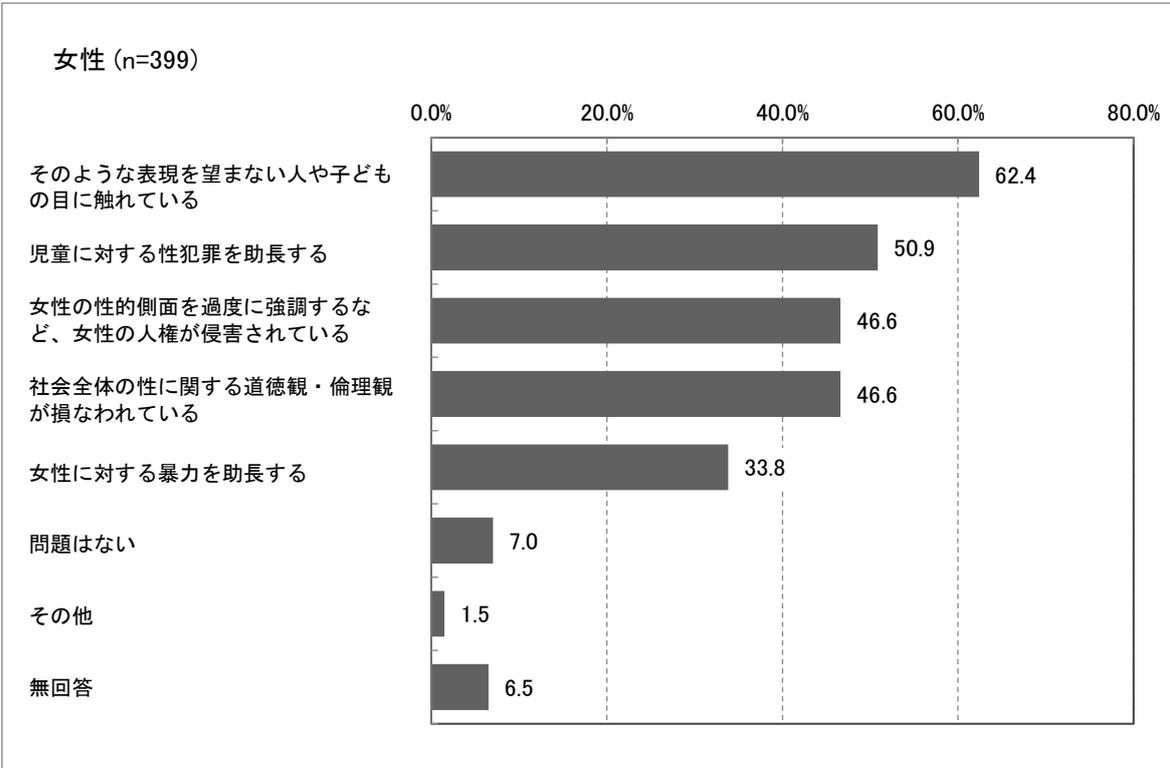
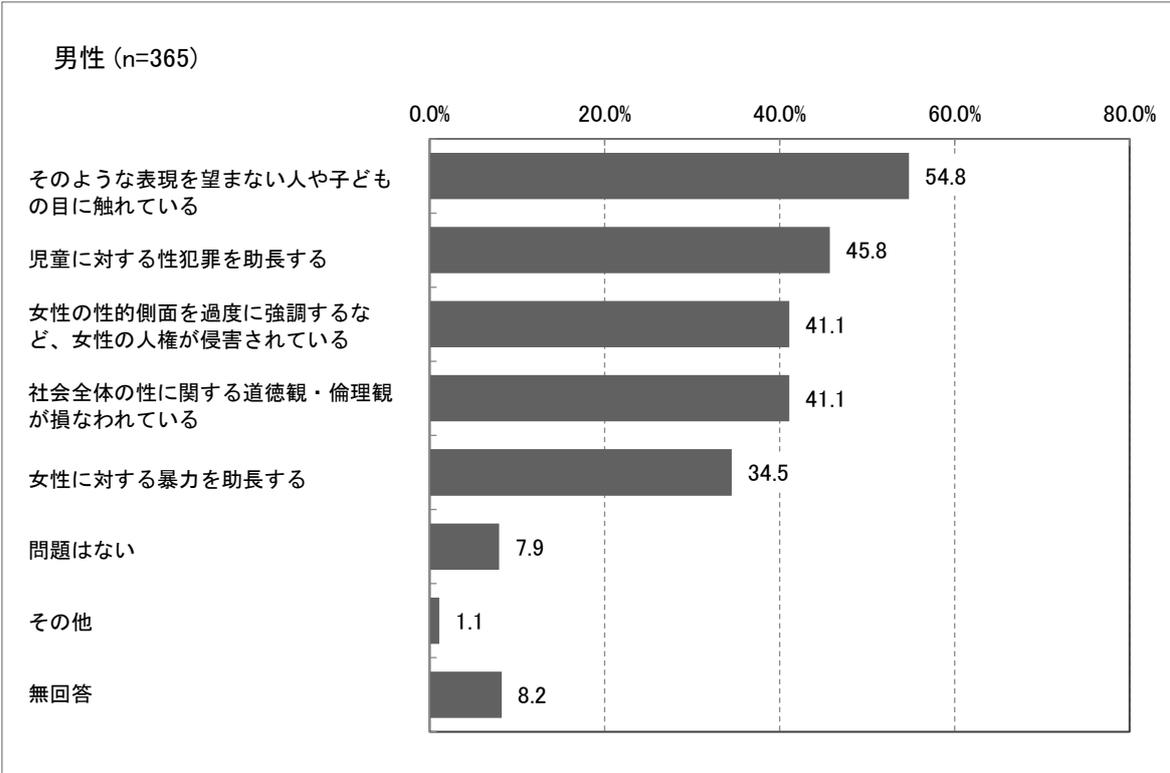
女性 (n=399)



問 21 テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思いますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

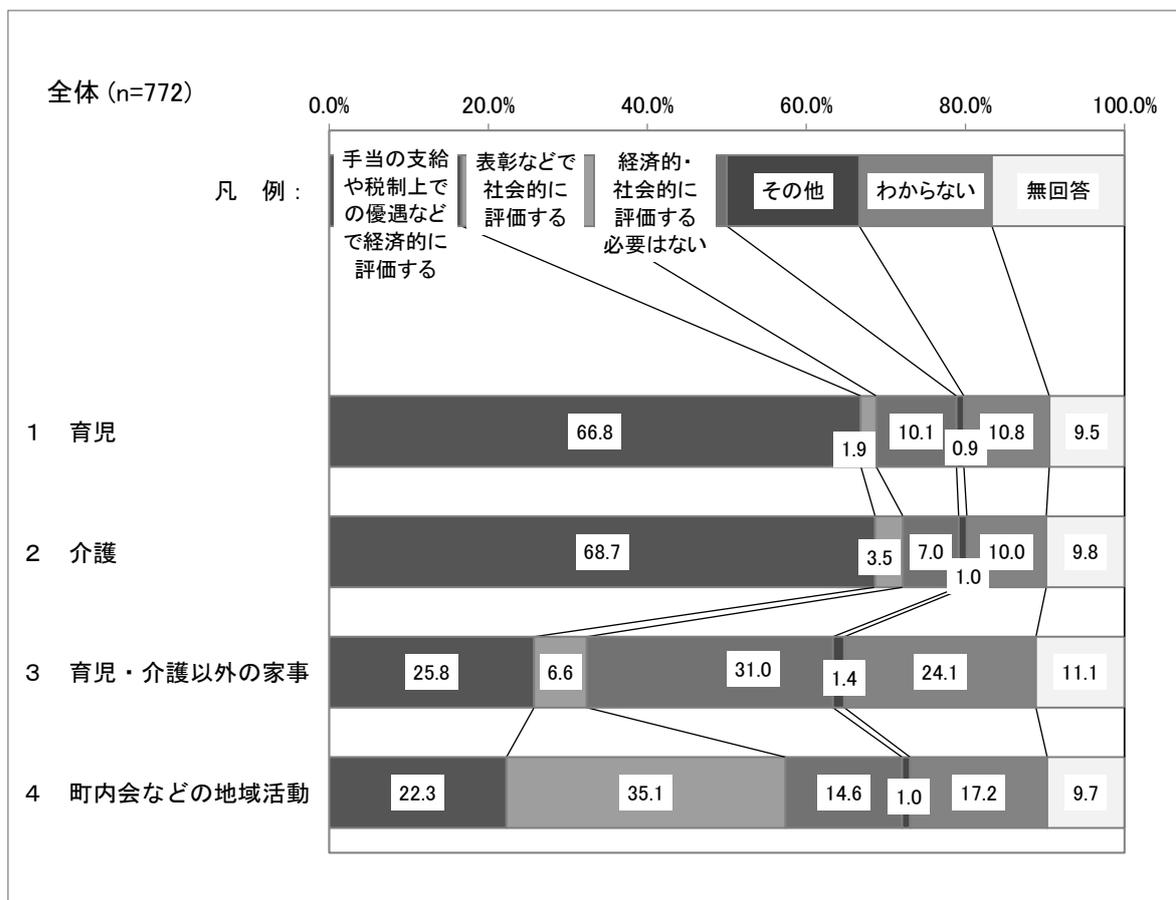


- ・全体では「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れている」(23.8%)、「児童に対する性犯罪を助長する」(19.6%)、「女性の性的側面を過度に強調するなど、女性の人権が侵害されている」(17.9%)、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」(17.9%)の順が多い。
- ・男性では「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れている」(23.4%)、「児童に対する性犯罪を助長する」(19.5%)、「女性の性的側面を過度に強調するなど、女性の人権が侵害されている」(17.5%)、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」(17.5%)の順が多い。
- ・女性では「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れている」(24.4%)、「児童に対する性犯罪を助長する」(19.9%)、「女性の性的側面を過度に強調するなど、女性の人権が侵害されている」(18.3%)、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」(18.3%)の順が多い。

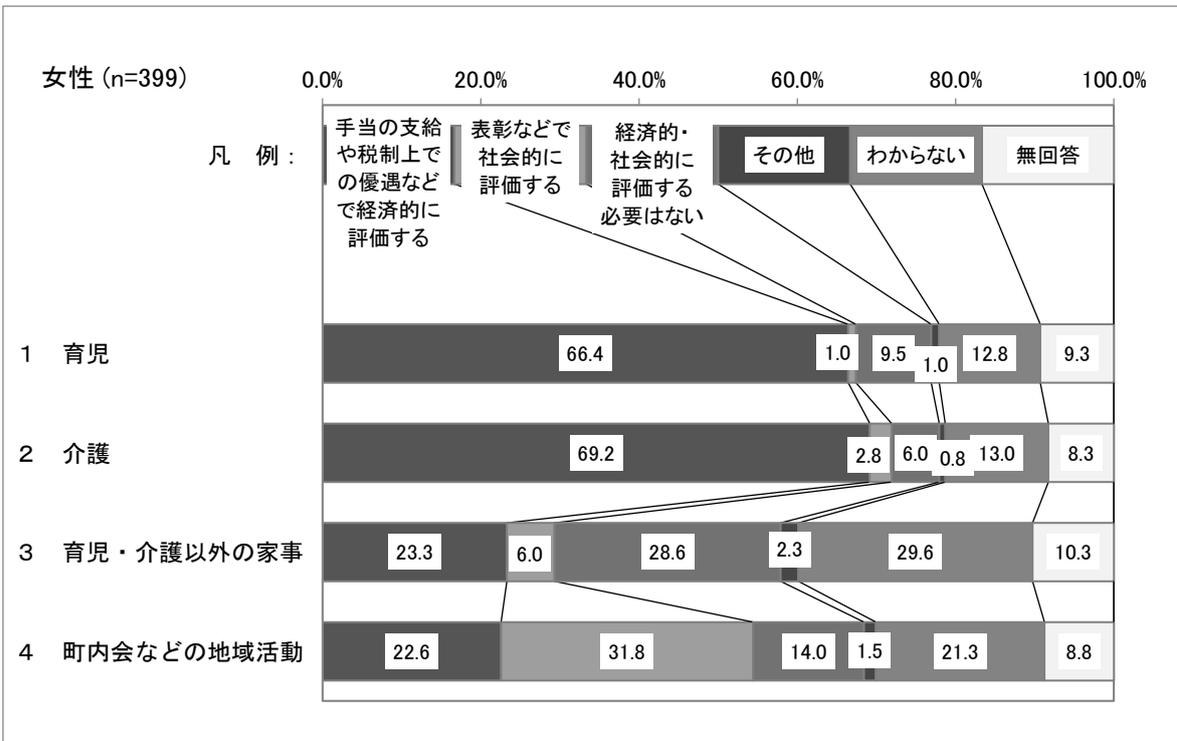
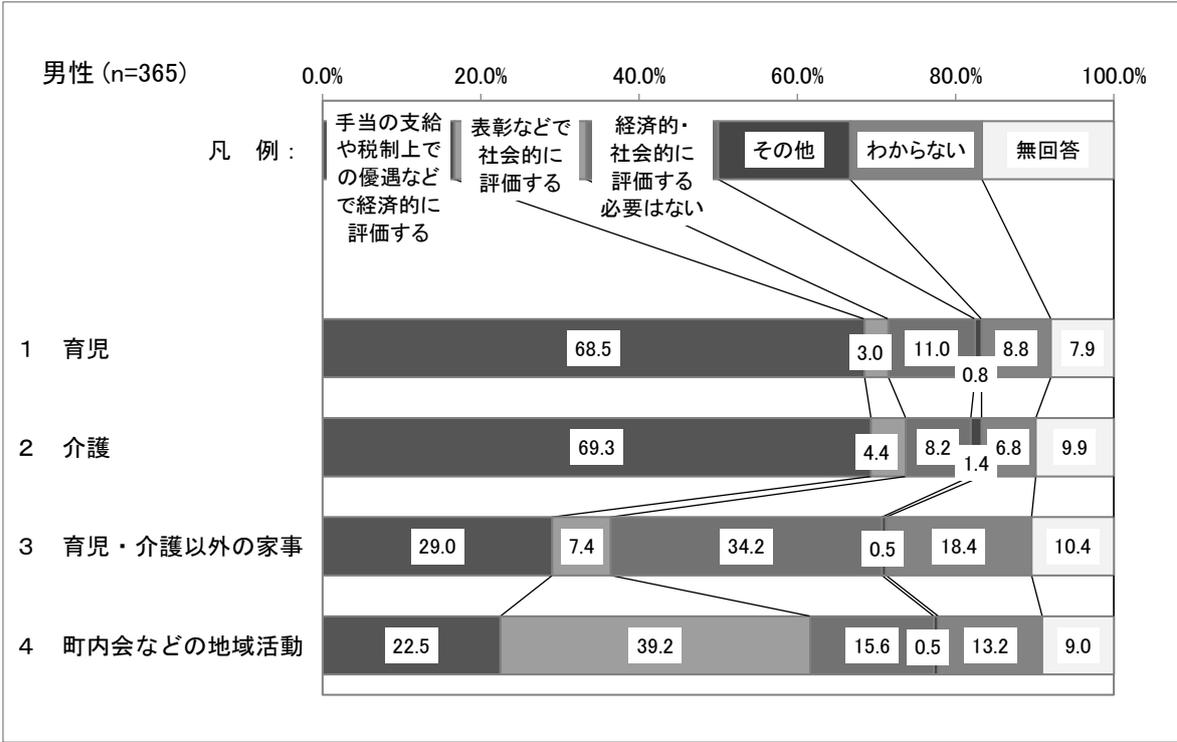


5 男女共同参画社会に関すること全般

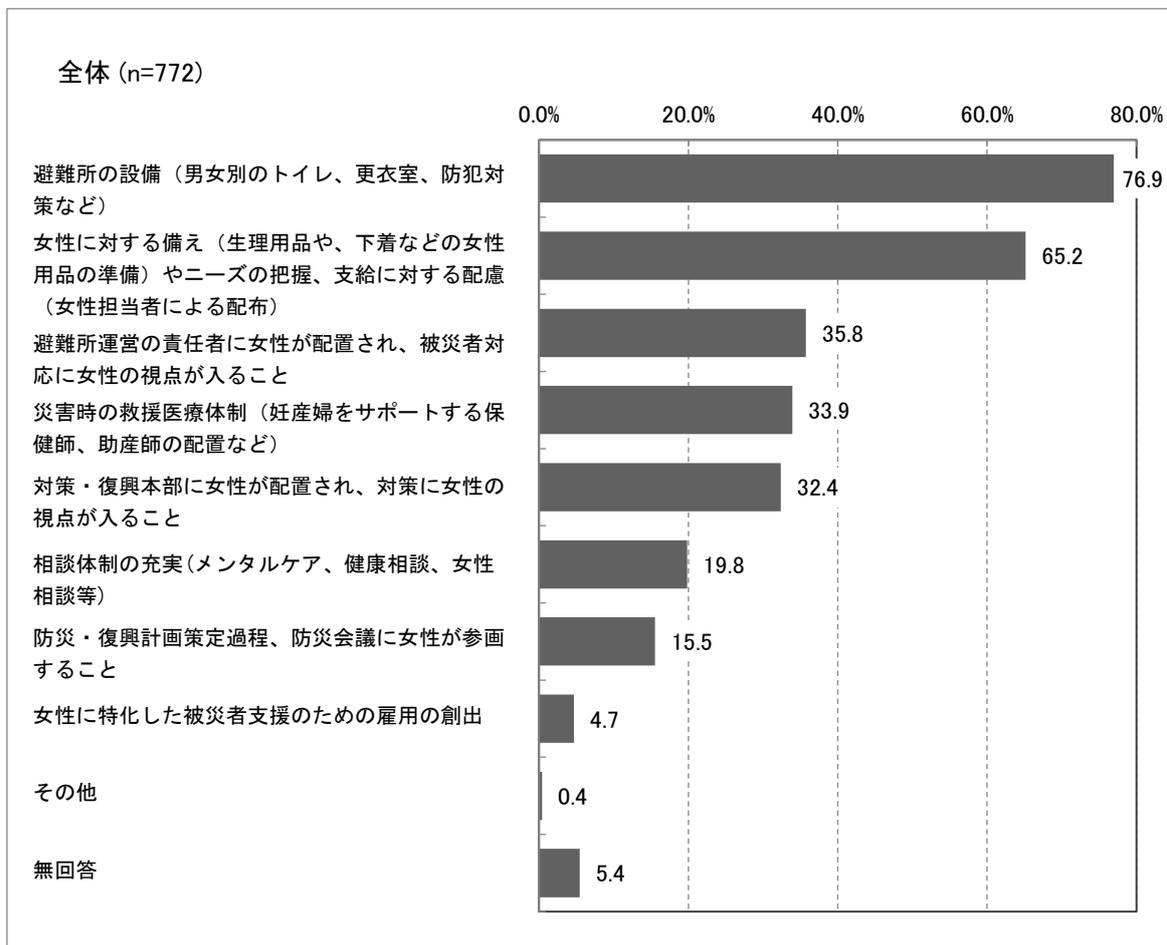
問 22 「育児・介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、社会全体で評価していこう」という考えがありますが、具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。1～4までのそれぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。



- ・「育児」「介護」は 6 割以上が「手当の支給や税制上での優遇などで経済的に評価する」と回答(男性・女性ともに)
- ・「保育・介護以外の家事」は「経済的・社会的に評価する必要はない」とする回答が多かった(男性・女性ともに)
- ・「町内会などの地域活動」では「表彰などで社会的に評価する」とする回答が多かった(男性・女性ともに)

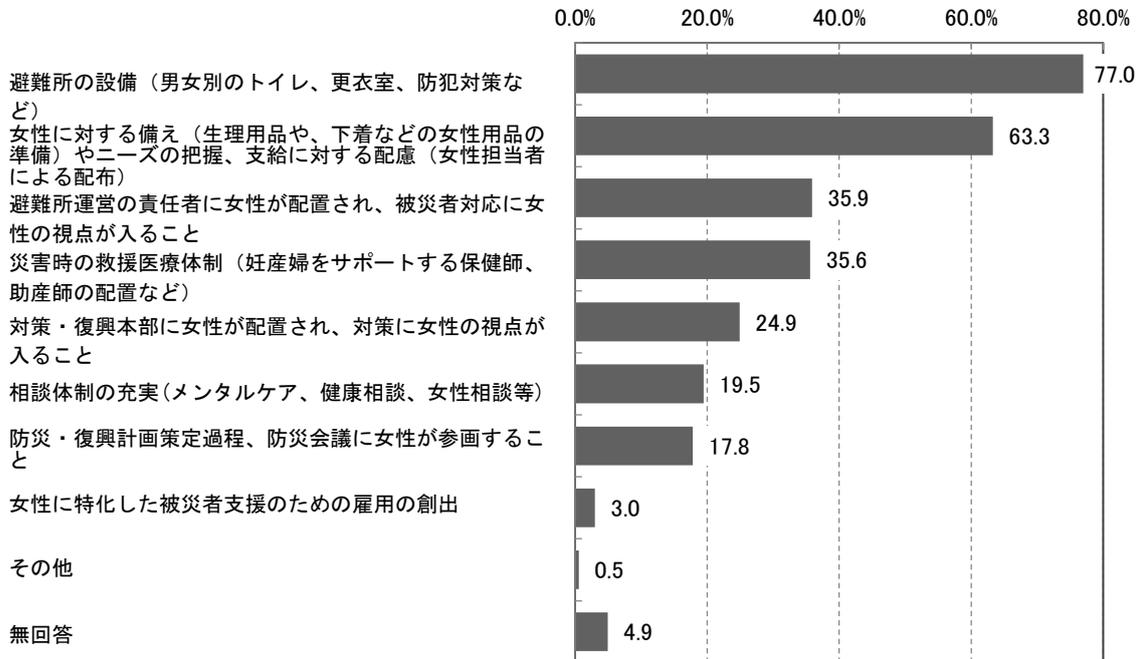


問 23 防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組む必要があると思う事は何ですか。主なもの3つを選んで○をつけてください。

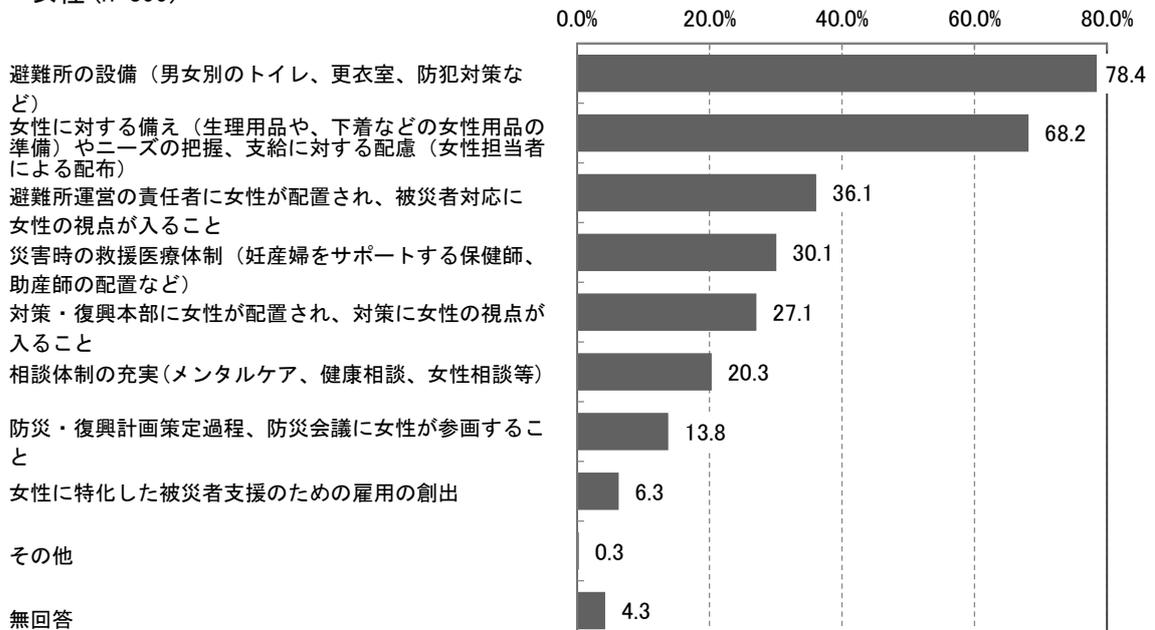


- ・全体では「避難所の設備 (男女別のトイレ、更衣室、防犯対策など)」(27.3%)、「女性に対する備え (生理用品や、下着などの女性用品の準備) やニーズの把握、支給に対する配慮 (女性担当者による配布)」(23.1%)、「避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること」(12.7%)の順が多い。(男性・女性ともに)
- ・それ以下の回答についても性別による違いは見られなかった。

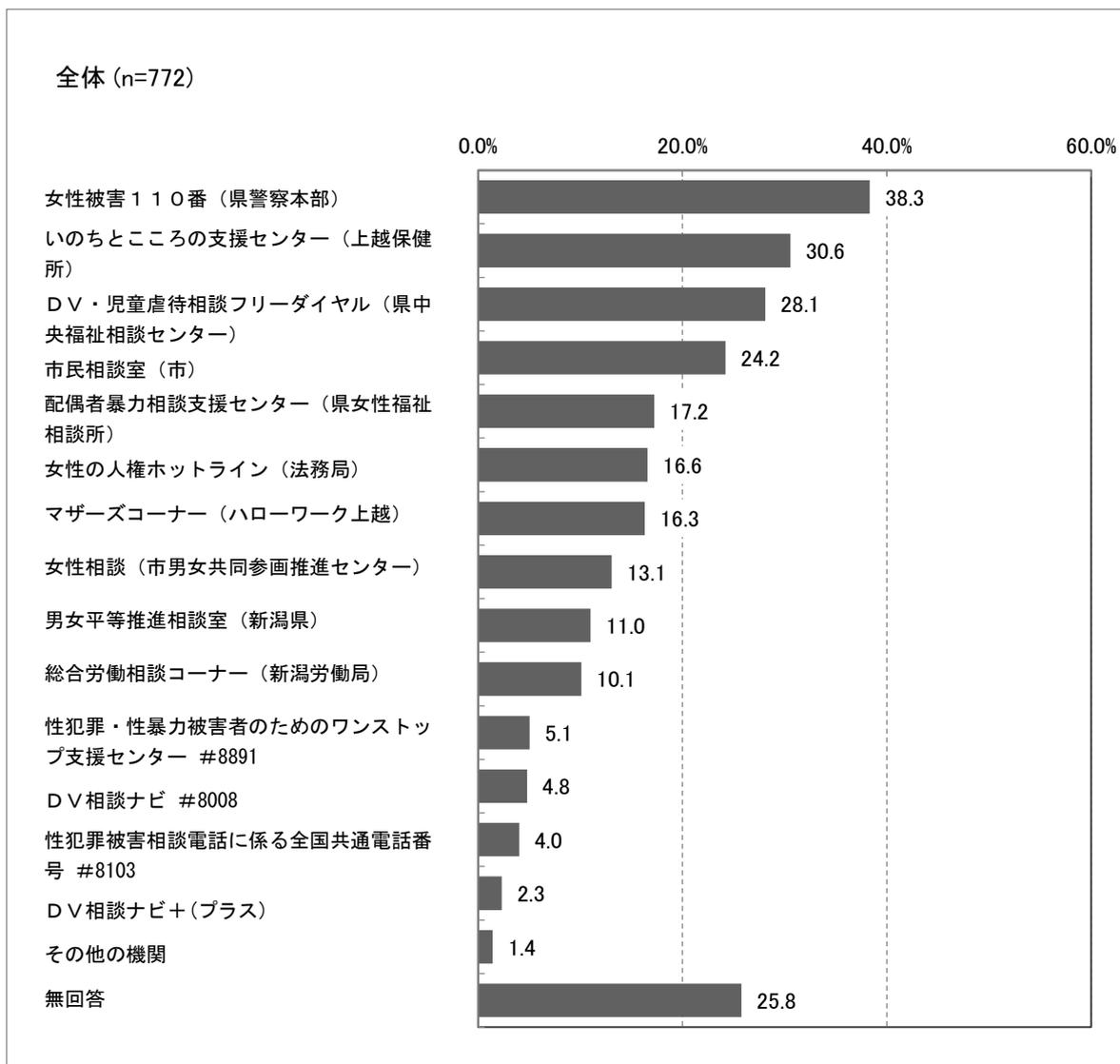
男性 (n=365)



女性 (n=399)

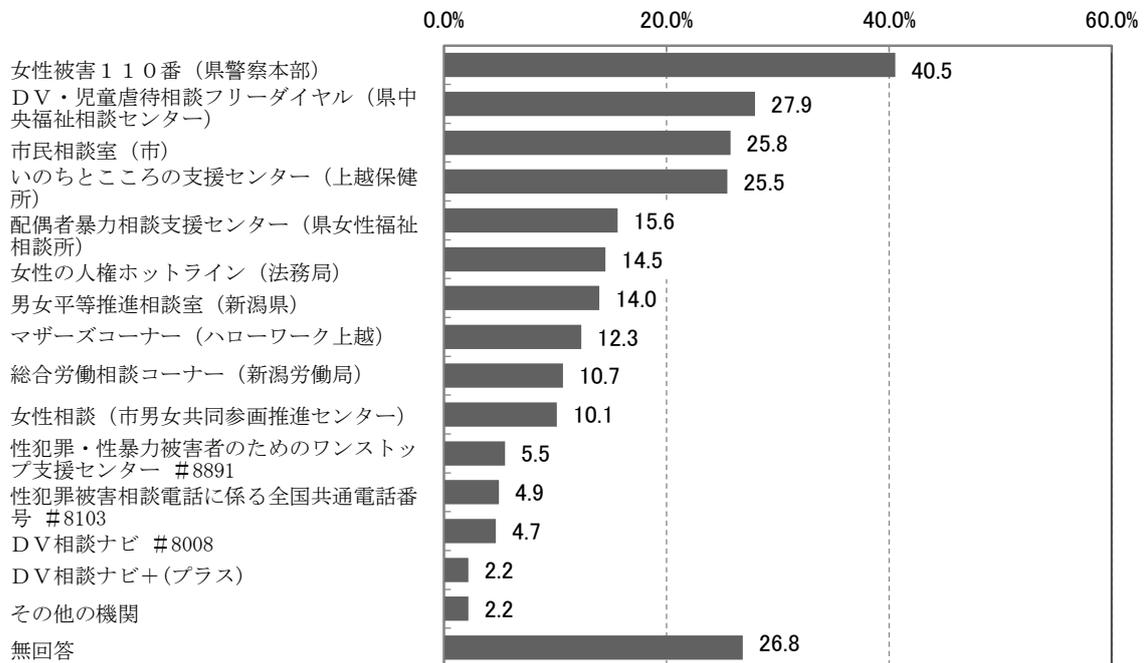


問 24 女性が抱えている悩みを相談するところについて、ご存知の機関や窓口など、全てに○をつけてください。

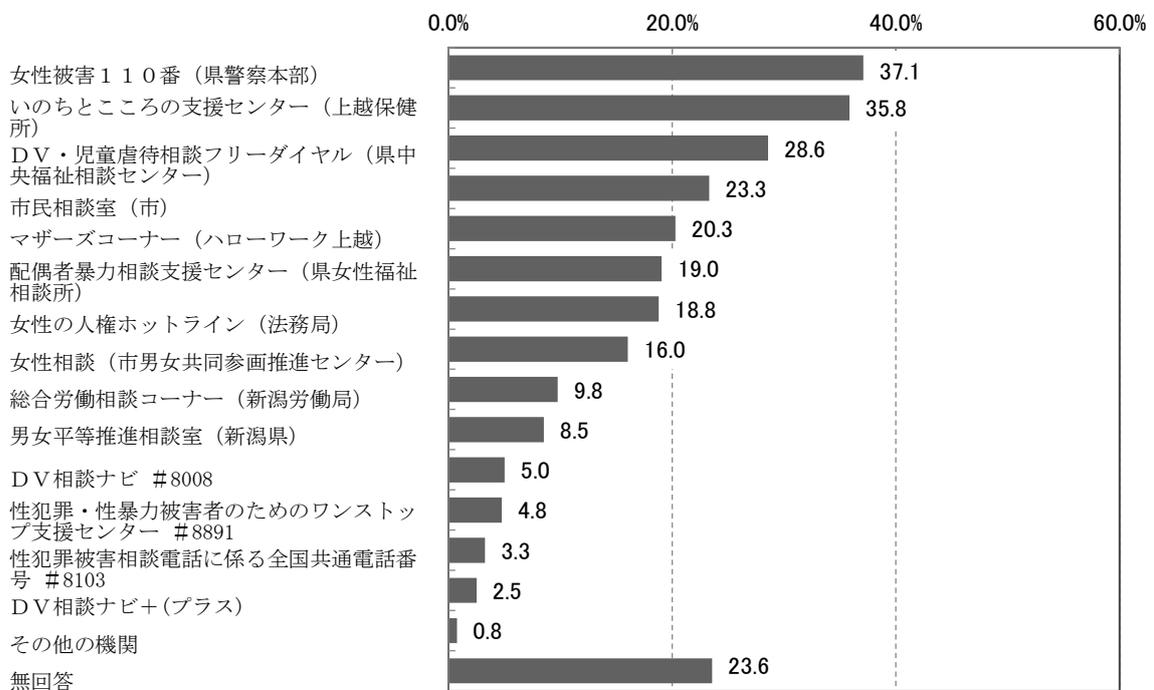


- ・全体では「女性被害 110 番 (県警察本部)」(38.3%) が最も多く、次いで「いのちとこころの支援センター (上越保健所)」(30.6%)、「DV・児童虐待相談フリーダイヤル (県中央福祉相談センター)」(28.1%) の順となり、「女性相談 (市男女共同参画推進センター)」(13.1%) は 8 番目であった。
- ・「女性相談 (市男女共同参画推進センター)」は女性の回答では 8 番目 (16.0%)、男性の回答では 10 番目 (10.1%) であった。

男性 (n=365)



女性 (n=399)



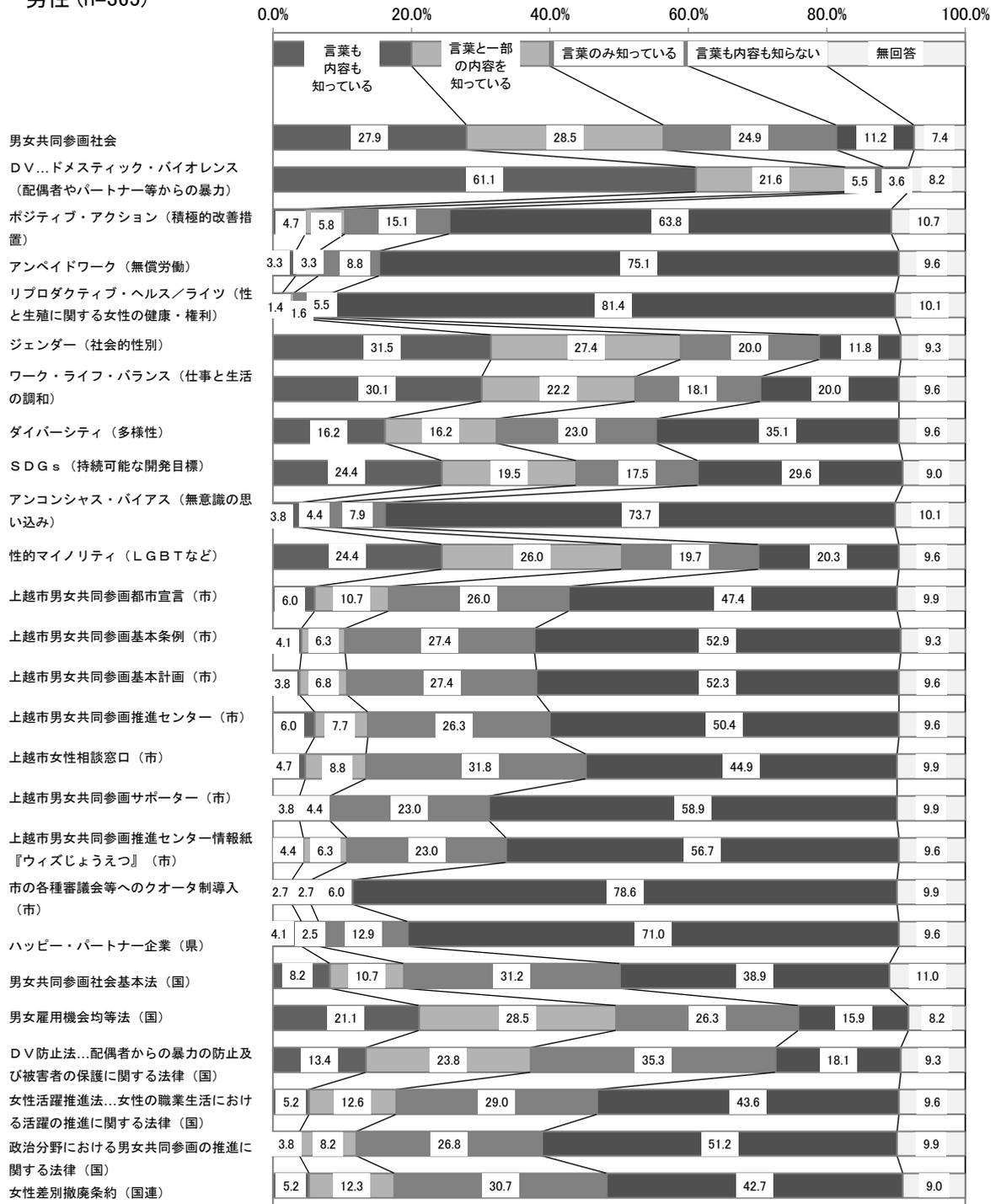
問 25 次に掲げるものの名称や言葉についてご存知ですか。1～26のそれぞれについて、1つだけ選んで○をつけてください。

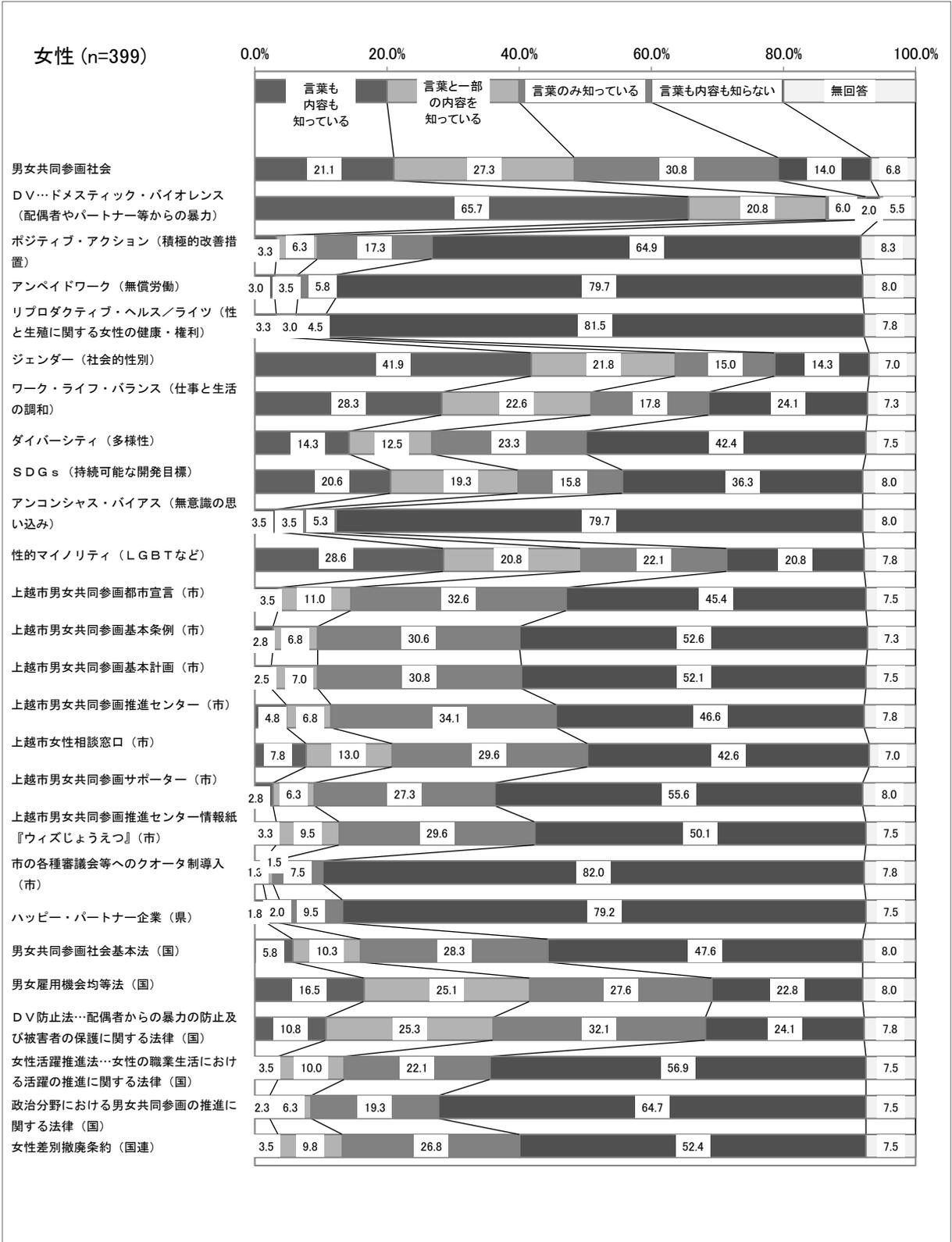


・「言葉も内容も知っている」「言葉と一部の内容を知っている」を足した回答が多かったのは、「DV…ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナー等からの暴力)」(83.9%)「ジェンダー(社会的性別)」(60.9%)「男女共同参画社会」(51.7%)「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」(51.2%)であった。

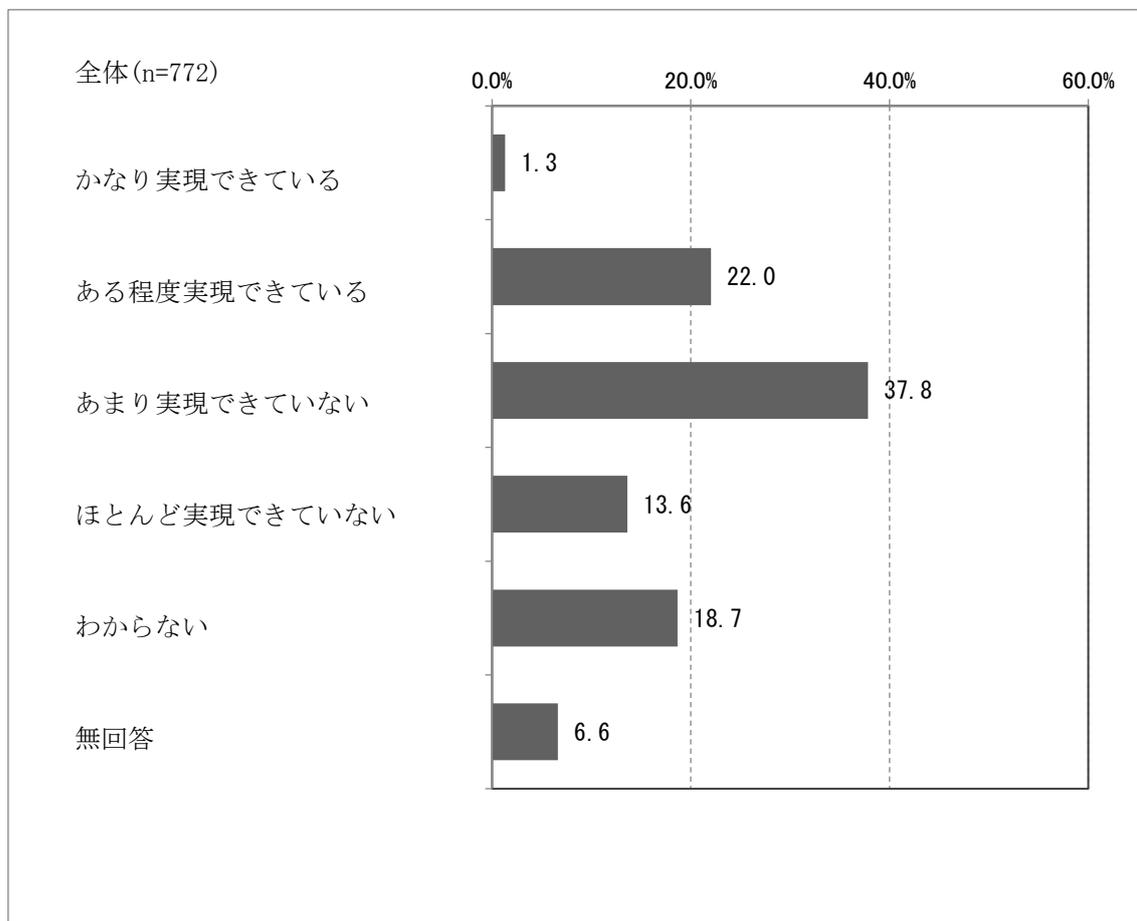
・10位までの回答は男性・女性ともにほぼ同じ傾向であるが、女性相談の認知度については女性の方が高かった。(男性15位、女性10位)

男性 (n=365)

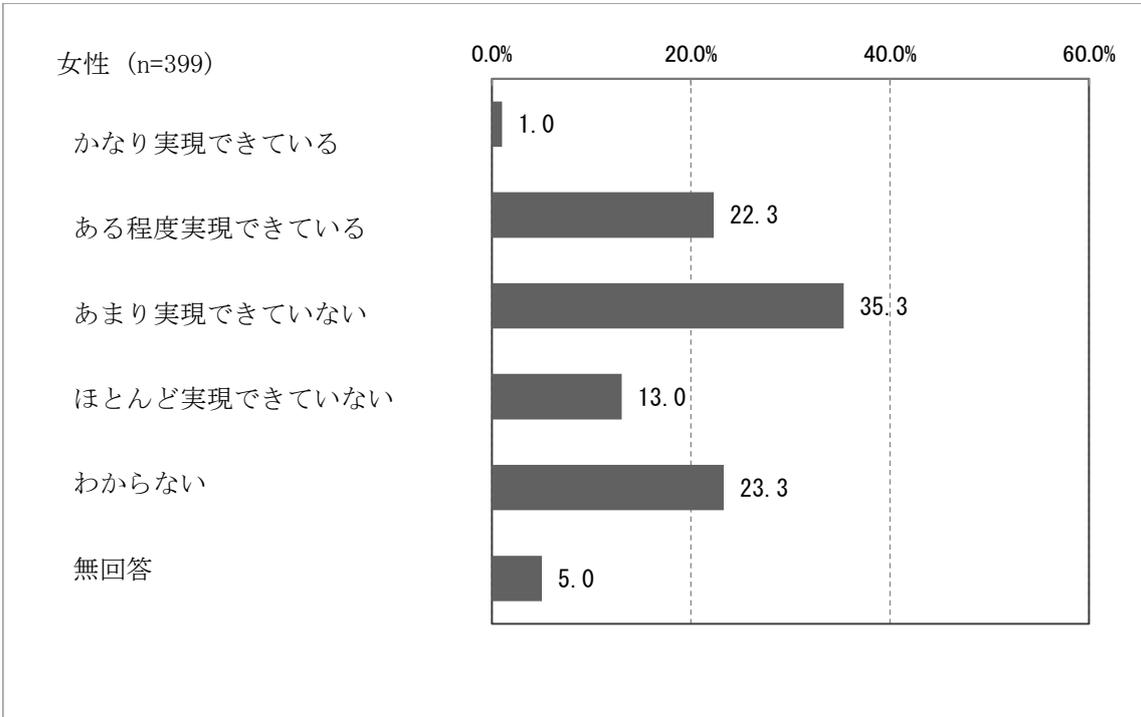
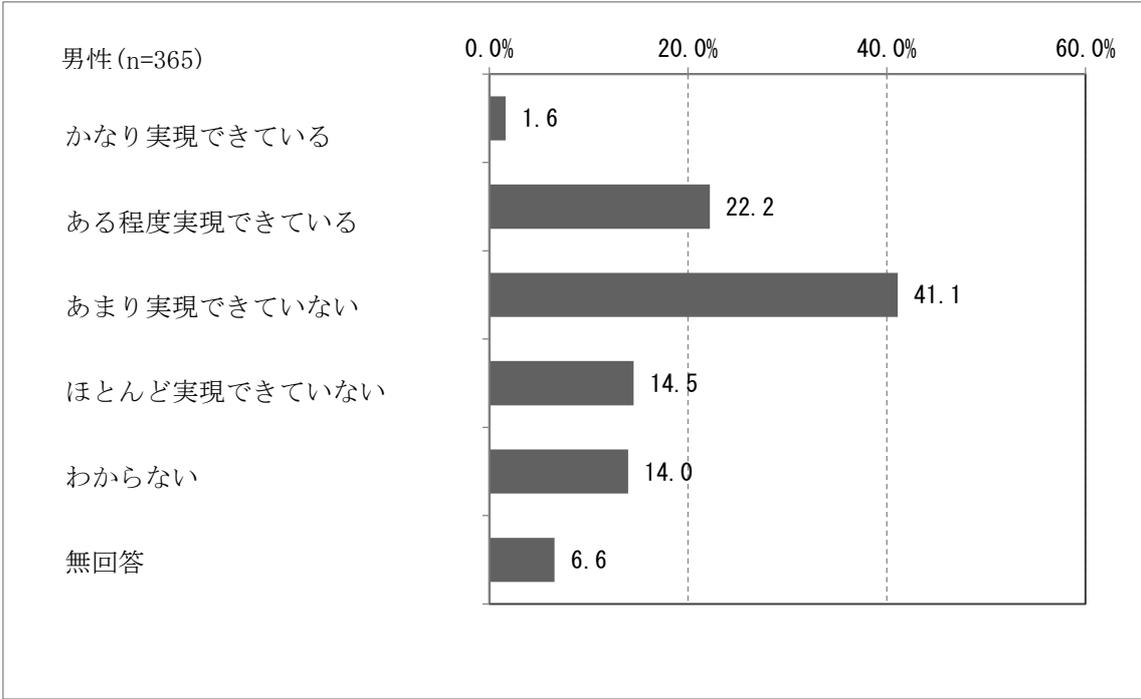




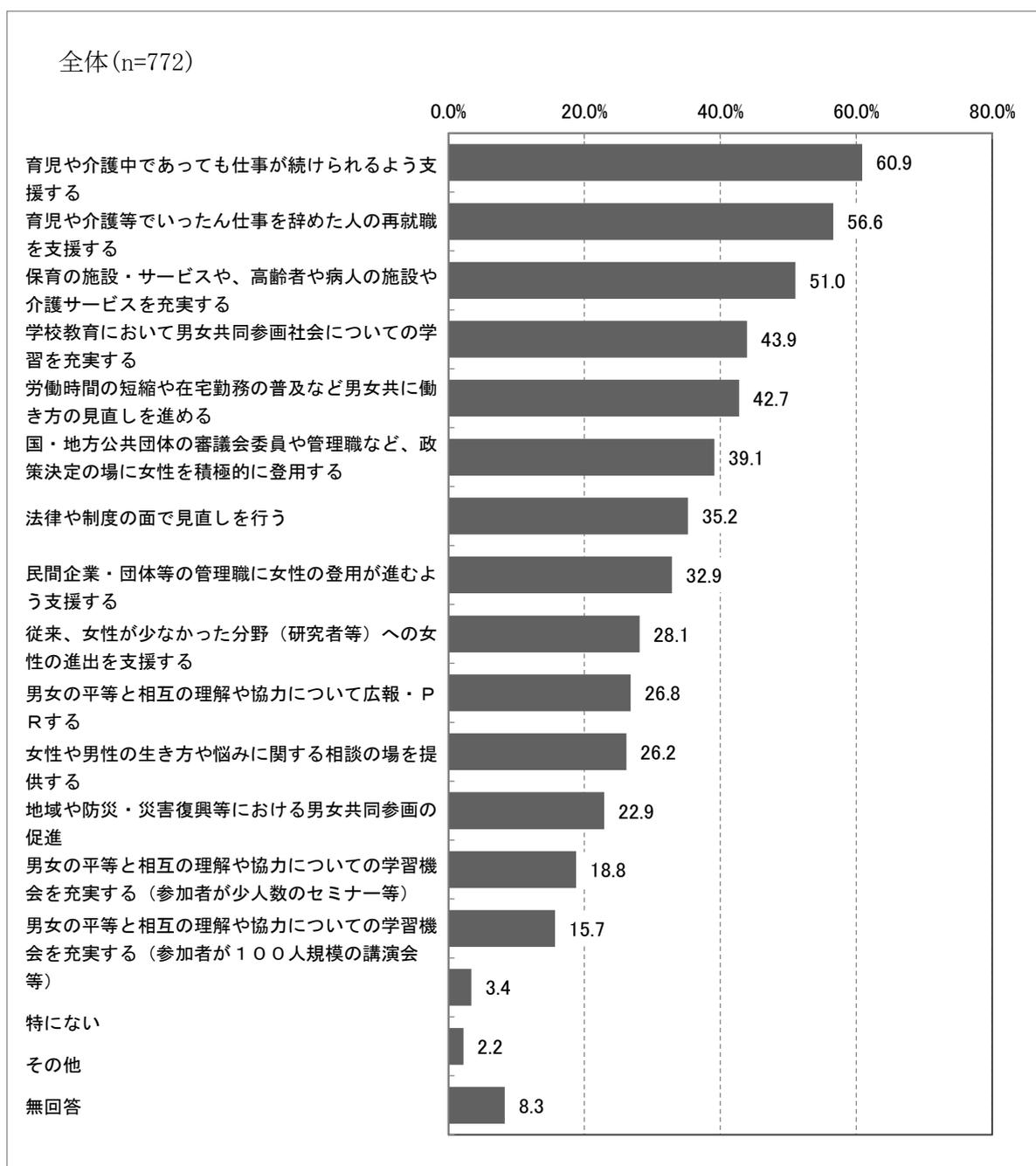
問26 あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、現在、男女共同参画社会はどのくらい実現できていると感じますか。1つだけ選んで○をつけてください。



・男性・女性ともに「あまり実現できていない」とする回答が 3～4 割と多く、次いで「ある程度実現できている」が 2 割程度であった。



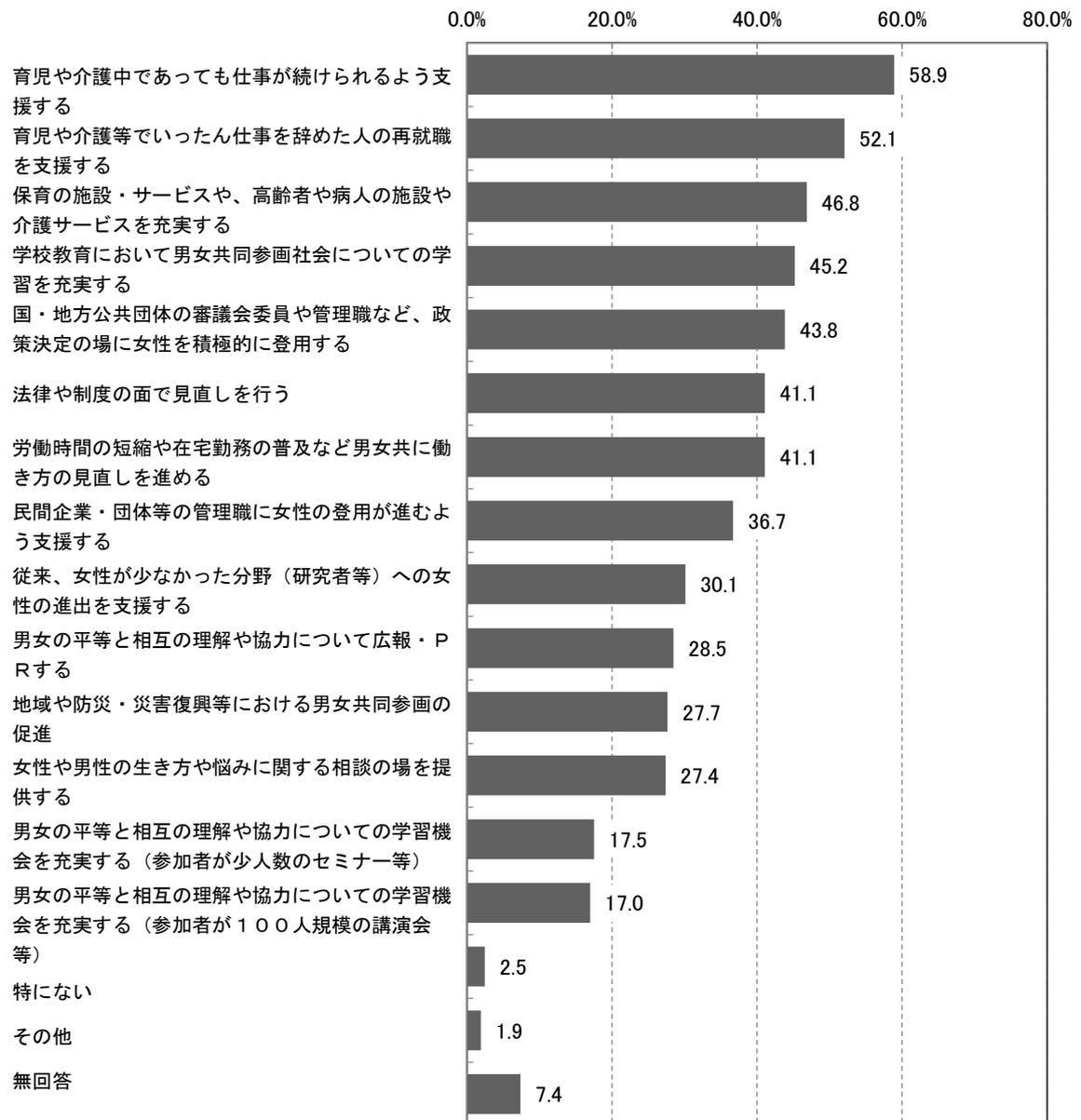
問 27 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。



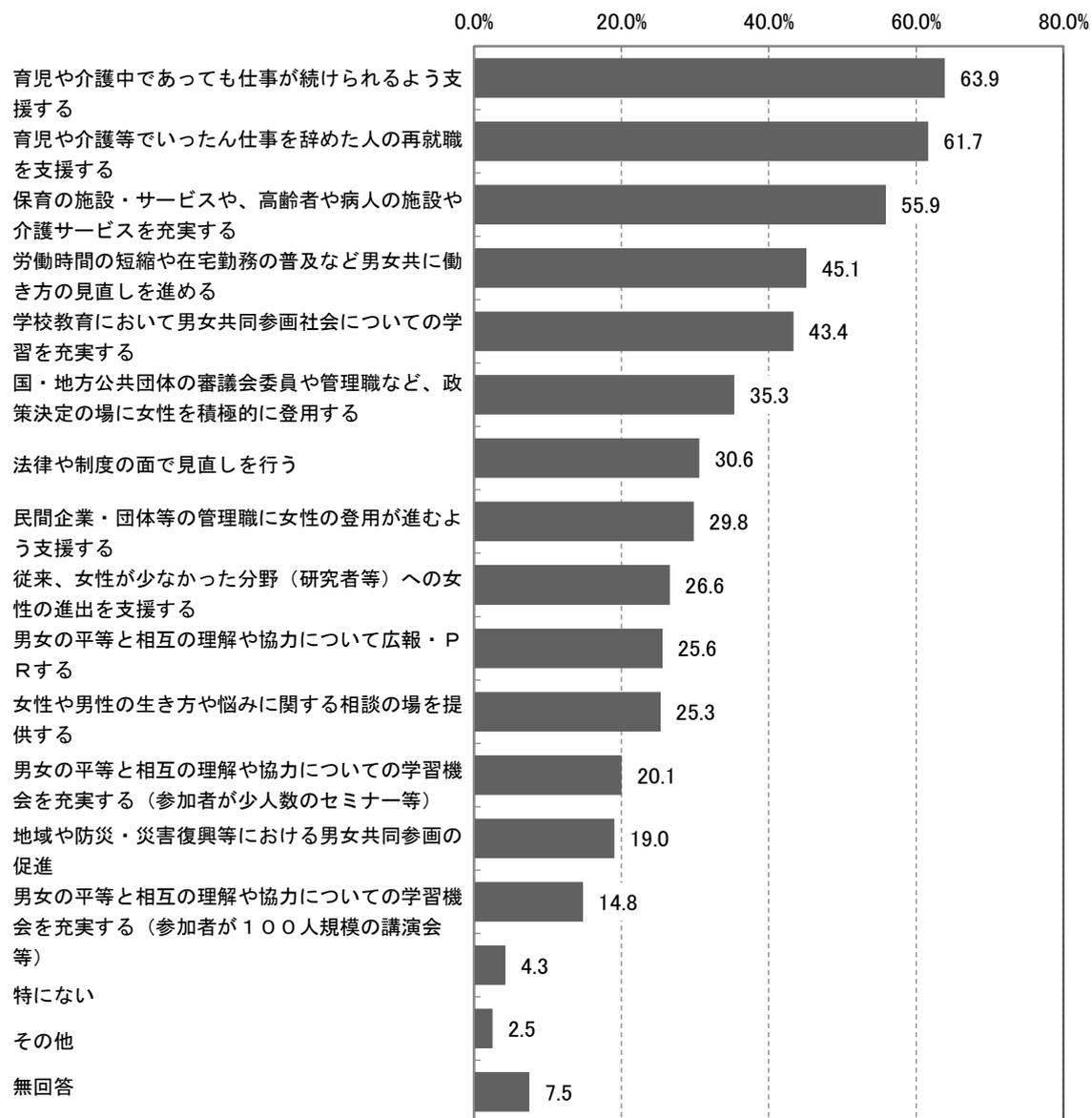
・男性・女性ともに「育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」(60.9%)「育児や介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(56.6%)「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」(51.0%)という回答が多かった。

・ただし「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」では、男性の7位(41.1%)に対し女性は4位(45.1%)となり差が見られた。

男性(n=365)



女性(n=399)



5 調査結果(自由記述)

その他、自由記入など

各設問に関しての主な意見は次のとおりである。

各項目の（ ）内の件数は寄せられた意見の数であるが、他の項目との重複も含む。

【問3】 家庭での夫婦の役割分担について

・・・理想(13 件)

(主な意見)

- ・夫は主に仕事をし、共に家事等をする。(30 代女性)
- ・仕事も家事等も状況に応じてできるほうがやる。(40 代女性)
- ・すべてを決めたり分ける必要はないと思う(70 代以上男性)
- ・夫婦で話し合って決めた事がその家庭の理想だと思う。(40 代男性)

・・・理想(18 件)

(主な意見)

- ・夫は主に仕事をし、共に家事等をする。(30 代男性)
- ・夫が主たる収入源で働く妻は副収入減なので、妻が主に家事をする。(70 代以上男性)
- ・妻は主に仕事をし、共に家事等をする。(60 代女性)
- ・お互い家の中でできる範囲のことをしている。(70 代以上女性)
- ・圧倒的に女性の家の仕事が多い。その上仕事もあり、本当に不平等。(40 代女性)

【問8】 仕事を辞めたり中断したり、あるいは転職した理由は何ですか。(18 件)

(主な意見)

- ・通勤に時間がかかり、子どもと接する時間が少ないため。(70 代以上女性)
- ・人間関係。(20 代男性)
- ・この仕事に就いては将来性がないと判断。(70 代以上男性)
- ・地元での子育て、持家のため。(40 代男性)
- ・全国転勤職だったから。(50 代男性)
- ・月に 60～80 時間の残業が1年以上続き、辞めざるを得なかった。(40 代女性)

【問10】 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のためにどのようなことが必要だと思いますか。(22 件)

(主な意見)

- ・休暇が取りやすい環境。(40 代女性)
- ・給料の増額。(50 代男性)
- ・結婚、出産、育児に関する給付金等の補助を充実してほしい。(20 代男性)
- ・仕事の効率の見直し。(50 代女性)

- ・女性も男性も平等に意見ができる体制。(50代女性)
- ・定時退社、男女共に家事分担。(70代以上女性)
- ・1人1人得意なことをやる(50代女性)
- ・育児や介護などで早退や休暇となった同僚のサポートに対して賞与が払われれば、サポートする側もされる側も安心すると思う。(30代女性)

【問12】働きやすい環境をつくるには、どのようなことが必要だと思いますか。

・・・男性にとって(9件)

(主な意見)

- ・全てにおいて公平、公正な扱い。(40代男性)
- ・男女共に働きやすい環境でなければ、結果的に女性が働きにくくなってしまう。(40代女性)

・・・女性にとって(13件)

(主な意見)

- ・議員の1/2を女性にする法律をつくる。(70代以上男性)
- ・妊娠出産をした人がいつ休んでも困らないように会社が配慮する。もしくは、サポートする周りの社員への待遇を手厚くする。(30代女性)
- ・全国転勤の見直し。(30代男性)
- ・もっと男性が家事を当然にしてくれるようになって欲しい。(40代女性)

・・・男性女性共通

(主な意見)

- ・男女に関係なく同じ条件で生きる。(60代女性)
- ・互いに人間として認め合う努力をする。(70代以上女性)
- ・法律規制の中の男女差別の記載をなくす。(60代男性)
- ・女性初の・・・というような言い方をやめる。(70代以上男性)
- ・女性がもっと前に出てほしい。(70代以上男性)
- ・協調性、思いやりなど道徳的なことも必要では。(70代以上女性)

【問13】女性が職業を持つことについて、「理想」として望ましい姿だと考えるもの、また、あなたの経験や今後の予定などから「現実」として最も近いものは何ですか。

・・・理想(24件)

(主な意見)

- ・結婚・出産・介護をしても定年まで働けること。(60代女性)
- ・その人によって考え方は自由。その人の選択の妨げとならない環境を整備すべき。(30代男性)
- ・社会が仕事しながら子育て出来る様になってほしい。(70代以上女性)
- ・人それぞれの価値観に従い、各自が最も納得できる職業と家庭環境のバランスを選べるのが理想だと思う。(60代女性)

- ・子供ができたなら職業を休み、育児が一段落ついたら復職する。(50代男性)
- …現実(13件)
 - (主な意見)
 - ・個人の考え方なので自由に選択。(40代女性)
 - ・子どもができたなら状況に合わせてパート、育児が終わったら再び正規にチャレンジ。(40代女性)
 - ・出産退職。(70代以上男性)
 - ・各家庭、職種により制限がある。(40代女性)
 - ・妊娠出産に負担にならない仕事に携わりたいことと、同僚に負担をかけないということの両立ができるか不安。(30代女性)

【問14】 職業や役職において今後女性がもっと増えるほうがよいと思うのはどれですか。(10件)

- (主な意見)
- ・女性の能力を十分に伸ばすこと。(70代以上女性)
- ・全ての職業。(60代男性)
- ・女性の人数だけ増やすことには反対。(意味がない)有能な人材を採用する際に男女差を付けないことが重要だと思う。結果、女性が増えることには賛成。(30代男性)
- ・女性になりたいと思わなければどうしようもない。(70代以上男性)
- ・男女がどれだけ増えるかより、個人の適性にあった職に差別や偏見なくしっかり就けることが根本的な問題なのではないか。(30代女性)

【問15】 PTAや町内会などの地域団体の役員の長に女性が就くことの妨げとなっている主な原因は何だと思いますか。(19件)

- (主な意見)
- ・固定的概念から家事や育児は主に女性がするような風潮があり、役員等を行う余裕がない。(30代男性)
- ・男性会員が活動しにくいのでは。(50代男性)
- ・妨げはないと思う。女性にかかわらず皆が就きたくない、と思うような状態なのだと思う。(40代女性)
- ・やれると思う人がする。意欲をもって引き受けたら良い。男女で選別することは日本人の長き時代のつまらない考えです。(70代以上女性)
- ・体力的に厳しいところもあると思う。(40代女性)
- ・日本の社会には、まだまだ男尊女卑の傾向があるから。(40代女性)
- ・前例がないから、というのもあるのではないか。(30代女性)

【問16】 今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(13件)

(主な意見)

- ・家事、育児、介護の問題は女性だけの問題ではないことを学校教育の中で教えなければならないと思う。(70代以上女性)
- ・会社で有給休暇をとり易くすること(有給がとりにくい)。(70代以上男性)
- ・家事、育児、介護など女性が中心という社会的なアンコンシャス・バイアスを皆が意識する。(40代女性)
- ・最近の男性は家事を普通にしている。(30代男性)
- ・行政が中心になり育児、介護、地域活動のボランティア週間等を設けることも考えては。(70代以上男性)
- ・実家を出させて、家事の大変さを理解させる。(30代男性)
- ・仕事の量を減らす、確実に休日は休める法律を作る。(40代男性)
- ・無理に参加する必要はない。それぞれ事情がある。(30代男性)

【問17】 男性が育児休業(休暇)を取得しづらい(しない)理由として考えられるもの全てに○をつけてください。(14件)

(主な意見)

- ・前例がないという理由で誰も取らないから。(30代女性)
- ・乳児の場合、男性が母親のかわりにはなりえない。(先天的に) (70代以上男性)
- ・職場での周りの目が気になる。女性が育児をするという考え方がある。(40代女性)
- ・取っても役に立たない。(60代女性)
- ・世間が男性の育休に理解がない。(50代女性)
- ・仕事の方が楽。(40代男性)
- ・収入の少ない方が育児に集中するべき。(30代男性)

【問18】 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてでしょうか。(13件)

(主な意見)

- ・権力が男性の方が強いと感じて、女性の発言権や主張する機会が少ないこと。(10代女性)
- ・男の人は女を物と思う人が多い。(70代以上女性)
- ・男女に関係なく自分が一番偉い仕事をしていると思っている人。(60代男性)
- ・日常的な女性に対する軽視(SNSでの発言含む)。(30代女性)
- ・逆に男性の人権についての設問がない。このアンケートは「男女共同参画社会」としてふさわしくないと思う。(30代男性)
- ・社会全体による女性の立場が極端に低いという考え方。(10代男性)
- ・職場でのお茶入れ。(70代以上女性)
- ・男女の人権が尊重されていないわけではなく、全て本人のモラルや意識の問題。例えば風俗やグラビアはやりたくてやっている人や誇りを持っている人もいる。(30代女性)

【問21】 テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思いますか。(10件)

(主な意見)

- ・個人的な考え方により、どうとらえるかで色々変化すると思われる。(70代以上男性)
- ・興味本位であり、真面目に考えていない。(70代以上女性)
- ・日本の性教育の遅れが一番問題だと思う。(60代男性)
- ・無理やり抑え込むことにも問題はある。(10代男性)
- ・テレビでわざと相手を殴ったり・・・、特に若いコメディアン。(70代以上女性)
- ・親の教育(しつけ)の問題、または本人の認識力の問題。(30代女性)

【問22】 「育児・介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、社会全体で評価していこう」という考えがありますが、具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。

・・・育児(7件)

(主な意見)

- ・親も育児のための学びを受けたいと思う。(50代女性)
- ・企業、団体が育児・介護の職員に対し配慮(休みやすく)すること。(70代以上男性)
- ・現在の手当の支給で充分だと思う。障害の方、介護が必要な方への支援の充実が大事なのではないかなと思う。(40代男性)
- ・家族・地域で見守る、声掛け、協力する態度などが大切。(60代女性)
- ・子育て世代や介護の親を抱える女性の殆どは、経済的理由で働かざるを得ない。そうした育児や介護等と仕事を両立している女性の税金控除や手当がもっと有って良いと思う。(40代女性)

・・・介護(8件)

(主な意見)

- ・企業、団体が育児・介護の職員に対し配慮(休みやすく)すること。(70代以上男性)
- ・介護は仲間(同様の介護を行う人)や第三者(支援者等)と共有し、ねぎらう必要はあると思う。(30代女性)
- ・通院介助がしやすいように時間休を取れるようにする。(60代男性)
- ・もっと前向きになる明るい雰囲気をつくる。(30代男性)
- ・評価というよりは子どもの教育で育児・介護・家事は家族みんなで取り組むことを教えるべきだと思う。表彰されても嬉しくないし、お金をもらっても根本的な解決にはならない。(20代女性)

・・・育児・介護以外の家事(11件)

(主な意見)

- ・家族間の協力を作る。(70代以上女性)
- ・男女の賃金や昇格の格差などをなくす。(50代女性)
- ・担ってくれている事に感謝する心を育てて欲しい。子どもの時から社会として認める風潮になるよう変える必要がある。(50代女性)

- ・子どもの教育で育児・介護・家事は家族みんなで取り組むことを教えるべきだと思う。(20代女性)
- ・職場は定時退社で、家事は家族全員で分担する社会を作る。(70代以上女性)
- ・個々の家庭で決めたら良いと思う。(50代女性)
- ・・・町内会などの地域活動(8件)
 - (主な意見)
 - ・活動内容の見直しが必要。出来る範囲で活動する。(70代以上女性)
 - ・女性の積極性が必要である。(70代以上女性)
 - ・男女の賃金や昇格の格差などをなくす。(50代女性)
 - ・地域活動に参加しなくても何の損もしないため、出てこない人が多い。(50代女性)
 - ・担ってくれている事に感謝する心を育てて欲しい。子どもの時から社会として認める風潮になるよう変える必要がある。(50代女性)
 - ・子どもの教育で育児・介護・家事は家族みんなで取り組むことを教えるべきだと思う。(20代女性)
 - ・表彰とか税金の無駄。(40代女性)

【問23】 防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組む必要があると思う事は何ですか。

(3件)

- ・男性、女性に関係なく、全員で助け合うことが必要。(70代以上男性)
- ・男女平等に特化させるべきである。(10代男性)
- ・なぜ女性ばかりなのか？それぞれの身体的や精神的特徴に沿った対策をしてほしい。(30代女性)

【問24】 女性が抱えている悩みを相談するところについて、ご存知の機関や窓口は何ですか。

(11件)

(主な意見)

- ・相談も出来ずにいる人を救える場所もしくは権限の有る組織が無いとだめだ。(70代以上男性)
- ・全国被害者支援ネットワーク、SAP 子どもサポートセンター・サチッコ。(70代以上女性)
- ・全て知らない。(60代男性)

【問27】 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(17件)

(主な意見)

- ・各企業の中でのセミナー。(60代女性)
- ・すべての事にもっと市民から理解と賛同をしてもらう努力が必要。(70代以上男性)
- ・家事、育児の仕事に対する評価が不十分なために共同参画社会が実現しないと思う。(70代以上女性)
- ・子どもを産んでも楽に育てられる様にする。(70代以上男性)
- ・知らないことばかりなので情報が入ってくるようにしてもらいたい。(30代女性)

- ・女性の絶対数を上げる必要はない。有能な人材を採用する機会を平等にし、結果女性が増えるのが理想。(30代男性)
- ・男性だからとか女性だからでは無く、適材適所であれば良いと思う。(50代男性)
- ・昔からの家族制度(同居とか嫁とか)が上越には根付いてる。(60代女性)
- ・育児や介護中であってもできる仕事や内職の紹介などがあると、こういう働き方もあるのだという気づきになる。(30代女性)

【問28】「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(138件)

(主な意見)

- ・高齢になるほど、人権尊重、男女共同参画の意識が薄くなり「今の若い人にはついていけない」と考えている。上越市のように高齢者が人口の多くを占めている市では、老人の考え方を変えなければ若者が外へ流出してしまう。(60代女性)
- ・問27の9(「学校教育において男女共同参画社会についての学習を充実する」)が今後の社会を変えるべく最も大切だと思います。(60代女性)
- ・人権問題と同じで騒いでいる様ではまだまだです。市民へ意識調査を行うよりも市が市民を信頼し市民がもっと市を信頼出来る努力をすべきでは。(70代以上男性)
- ・男性に対してもっと理解を深める必要を感じます。(20代男性)
- ・若者に分かりやすいようにSNSを始めるとかはいかがでしょうか。(20代女性)
- ・企業への対策のみです。男性が育児に協力したくても、大手企業で自分のかわりがいてくれて仕事に支障なければ休暇も取得できますが、弱小企業な中企などは余力なく取得できない。あくまでも国の役人様と大手企業の為の政策であり、意味がない事だと思う。国、県、市で施策を進めているのならば、全企業一斉に「ヨーイ、スタートです」。個人秘密は厳守してください。このアンケートは(お金かけて)意味あるんですか？その結果は必ず出せますか？(60代女性)
- ・一番の問題は女性自身にある。女性の意識改革が必要。配偶者控除、配偶者特別控除、扶養手当がある限り平等ではない。(70代以上女性)
- ・アンケートの簡略化をお願いします。アンケートが多く、長く、家事や仕事を担う立場の人には時間が取られて大変。(30代女性)
- ・アンケートについて、高齢の為、このむずかしい内容を読んで、考え、答えることは、とても大変でした。娘に読んでもらいました。(70代以上女性)
- ・私は転勤族で職務に没頭し、妻とは別居生活が長く家庭生活のすべてを妻にゆだねてきた。互いに認め合い協力してきたため、男女共同参画について深く考えたことがなく、回答に一貫性がなく自身自身に矛盾を感じた。途中で何度も回答を中止しようかと思った。(70代以上男性)
- ・目に見える施策があると嬉しいです！自分が役に立ったと実感できるからです！がんばってください!!(10代男性)

- ・無記名のアンケートですが、整理番号等で個々が特定されるのではないかと少し心配になり、記述をすることをためたってしまう項目がいくつかありました。次のアンケートの際には配慮いただけると助かります。(30代男性)
- ・私は知らない言葉が多かったので、わからない所がたくさんありました。(50代男性)
- ・就労意欲のある若者に質の高い職業が提供できるよう、企業及び公務員の意識改革をすすめてください。(60代女性)
- ・具体的な方策をもっと市民に知らせるようにしてほしい。目に見える具体的な事象を知らせてほしい。(70代以上男性)
- ・育児、家事、介護という仕事をする人の大部分が女性であることがそもそも男性優位の社会であることの証明である。そしてこれらの職業の賃金が低額であることが中々共同参画につながらないと思う。(70代以上女性)
- ・項目が多すぎて申し訳ないのですが、段々嫌になってきてしまいました。項目をもっと絞っていただきたかったです。(60代女性)
- ・役所自体みずから先頭に立ち実行、行動すること。一番の効果と思う。現在75歳以上の人々は昔から叩きこまれているのでやっぱり若い人を叩きこんでいかれた方がよい。私は特攻隊員として生き残り、96歳になるので中々言うことを言う時代に即応した心を持たないといけません。(70代以上男性)
- ・ハッピー・パートナー企業に登録している企業は形だけで実際に働く人に寄り添って来ていない。(工場などで子育て、介護中も交替勤務や変則勤務を強いられる。育休などが取得できても、結局子育てしながら働けない。)(30代女性)
- ・ご苦労様です。男女平等と言われますけど、結局男は男の役割、女はおんなの役割があって、全部が全部平等になる・ならせるというのは無理があると思うのですよね。確かに家事は男性にも出来ますよね。会社でも。給湯室の掃除とか男性トイレの掃除とか女性に任せる所があるみたいです。まずはそういうところ(自分の所は自分で)から始めるというのを推奨してはどうでしょうか？でも女性トイレに男性が掃除は嫌ですが。究極の男女平等って何かと言うと、男性の妊娠出産です。そういう世界が来てほしいです。(笑)駄文失礼致しました。(50代女性)
- ・上越市のラインで情報発信(40代女性)
- ・男女共同参画と言う言葉をたまに聞くが具体的に何か分からない、分かりやすく啓蒙を進めて欲しい(60代男性)
- ・今回アンケート用紙を頂き、ずい分悩みました。私は82才、この春、夫を亡くしました。1人暮らしです。無差別にこのアンケート用紙を配布されたのでしょうか、私達が独身の時、勤めていた時代と相当改善され女性が働くのが、あたり前で又、社会が女性を必要とされています。このアンケート用紙は、現在働いている若い女性に聞くべきだと思います。大きな会社もあれば、小さな会社もあります。人数の少ない職場で男子が育児休暇を取ったら会社はなり立ちません。難しい問題が沢山あります。夫を亡くし、この先何年生きられるか、健康でいたいと日々考えている私にこのアンケートは難しいです。(ごめんなさいネ)(70代以上女性)

- ・知らない事があり過ぎ、自身の勉強不足も(感知しない)感じて居ります。看護介護費用が大変でした。ショート・デイ…等受けられず、はきもの・着物にも辛い思いの方、大勢いらっしゃいます。こういう方はどうしたら助けられるかと。(70代以上女性)
- ・これからも男女平等な社会を築き上げてほしいと願っています。(10代男性)
- ・市、税務署などの公の施設での男の職員の態度が悪く、私はいつも女の方にしてもらっています。(70代以上女性)
- ・生活上、行動範囲が狭い為、家庭、職場での差別の不満はありません。(50代女性)
- ・男性と女性の役割がちがうのですべて同じというわけにはいかないと思います。男女共同参画の思想がたいがおかしいと思います。個人を優先していますが基本は家庭単位なので家庭をこわすような内容になってはいけないと思います。男と女をどうのこうのというより一人の人間として人生どう生きるべきか心の自格形成が必要です。アンケートの内容が多すぎても大変です。共産思想の家庭崩壊する内容があってはならないと思います。家庭は愛の学校、心情教育、愛を育てる所です。家庭を守って下さい。お願いします。(50代女性)
- ・男女の差はおのずとあって子供の頃より見たり聞いたりですから学校の学習の中で家事、育児を学ぶ機会を多くする。料理等も給食時間でどのように作ったものとか説明でもいい。(70代以上女性)
- ・女性の登用が増える事(60代女性)
- ・まず上越市がやっていることを知らないから、もっと認知してもらったほうがいい気がする。(20代男性)
- ・外来語が多くわかりにくい(70代以上女性)
- ・ちょっとした仕事を頼むと女性の方が来てくれることがあります。当たりも柔らかかで年寄りには助かります。男女を問わず、興味があったら、どんどんやってほしいです。子供たちの声がにぎやかな上越市を望みます。(70代以上女性)
- ・男性に対してもう少し家族・子供に対してコミュニケーションを充実させていかないと社会面でもうまくいなくなるように思われます。女性ばかり一日朝から夕方まで忙しいのはよくないと思います。男性の理解が(やさしさ)必要です。(60代女性)
- ・祭り等の行事によって世代をこえて話し合う機会が大切と思う。個人の尊重が重視されて町内行事等には若い人は参加しない。汗をかく、恥をかく人が少なくなって、老人パワーももう少しで息切れするような気がします。(70代以上男性)
- ・市長が変わりほっとしています。益々市民の利益を大切にする上越市であって下さい。期待しております。(50代男性)
- ・休日に行われる様々なイベント等に、地域住民は無償で協力を求められるが、イベントに参加する行政の職員には公務員として、休日手当や振替休日とかがあるわけで、不公平だと思う。せつかくの休日を、寒い中で一日協力しても、そのボランティアを当たり前と思わないでほしい。(50代女性)
- ・新市長に期待する。(60代男性)
- ・法の取組はされていても、現実はまだまだ男女の差が大きい。少しずつ女性の参画を多くしてください。(60代女性)

- ・私の娘は大学を卒業して両親のいる上越で就職したいと数十社試験を受けましたが事務職での女性の登用はなしとの事で全て断われました。なぜ上越市に男女共同参画社会が浸透しないか？働かせてもらえない働き口がない現状で男女共同はあり得ません。よく現場を見て下さい！（60代男性）
- ・質問数が多すぎて途中でヤメたくなりました。ホトホト疲れた。子供達への男女人権平等の教育が重要（中高年になってから教育しても遅い）。企業や団体の長が男女平等・保育・介護の重要性と支援を認認すること。質問する側に思い込みがあって市民の声を上手に引き出せていない。（70代以上男性）
- ・男女共同参画とは関係ないのですが、上越ナンバーを希望制にしてほしい。上越ナンバーにしたいなら上越市民全員に聞いて多数だったならにしてほしい。結構地域がしぼられるので安全面が不安。とにかく嫌だ。少なくとも私の周りはみんな嫌がっています。（20代女性）
- ・画一的なものは望めないし、一律的な制度にはなりにくいと思います。市政の中で女性が望む仕事を平等の実現性をもって実施し、成果を外へアピールして社会へ広める事ではないでしょうか。（70代以上男性）
- ・上越市は四期折々の変化に富み本当に住み良い町です。・役所の皆様方の日々の努力に感謝いたしております。（70代以上男性）
- ・「男性」「女性」のイメージを全く持たないのは無理だと思います。得意分野も違うと思います。得意分野を活かせば良い。リーダーに女性を起用するのではなく男女関係無く能力で優れた人を起用すれば良いと思います。気をつかって女性をあえて起用するのは変。（50代女性）
- ・アンケートにしてはボリュームがありすぎかと思います。（60代男性）
- ・除雪体制の強化（50代男性）
- ・20～30代では学校教育現場で男女平等を学んできた世代であり、社会に出てそれ以上上の世代の感覚にショックを受けました。どうか親・祖父母世代への啓発・意識を変えるような取組を期待しています。（30代女性）
- ・上記の質問とは関係がありませんが、このアンケートの質問の設定がわかりにくく、私のような設問の対象にそぐわない年齢の者には何をどう回答すべきなのかわかりません。一考を願いたいところです。（70代以上男性）
- ・小学生でも理解しやすい身近な事例等で、どんな事が平等でないのか小さな頃から考えられる場を、また、大人も気づいていない場面が多いと思うので、いろんな世代の考え方を問い直したらもう少し変わるのではないかと思います。（40代女性）
- ・今回の選挙で市長、市議の方が変わられたと思います。よりよい街になるよう期待しています。上越市では若い世代が遊びにでかけるような場所が限られていると思います。新しい観光、買い物スポットになるような所をぜひ誘致してほしいです。（20代男性）
- ・問25に記載してある条例などを市民に周知するような活動をして下さい。（50代男性）
- ・我が子が小さい頃、市民プラザの子どもセンターをよく利用していました。いろいろな立場のお母さんやお父さん、祖父母などを対象にしたいろいろなイベントや交流会、学習会などがあり、すてきな～と思います。（30代女性）

- ・地域の行事や仕事に対してボランティアにたよらず、あるていど報酬を出す方が良い。おしつけられて協力している人が多いと思います。(60代女性)
- ・子育てしやすい所(公園等)の充実へ向けた対策があるといいです。(20代女性)
- ・町内会長にもっと女性が選ばれるとよい。「人権」という視点もあるが、能力のある女性を活用できないと、女性の視点が入らないと、社会は経済的にも停滞する。「適材適所」という視点も必要。(60代男性)
- ・今後とも頑張してほしいです。新市長となり、どうなるのか、良い方向に進むことを願います。(20代男性)
- ・男女平等はとても良いことだと思いますが、男の人にしか(女の人でしか)出来ない事はたくさんあると思います。でも、お互いの話し合いでどちらか得意な方が出来ればすべて平等であると考えています。(60代女性)
- ・新市長、住みやすい市を目指して頑張ってください。(30代男性)
- ・行政は具体的に活動すること。アリバイ作りの組織は不要。アンケート集計で「やっています」ではダメ(70代以上男性)
- ・これから考えてみます(60代女性)
- ・最近是个を優先し、他をいたわり気づかう気持ちがうすれている様に感じます。(70代以上女性)
- ・私のような考え方の女性もいるので「男女共同参画」が女性・男性みんな望んでいることだろうという前提なの？です。多数派の意見が勝つからでしょうか。(40代女性)
- ・アンケート内容が多過ぎる。男性社会だというのなら女性のみアンケート調査を行えば良いと思う。(30代男性)
- ・条例があっても実行されているか、それが大切(70代以上男性)
- ・上越市では男女ともに「出る杭は打たれる」という風土が濃厚にあり、特に女性は人目に立つ事を極端に恐れる為、優秀な方ほど「能ある鷹は爪を隠す」的態度となり、本当にもったいないと思います。何とか活用する方法があれば、もっと良い街になると思われます。(50代女性)
- ・40代独身男なりにアンケートに協力しました。ジェンダーフリーについては、ある程度理解しているつもりでしたが、それでも男女の違い・個性はあると思います。性的マイノリティの人たちもまたそうだと思います。そのうえで行政も市民も理解を深めていければ良いと思います。(40代男性)
- ・妊娠は男にできない。出産も男はできない。育児の初期も男はできない。育児の初期が少し経ってからやっと男が育児に参加できると思う。その間の女性を別世界に置くような雰囲気させないようにすることが大事と思う。(70代以上男性)
- ・制度も大切だが町内会などで見てみたとき女性自身からの参加意欲が弱い気がする。(40代男性)
- ・学生の頃は男女平等の教育を受けて育ちますが社会に出て仕事や子育ての場面で女性が冷遇されてしまいます。まずは行政が積極的に政策決定の場に女性を登用するなど手本になってほしいと思います。(40代女性)
- ・76才になるのでこのアンケートはきつかったです(70代以上女性)
- ・市でもたくさんの男女共同参画の事を取り組まれ仕組みや相談窓口があると思いますがあまり知らないことが多い。困った時に…というのも大切ですが普段の生活の中にそういう取り組み、窓口があるとい

うことが知られていると良いなと思いました。普段いくカフェや店の一角にあるとか。今回アンケートを答えさせてもらって知らないことがたくさんあると気づかされました。(30代女性)

・女性社会進出取り組み。近年、各会社で女性店長、副店長、マネージャー、係長が増えてきたように思う。もっともっと女性は進出すべき。家庭は犠牲にしないように!! 第二の田中真紀子を是非(60代女性)

・申し上げたところで何も変わらないと思うので記入いたしません。(40代女性)

・社会・世の中のあり様そのものの反映であるから今のような社会では差別が無くなる事などない。少なくとも「いじめ」を身の周りからなくしていく位のところで努力を続けていきたいと思う。(70代以上男性)

・女性が主に家事をする時点で会社や国がいくら良い政策をしても平等にはなりません。仕事をして残業で夜10時に帰っても家事があるなら残業のない楽なパートで良いとなるのでは。地域活動においても同様。(50代女性)

・市民皆が前向きで明るく平和に過ごせる街づくりをしてほしい。(30代男性)

・女性が一度、妊娠し、仕事を退職した場合、よほど手に職がある方(例えば看護師)でないと(正職員、正社員)は絶望的で、パートや非正規社員の道しかないように思われます。育児休職の推進だけでなく、育児をある程度終えた方への就職支援もあとが良いと思います。(30代男性)

・男女共同参画基本条例等多くありますが(会、推進委員)実際何をやっているかわからない(70代以上男性)

・若い人が働く場所が多くあることを望みます。子供が県外で働いていて帰ってきてくれません。(70代以上女性)

・不明な所もあり、印(しるし)のついていないところは回答できませんでした。(70代以上女性)

・年齢的に質問の内容がむずかしかった。質問が多いので解答するのに大変、文章も長い、あらためて勉強になった。(70代以上女性)

・残念ながら市民一人ひとりにまで浸透していない。(50代男性)

・性の特性を尊重し、一人ひとりが持っている個性・性格を認め合えるような教育の実施や地域活動絵の支援をお願いします。(60代男性)

・現在女性はリーダー素質がありながら、男性の陰に隠れ、自身の身を守り、表に出るのを避け、安全地帯で生活しています。自主的に突出するリーダーを待つのではなく、行政、地域のクォータ制を取り入れ女性の人員を増やすべきと考えます。(70代以上女性)

・上越市、警察、消防、中小企業、小・中・高・大学校などで男女共同参画基本条例のネットワークを強化し、セミナーを行い意識を高めてもらいたい。知ってもらうことから始める。(30代男性)

・目に見えるPRをお願いします(60代男性)

・知らないことがいっぱいあったので今回アンケートで知り身近な広報などで知ることが出来ればと思いました。(70代以上女性)

・学生までの教育は平等と思いますが、社会に入ってから会社組織体制が男女の別を生み出していると思います。また女性も責任あるポジションを望まないように思います。(60代男性)

・新上越市長の今後の活躍に期待するのみです。(60代女性)

- ・市役所に行く度に思うのですが、いろいろな部署の受付は100%の割合で女性の方が受け答えしてくれます。男性(特に年配)は奥の方に座っています。それぞれの仕事の役割はあると思いますが市役所自体、男女共同参画とは程遠いと思います。今度、中川さんに聞いてみます。(40代男性)
- ・日々大変お世話になっております。もう少し上越の良い物等でうおうと良いですね。(60代女性)
- ・男性が出来ること、女性が出来ることは全くちがうから共に支え合って暮らしているのだと思っています。もう少し若年層(学校など)でお互いを知る学習時間があればいずれ性別を超えて助けあう社会になれるのかなと思います。(40代女性)
- ・病児保育の拡充を強く望みます。例えば、子どもが熱を出したとき、その都度父親か母親が仕事を休まなくてはならない現状は決して「子育てしやすい街」にはなっていないと思います。(30代男性)
- ・上越市は税金が高くて住みづらいです。子どもや子育てに対する支援ばかりされていますが、その恩恵を受けていない若者や子育てを終えた人は高い税金を払うばかりで上越市に魅力を感じません。雪国であるにもかかわらず除雪が上手くできない人や大きな川があるのに防災面でも不安がある(堤防の高さが昨今の気候に対応できていない)など生活の不安点は多いように感じます。妙高市や柏崎市に引っ越す人もいます。(転職せずに通えるので)男女平等も大切ですが、人口減少対策をとらないと悪循環に陥ると思います。(40代女性)
- ・企業や職場での男女共に育児休暇の取りやすくなる制度づくりが大切だと思います。(20代男性)
- ・高齢のため内容が理解できない所がありました。若い方に男女共同参画社会について学んでいただけたらいいと思います。(70代以上女性)
- ・77歳では高齢過ぎました。(70代以上女性)
- ・～しましょう、してください、では女性参加は中々進まないと思われる。強制的に管理職へ雇用するくらい思い切った政策もありかなと。男女関わらず今後の超高齢化社会に不安しかありません。子供が可哀想で仕方ないです。(40代男性)
- ・職場でずっとセクハラ、パワハラ、モラハラを受けました。相談できる行政が分かりませんでした。市民プラザに相談に行きました。男女共同参画の設置されている所に、面倒くさそうに対応され、何も対応してもらえませんでした。ただ職務についているだけ？話を聞いてもらえるだけで心が和らぐのではないのでしょうか。精神的から身体までできていました。同じ立場や本当に対応できる人を配置していただきたいです。ただ泣き寝入りです。セクハラを受け入れなかった時に、ずっとパワハラを受けていました。男の人はずるいです。変わる社会にしてください。(50代女性)
- ・結婚、出産で2度退職した経験があります。その時は経済的に厳しい生活でした。再就職してからは育児、仕事、家事と忙しい日々で、1日夫と同じように仕事をしていても、なぜ女性は帰宅してからもやることが多いのかと、家事をしながら思うこともあります。私のように思っている女性は多いと思います。共働きが増えてきても男性は仕事、女性は家事の考えが根深く感じます。(40代女性)
- ・男女共同参画は未来必ず必要となる。次の世代の人のため、今後の研究等をお願いしたい。(60代男性)
- ・男性も育休が取れるようにしてほしい(20代男性)

- ・先ず、意識調査の質問事項が多すぎます。もっと具体的な共同参画内容に掘り起こした質問を多くした方が効果的なデータを把握できるのではないかと。(70代以上男性)
- ・これからも一步一步前に進める様私達も共に頑張りたいと思います。(60代男性)
- ・市長が変わったので期待している。ゆとりを持って生活できる市政を望んでいます。(40代男性)
- ・男女共同参画社会を実現するためには、男女共に働き方改革をする必要があると思います。上越市役所で働く皆様は日々市民のために尽力してくださり業務量が多いのかと思いますが、いつも夜遅くまで庁舎の電気がついており心配になります。市は市民のモデルケースとなるべきであり、まずは内部から働き方を見直す必要があるのではないのでしょうか？たとえ自分の職場は定時に帰れたとしても、パートナーが(家族が)夜遅くまで働いていた場合、育児・家事・介護はワンオペになり、女性が男性と同じように働くことは不可能です。働き方改革はひとつの企業の問題ではなく、市全体、県全体で取り組むべき課題だと思います。ご検討ください。(20代女性)
- ・男性の育児への理解や「育メン」等の言葉は、嫌というわけではないが、育児をしている男性の主観的な「育児をしている俺えらい」と思う人が増えつつあるような気がします。(20代男性)
- ・施策の結果、効果など現在の状況を知りたい。広報などに載せていただくと良い。(70代以上女性)
- ・市の職員等は男女半々の方が良いと思う。(60代男性)
- ・一般的に馴染みのない言葉「男女共同参画」をもっと身近に感じる必要がある。アンケートは回答数が多く考えなければ進めない問いがあった。時間のかかった調査でした。(70代以上女性)
- ・育児や介護はどうしても女性に頼りがち。女性の消極的な言動も相まって男女平等にはまだ遠い。(年齢未回答・男性)
- ・高齢者で退職していますので家の外のことは良くわかりませんでした。新聞・テレビなどで知識を高め協力できることは進んで参加したいと思っています。(70代以上女性)
- ・平等を謳うのであれば「女性のための～」と言うのは男性側からしたら平等と言えるのかと少し気になります。(本来はそのようなものもなくなるのが平等なのでは)性差によって得手不得手、個人によってその考えは異なると思います。自分は女性なので「女性のための」サポートや女性職員がいてくださるのはありがたいです。差を認め、理解した上で公平な社会、意欲のある女性のサポートを充実してあげてほしいです。性差は悪ではなく区別であることも子どもたちに教育してほしいです。(30代女性)
- ・言葉に対する意識改革が必要と思われる。(70代以上女性)
- ・制度をどう整備しても、日本の社会はまだまだ男性優位の考え方が染みついており、年配の方ほどその考えを改めるのは難しいだろうと感じています。男女平等に拘り過ぎて急進的な意見には、女性であっても反発を覚えることも多々あります。こうでなければ！と拳を振り上げるよりも、多様な個性・多様な生き方があることを柔軟に受け入れ、ごく当たり前のこととして認められる精神性を育てることが先決なのではないかなと思っています。抽象的で「だからどうしろと？」と言いたくなる意見だという自覚はありますが、時間はかかっても、そういうゆとりのある心を育てる活動も細く長く続けて頂けたらいいなあと思います。(60代女性)

- ・上越市や県などの条例があまり分からないのでそれをアピールするイベントが必要。もっと柔軟に参加しやすいものを考えてほしい。また女性の市議会議員も増えたので様々な視点で改革してほしい。(40代男性)
- ・どれだけ啓蒙活動をしてそれを実行する下地(経済やマンパワー)が無ければ絵に描いた餅でしかない。現実的には男女には肉体的な違いもあり全て平等というのは難しい。過度な平等意識の押し付けは反発を招き分断が発生する。女性の比率を高めるために強制的に枠を作るといったやり方では意味がない。まずは育児や介護の負担を減らして働きたい女性が制限なく働けるようになる事ではないか。ここで男性が協力してなんて理想論を言ってしまうと何も進まない。一気に問題を片付けようとするのではなく、長期的な視野で進めていただきたい。(40代男性)
- ・もっと市民の活動に経済的援助を。新しい活動への変換が遅い(60代女性)
- ・このようなアンケートが実施されるのはとても素晴らしいことだと思います。(30代女性)
- ・今回の内容は女性に焦点を当てたものが多かったですが、それは何故ですか？女性に焦点を当てているうちは実現できませんよ。逆に女性優遇ばかり優先され、男性が肩身の狭い思いをされているのではと心配です。男女双方向からの視点を持ち、問題解決してください。(30代女性)
- ・介護施設が少ないので、家族や経済的にも負担がかかる。(70代以上男性)
- ・新市長に期待します。(60代男性)
- ・男性だからとか女性とかで判断するのではなく各個人を人として見て判断して尊重できればいいと思います(50代男性)
- ・男女と言っている時点で終わっています。能力のある男女、LGBTと言わないと。(40代男性)
- ・男性女性と同じではないので完璧に平等はありえない。それぞれの状況などで考えるべき。男性が優位な事もあれば、女性が優位なこともある。(30代男性)
- ・上越市で、まちづくりのため、様々な施策を進められている事は、分かりました。この事を、どれだけの市民の方が、理解して生活しているのかと思いました。私は、まったく知りませんでした。質問は、内容が大変難しく答えづらかったです。このアンケートが、市政に反映されたりしたらと思うと、気が重いです。(60代女性)
- ・女性や若い男性でも 積極的に役職、管理職になりたがらない傾向がある。責任だけ重くなり見合ったものがないからではないか。(給与や組織運営)(40代男性)
- ・私に子供はいません。東京から引っ越しして来ましたがこちらで子供がいなく言うとかわいそう、残念だねと言われることが多くなりました。後継はどうするのと東京でもどこでもそういう方はいると思いますがこちらでは気にしている方が多くいらっしゃる感じます。私は言われてもあまり気にしていませんが知り合いは本当に辛そうです。家庭でも学校でも社会でも多様性についての教育が大事だと思います。(50代女性)
- ・若い世代の中川市長が、今までの上越を変えてくれることを期待しています。また、上越市の職員の方々は特に女性は家事をするものと思っている世代ではなく、新しい世代の方をもっとリーダーとし、新しいことにチャレンジして欲しいです。私の会社も、いつまでも60歳位の世代が古い昭和の考え方を持ち仕切っているの、変わることを目的としても全く変わっていかない。上越市をけん引する企業

とも協力して、新しい働き方を進め、働きやすい市、暮らしやすい市を目指していけば若い世代が上越市で働くことを選択するようになって欲しい。市長が変わったこの今変わることが出来なければ、上越の発展はなく高齢化が進むだけ。ダメ元で良いから色んなことをやって、変わって欲しい。男女が平等に働くには、男性の働きやすさも改善していかないと、女性も改善されない。まとまりの無い文章でスママセン！（40代女性）

・未婚の男性に適さない「必須」の設問が多く、女性のことしか考えていないアンケートだと思いました。男女共同参画が聞いて呆れます。（30代男性）

・頑固な年配の上司がいる限り無理だと思います。（50代男性）

(1) 男女共同参画に関する市民意識調査（無回答を除く）

	令和3年度							平成29年度							平成26年度							平成22年度						
	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い
(1)家庭生活	10.1	46.5	24.4	4.3	1.2	8.8	9.9	47.7	24.1	4.6	0.4	8.0	12.0	46.3	25.7	5.7	1.2	4.8	13.5	49.6	26.3	5.8	1.3	3.5				
(2)職場	13.7	41.8	19.4	4.9	0.6	12.6	14.0	39.6	19.9	4.4	1.0	12.5	11.4	38.4	21.9	5.2	1.2	12.1	14.3	43.4	25.7	4.1	1.1	11.4				
(3)学校教育の場	1.7	9.5	55.1	2.3	0.5	23.6	1.8	12.1	46.7	2.7	0.5	26.4	1.2	10.5	54.4	2.3	0.5	20.2	2.4	13.8	58.9	3.0	0.4	21.5				
(4)政治の場	31.3	38.5	10.9	1.2	0.1	11.4	23.6	41.1	12.3	0.7	0.3	14.3	20.6	45.6	13.5	1.1	0.3	10.6	21.2	44.1	22.2	1.8	0.0	10.7				
(5)法律や制度上で	10.6	32.3	26.4	5.1	1.3	18.1	9.4	31.2	25.7	5.0	1.1	19.7	8.2	30.7	31.9	5.2	1.2	14.4	8.7	31.1	41.1	6.5	0.9	11.7				
(6)社会通念・習慣・しきたり等で	21.6	50.9	10.5	1.9	0.0	10.0	18.5	52.1	10.1	2.0	0.3	10.5	17.0	52.7	12.3	2.6	0.8	7.8	20.1	56.3	14.4	2.3	0.7	6.3				
(7)町内会等の地域活動の場	11.3	35.0	28.4	5.1	0.5	14.9	10.6	39.8	25.1	4.6	0.6	13.8	10.0	42.4	27.9	4.3	1.3	8.7	14.5	40.4	30.4	5.5	1.0	8.3				
平均	14.3	36.4	25.0	3.5	0.6	14.2	12.5	37.7	23.4	3.4	0.6	15.0	11.5	38.1	26.8	3.8	0.9	11.2	13.5	39.8	31.3	4.1	0.8	10.5				
(8)社会全体で	13.3	55.8	11.4	3.0	0.9	11.3	10.5	54.7	12.9	3.1	0.5	12.6	8.6	56.6	14.9	4.0	0.5	9.2	10.0	59.1	17.4	4.5	0.7	8.3				

(2) 男女共同参画社会に関する世論調査

	令和元年度							平成28年度							平成24年度							平成21年度						
	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い	非 常 に 優 遇 さ れ て い る	男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か と い え ば	わ か ら な い
(1)家庭生活	9.3	35.6	45.5	6.5	0.7	2.4	7.8	35.7	47.4	5.9	0.8	2.4	8.5	34.7	47.0	6.1	1.3	2.3	7.8	38.7	43.1	6.7	1.7	1.9				
(2)職場	13.6	39.8	30.7	4.5	0.5	10.9	15.1	41.5	29.7	4.1	0.6	9.0	15.6	42.1	28.5	4.2	0.5	9.2	15.6	46.5	24.4	4.4	0.9	8.1				
(3)学校教育の場	3.3	15.2	61.2	2.3	0.3	17.7	2.5	13.5	66.4	2.9	0.3	14.4	2.4	11.0	67.0	3.0	0.7	15.8	1.9	12.0	68.1	3.9	0.9	13.1				
(4)自治会やNPOなどの地域活動の場	7.0	27.7	46.5	8.7	1.6	8.6	6.8	26.7	47.2	10.5	1.3	7.5	6.9	26.5	52.1	6.1	0.9	7.6	6.5	28.2	51.0	6.4	0.6	7.3				
(5)政治の場	35.0	44.0	14.4	1.1	0.1	5.4	27.1	46.3	18.9	2.0	0.3	5.4	30.0	44.0	18.6	0.9	0.3	6.3	23.7	48.1	21.0	1.9	0.3	5.1				
(6)法律や制度の上で	10.3	36.6	39.7	4.0	0.4	9.0	10.6	34.7	40.8	5.0	0.7	8.3	8.7	29.5	45.4	6.2	1.1	9.0	7.8	33.5	44.4	6.5	0.9	6.9				
(7)社会通念・習慣・しきたりなどで	19.1	51.0	22.6	2.1	0.2	5.0	17.6	52.8	21.8	2.8	0.4	4.6	18.6	51.7	21.4	2.9	0.6	4.7	18.7	53.2	20.6	3.4	0.5	3.6				
平均	13.9	35.7	37.2	4.2	0.5	8.4	12.5	35.9	38.9	4.7	0.6	7.4	13.0	34.2	40.0	4.2	0.8	7.8	11.7	37.2	38.9	4.7	0.8	6.6				
社会全体で	11.3	62.8	21.2	2.8	0.3	1.6	9.7	64.5	21.1	2.8	0.2	1.7	10.8	59.1	24.6	3.4	0.4	1.8	-	-	-	-	-	-				

出典：男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府大臣官房政府広報室）